2024年能登半島地震子どもアンケート

～震災から半年 いま伝えたい子どもたちの声～

アンケート結果報告書（完全版）

自分たちの想いが
全国に届いてほしい。

目をそむけないでほしい。

もっと子どもの意見を
聞いてほしい。

つらかった。

次に起こるかもしれない災害へ
備えるための機会にしてほしい。

Save the Children
セーブ・ザ・チルドレン

2025年2月

Save the Children
セーブ・ザ・チルドレン

目次

1. はじめに.....2
2. アンケートの概要と結果.....3
Ⅰ. アンケート目的および実施状況.....3
Ⅱ. アンケート結果からセーブ・ザ・チルドレンが注目する点.....4
Ⅲ. 質問項目および集計結果.....5
Ⅳ. 自由記述.....17
3. まとめ.....77
4. 講評.....78
5. 心理の専門家による一問一答.....79
6. 子ども版報告書.....82
7. アンケート用紙.....84
8. おわりに.....86

アンケートを提出してくれたみなさん、この報告書を手にとってくれた子どものみなさんへ

セーブ・ザ・チルドレンは、「子どもの権利」を守るために活動しています。子どもたちはどんなときでも自分たちの思いや意見を伝え、それをきちんと聴かれる権利があります。ですが、能登半島地震のあと、子どもたちの声があまり聴かれていないのではないかと思っていました。

そこで、2024 年 7 月、石川県七尾市、穴水町、能登町、珠洲市、輪島市を中心にアンケートを行いました。小学 4 年生から 18 歳くらいまで、2,000 人以上がアンケートに回答してくれました。協力してくれたみなさん、本当にありがとうございました。困っていること、心配なこと、怒っていること、感謝や日常のありがたさ、復興やまちへの思い、たくさんのことが届きました。なかには、アンケートに答えたくなかった人もいたかもしれません。いやな気持ちにさせてしまっていたらごめんなさい。

アンケートの結果をまとめて、8 月に最初の報告書（速報版）を作りました。速報版は、石川県知事や、市長・町長、教育長、国会議員、県・市・町議会議員などに手渡したり郵送したり、総理大臣官邸にもオンラインで送りました。また、新聞やテレビでも紹介されて、たくさんの人に届けられました。

その後、すべての声を紹介するため、この完全版報告書を作りました。同世代の子どもたちが、能登半島地震について感じていること、思いや意見がそのままのっています。ぜひ、一つひとつの声を読んでみてほしいです（読みにくいところは、まわりの人に聞いてみてください）。みなさんから届いた声すべてに目を通して、セーブ・ザ・チルドレンから回答できることは、76 ページにまとめました。また、みなさんから届いた声には、地震の怖さや不安な気持ちについて書いてあるものが多かったので、心理の専門家の人たちといくつかの声に答えることもしました。79 ページにあるので、回答がみなさんの役に立てたらうれしいです。結果を簡単にまとめた子ども版報告書は、82 ページにあるので見てみてください。

これからも、セーブ・ザ・チルドレンは、子どもたちのためにより良い対策が進むよう、国や自治体にみなさんの声を伝えていきます。そして、みなさんの声を聴きながら、みなさんと一緒に、復興に向けて活動を続けたいと思っています。

※表紙の声
アンケートに寄せられた回答から、抜粋・編集した。

1. はじめに

2024 年 1 月 1 日、石川県能登半島を震源とするマグニチュード 7.6 の地震が発生し、その被害は石川県能登地方を中心に新潟県、富山県、福井県など広範囲に及びました。

セーブ・ザ・チルドレンは 1 月 4 日、震度 7 から 6 強を観測し甚大な被害を受けた能登地方に入り、以来、七尾市、穴水町、能登町、珠洲市、輪島市で緊急支援物資の提供から避難所における子どもの居場所づくり、学校や子ども施設の再開に向けた備品支援、子どもたちの学びをサポートするための給付金提供など、多様な活動を行いました。その一環として実施したのが、この能登半島地震子どもアンケートです。

セーブ・ザ・チルドレンは、子どもの権利が保障される社会の実現を目指しており、とりわけ、子どもの意見表明権（子どもの権利条約第 12 条）があらゆる場面で確保されることを求めています。それは、災害などの緊急下でも同様です。これまでも、2011 年の東日本大震災や 2018 年の西日本豪雨の発生後に、子どもたちの思いや体験談をまとめ、それぞれ『震災後に中高生が果たした役割の記録プロジェクト 報告書』（2013 年）と『災害時に子どもたちが果たした役割の記録 ～ 2018 年西日本豪雨の経験から～』（2020 年）として公表しました。報告書は、未曽有の災害を経験して感じた率直な声とともに、子どもたちが主体的に担った役割などを具体的に紹介し、防災や復興に子どもたちの声を活かすための資料として、教育・行政関係者の間で活用されています。こうした経験から、私たちは、能登半島地震でも聴かれていない子どもたちの声が多いはずだと考えました。

2024 年 7 月に実施した能登子どもアンケートには、2,000 人以上の子どもたちが回答を寄せ、自由記述は 3,000 件以上に及びました。自由記述の内容は、私たちの想像を超えて胸に迫るものでした。とりわけ、復興のスピードへの疑問や憤り、「能登を見捨てるのか」と大人たちに鋭く突きつけるメッセージが、どの自治体の子どもたちからもあがっていました。さらに、復興に向けて主体的に関わりたいと考えている子どもたちが少なくありませんでした。

調査結果は同年 8 月 29 日に「速報版」として公表していますが、本報告書は、自分たちの声を全国に届けてほしい、能登を忘れないで、という子どもたちの声に押され、「速報版」には掲載できなかったすべての自由記述を掲載しています。子どもたち一人ひとりの思いや意見を受け止めていただければ幸いです。

また今回、子どもたちが抱える不安や悲しみ、震災後の環境変化への戸惑いなどへの対応について、専門家の協力を得て一問一答形式にして掲載しました。子どもたちのこころのケアは大きな課題であり、県や自治体、専門家による十分なフォローが必要となっています。

最後に、本アンケートに参加してくれた子どもたち、実施にあたりご協力いただいた行政、学校、地域関係者、関係団体のみなさまに厚くお礼申し上げます。とりわけ、アンケート結果を真摯に受け止めてくださった七尾市、穴水町、能登町、珠洲市、輪島市の関係者の方々には深く感謝するとともに、子どもたちの声をこれからの復興に活かしていただけるよう、切に願っています。

2025 年 2 月
川上園子
公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン　国内事業部部長

2. アンケートの概要と結果

2024 年 8 月 29 日にアンケート結果の速報版[1]を公開した（9 月 6 日修正版公開）。その後、数値の最終確認を行った集計結果と自由記述を報告する。

Ⅰ. アンケート目的および実施状況

1. アンケート目的

- 2024 年能登半島地震や復興について、子どもたちが思いや意見を述べられる機会を設けること
- 子どもたちの地震や復興についての思いや意見を把握すること

2. アンケート対象および実施状況

〈主な対象地域〉 石川県七尾市、穴水町、能登町、珠洲市、輪島市（セーブ・ザ・チルドレン活動地域）
※対象地域以外でも被災の影響を受けた子どもたちがいるため、上記以外の地域の子どもも、オンラインフォームより回答可とした。

〈対象学年・年齢〉 小学 4 年生から高校生世代

〈回収期間〉 2024 年 7 月 1 日から 7 月 31 日まで

〈回収方法〉 対象地域の各自治体の教育委員会を通じて各小中学校や一部の高校へ、アンケート用紙の配布・回収、またはオンラインフォームの案内チラシの配布を行った。また、特別支援学校や、一部の高校・放課後児童クラブ、地域の支援関係者を通じて、アンケート用紙の配布・回収、またはオンラインフォームの案内チラシの配布、ウェブサイトの告知を行った。このほか、セーブ・ザ・チルドレンのウェブサイトや SNS（Facebook、X、Instagram）で回答の募集を行った。

〈実施体制〉
主催　：　公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
後援　：　七尾市教育委員会、穴水町教育委員会、能登町教育委員会
協力　：　鈴木　瞬氏（金沢大学　人間社会研究域　学校教育系　准教授）
　　安部　芳絵氏（工学院大学　教育推進機構　教授／セーブ・ザ・チルドレン　理事）

〈有効回答数〉

アンケート用紙での回答	1,764 件
オンラインフォームでの回答	289 件
合計	2,053 件

※対象学年・年齢（小学 4 年生から高校生世代）以外の回答もあったが、対象学年・年齢未満は有効回答数に含め、対象学年・年齢を超えている回答は対象外とした。

〈集計・分析にあたっての留意点・アンケートの制約〉

- アンケートは子どもたちの自記式で実施し、すべての質問項目を任意回答とした。

[1] https://www.savechildren.or.jp/scjcms/sc_activity.php?d=4535

- アンケート用紙を学校で配布・回収する場合も、提出は任意とすることを十分留意いただくよう伝えることで、災害を思い出したくない子や記入したくない子が提出を強制されることがないよう配慮した。
- 自治体や学校によって実施・回収形態が異なるため、回答者の属性には偏りがある。
- 小学校や特別支援学校の子どもなど、必要に応じて教職員や保護者が記入を手伝ったと見られる回答もあった。
- 震災を直接的に経験していないと思われる子どもからの回答も、有効回答に含めた。
- アンケート用紙・オンラインフォームともに、すべての質問に無回答のものも含まれていたが、すべての質問項目が任意であり、無回答での提出も子どもたちの意思表示であると捉え、有効回答に含めた。
- 矛盾する回答、例えば「はい」と「いいえ」の両方に○がついているなどといった場合は、その後の設問の回答に合わせる形でセーブ・ザ・チルドレンが修正した。
- 本報告書に掲載した自由記述の回答は、基本的には原文のままだが、誤字・脱字、また、個人情報保護の観点などから原文から一部を抜粋して文意が変わらない範囲で編集、属性を変更している場合がある。また、特定の個人・集団への誹謗中傷につながりかねない内容は削除するなどした。政策決定者に対する声については、多少その内容が不快と受け止められるものであっても、公人への意見としてそのまま掲載した。その他、読みやすいように句点をつけるなどした箇所がある。（ ）内は回答時の地域、学年、性別である。
- 回答結果は、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも 100%とはならない。

Ⅱ．アンケート結果からセーブ・ザ・チルドレンが注目する点[2]

1. 能登半島地震やその後の生活について大人や社会に伝えたいことがあるかをたずねた質問 2 において、「はい」を選択した子どもが 36.8%いた（グラフ 4）。伝えたいこととして最も割合が高かったのは「感謝の気持ち」41.0%であった。また、「地震が起きたときのこと」「被災した自分のまちのこと」「自分の住むまちの復興のこと」を選択した子どもがいずれも 3 割を超えていた。災害時に感じたことや災害後の地域の状況、復興について子どもが伝えたいと考えていることに着目したい（グラフ 6）。
2. 同じく質問 2 において、「いいえ」を選択した子どもが 39.8%、「わからない」が 22.2%いた（グラフ 4）。理由の内訳を見ると、「何を話したらいいかわからない」が 36.7%と最も高かった（グラフ 8）。一方、「話しても何も変わらない」が 16.6%、「話す機会がない」が 11.5%、「どこで話したらいいかわからない」が 10.4%であった。この結果から、潜在的には被災に関連して何かを伝えたいと思っていても、その環境が整っていないため伝えられない、言うことをあきらめた子どもたちが一定数いることが推察される（グラフ 8）。
3. 今後の復興に向けて何かしたいことがあるかをたずねた質問 3 において、何か行動したいという選択肢 1～9（表 8）を 1 つでも選択した子どもは 64.0%（1,314 人）と 6 割を超え、復興に関する選択肢 6～8 のうち 1 つでも選択した子どもが 21.2%（435 人）いた。また、質問 2 で大人や社会に伝えたいことの有無について「いいえ」「わからない」を選択した子どもであっても、「自宅やまちの片付け」や「地域の行事への参加」を選択した子どもがそれぞれ 2 割を超えており、「復興について子ども同士で話し合う」「復興について大人と話し合う」を選択している子どもも少数ながらいた（グラフ 13）。これらの結果から、復興のために何かしたい・話したいと思う子どもたちに、今後、大人側が何らかの機会を提供していくことが重要だと考える。
4. 自由記述では、より具体的な子どもたちの願いや訴えが少なからずあった。例えば、子ども自身の学びや暮らしが大きな制約を受けていることへの悲しみや苛立ち、そのために学ぶ環境や経済的支援、子どもが過ごせる場の環境整備を望む声が複数あった。さらに、「こんなに復興がおそいということにびっくりしています」「自分のまちの復興ができるのか」という驚きや疑問、「見捨てないでほしい」といった切実な訴えもあった。
5. さらに、自由記述では、子どもの意見を聴いてほしいという意見もあった。「子どもの意見を取り入れようとしてくれない」「直接、大人たちと話しあい、子どもの意見や思いを取り入れてほしい」という声は、少数であったとしても子どもの権利保障の

[2] 「注目する点」は、5 までが速報版で公表した内容であり、6，7 は加筆した。

観点から重要である。こうした声を地域の大人が尊重することによって、今後の復興や防災に子どもたちが主体的に関わっていこうという思いの醸成につながるだろう。（5 までは速報版で報告した内容。）

6. 能登半島地震について感じていること・考えていることをたずねた質問 4 の自由記述では、質問 2 において「いいえ」「わからない」を選択した子どもであっても、さまざまな声を寄せていた。復興や支援への思いとともに、「とてもこわかったし、今でも怖い」「この地震であった、悲しい気持ちやむねんさを、次の大地震にむけて、そなえてほしい」といった地震に対する率直な怖さ、今後の防災へ向けての意見など数多くあった。これらの声一つひとつに着目したい。
7. アンケートの感想やセーブ・ザ・チルドレンに伝えたいことをたずねた質問 5 の自由記述には、アンケートを通じて震災について考えられたこと、子どもの意見が聴かれることに対する好意的な反応が目立った。同時に、自分たちの声を広く伝えてほしいと訴える記述もあった。災害後に子どもの声を聴き受け止めることの重要性が、子ども自身の言葉でつづられている。

Ⅲ．質問項目および集計結果

都道府県

石川県内からの回答が 2,035 件と全体の 99.1%であった。石川県以外からの回答は 11 件、無回答は 7 件だった。石川県以外の内訳は「愛知県」「富山県」「新潟県」「東京都」「大阪府」「静岡県」「愛媛県」（回答数順）などであった。

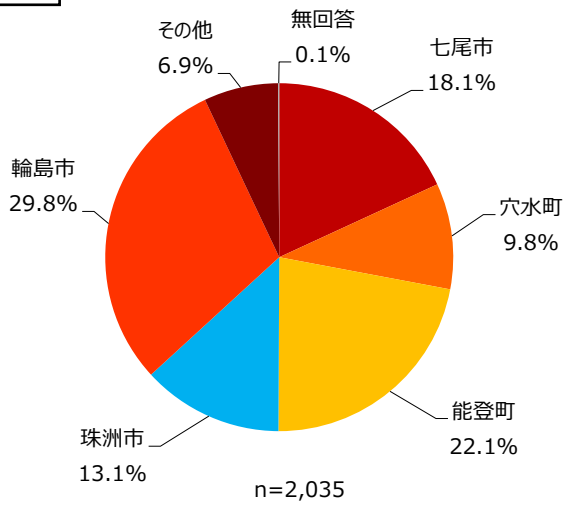
石川県内の市町村の内訳

表 1

No.	カテゴリ	件数	%
1	七尾市	369	18.1
2	穴水町	200	9.8
3	能登町	450	22.1
4	珠洲市	267	13.1
5	輪島市	606	29.8
6	その他	141	6.9
	無回答	2	0.1
	回答者数	2,035	100.0

※石川県内からの回答 2,035 件の内訳

グラフ 1



※速報版では、表 1 において「七尾市 368 件、18.1%」、「穴水町 199 件、9.8%」、「無回答 4 件、0.2%」と報告したが、最終集計で「七尾市 369 件（割合は変更なし）」、「穴水町 200 件（割合は変更なし）」、「無回答 2 件、0.1%」となった。グラフ 1 では、上記の修正に合わせて「無回答」の割合の修正を行った。

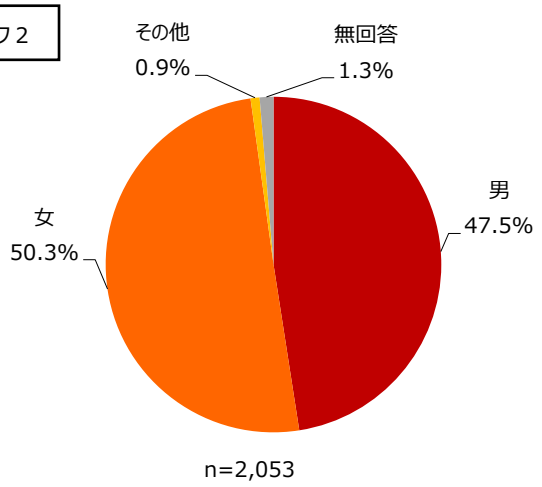
1．あなたについて教えてください。

（1）性別（単数回答）

表 2

No.	カテゴリ	件数	%
1	男	976	47.5
2	女	1,032	50.3
3	その他	18	0.9
	無回答	27	1.3
	回答者数	2,053	100.0

グラフ 2

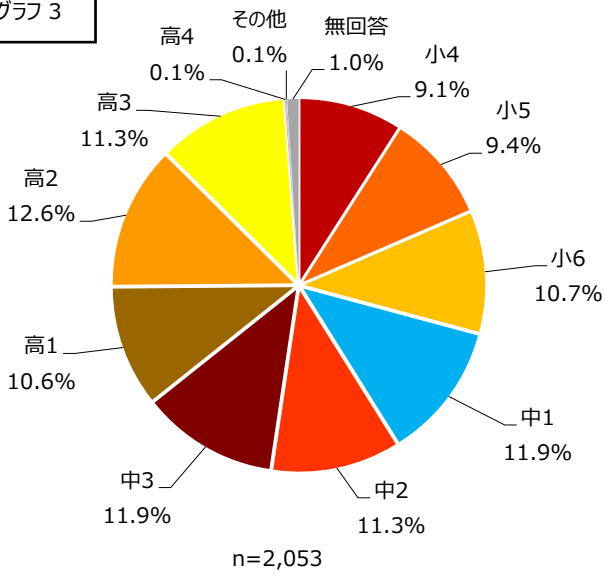


（2）学年･年齢（単数回答）

表 3

No.	カテゴリ	件数	%
1	小 4	186	9.1
2	小 5	194	9.4
3	小 6	219	10.7
4	中 1	245	11.9
5	中 2	231	11.3
6	中 3	245	11.9
7	高 1	217	10.6
8	高 2	258	12.6
9	高 3	233	11.3
10	高 4	2	0.1
11	その他	2	0.1
	無回答	21	1.0
	回答者数	2,053	100.0

グラフ 3



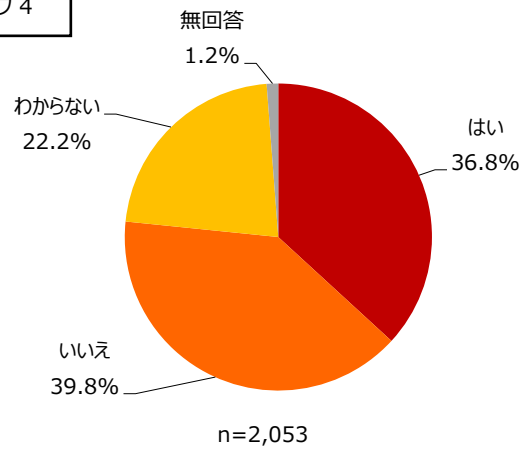
2. あなたは、能登半島地震やその後の生活について、大人や社会に伝えたいことはありますか。（単数回答）

能登半島地震やその後の生活について大人や社会に伝えたいことがあるかをたずねたところ、「いいえ」が 39.8%、次いで「はい」が 36.8%、「わからない」が 22.2%であった。年代ごとのクロス集計を見ると、小学生は「いいえ」が 4 割を超え、「はい」も 4 割近くとなった。中学生は「はい」が 4 割を超え、「いいえ」よりも選択した子どもの割合が高かった。高校生世代は、「はい」が 28.5%と他の年代と比べて最も低く、「わからない」が 3 割近くとなった。

表 4

No.	カテゴリ	件数	%
1	はい	756	36.8
2	いいえ	817	39.8
3	わからない	455	22.2
	無回答	25	1.2
	回答者数	2,053	100.0

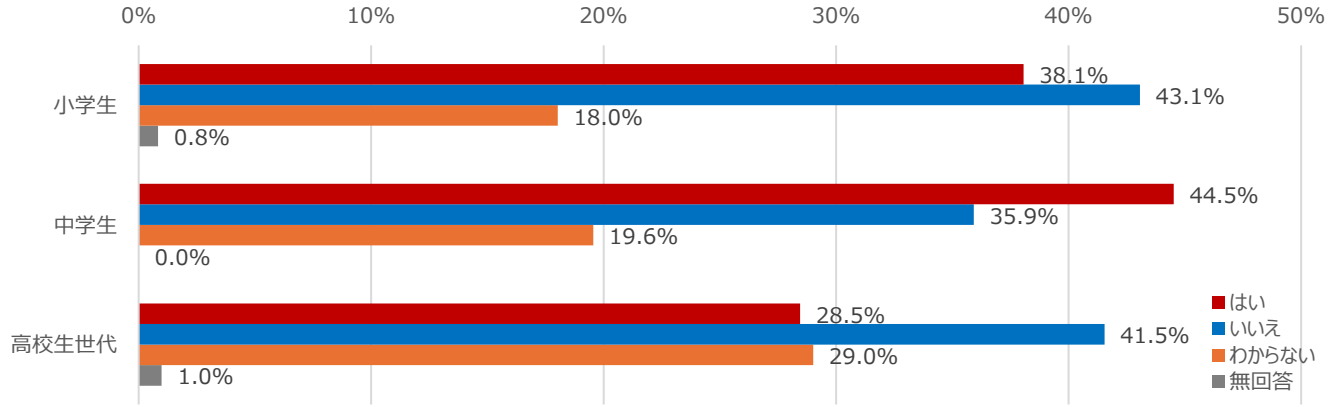
グラフ 4



【クロス集計】

「2. あなたは、能登半島地震やその後の生活について、大人や社会に伝えたいことはありますか。」の回答と、年代（小学生、中学生、高校生世代）のクロス集計

グラフ 5



※学年・年齢の「その他」と無回答を除いた 2,030 人の内訳（小学生：n=599、中学生：n=721、高校生世代：n=710）

（1）「はい」と答えた人にお聞きします。

（1）-1. どんなことを伝えたいですか。（複数回答）

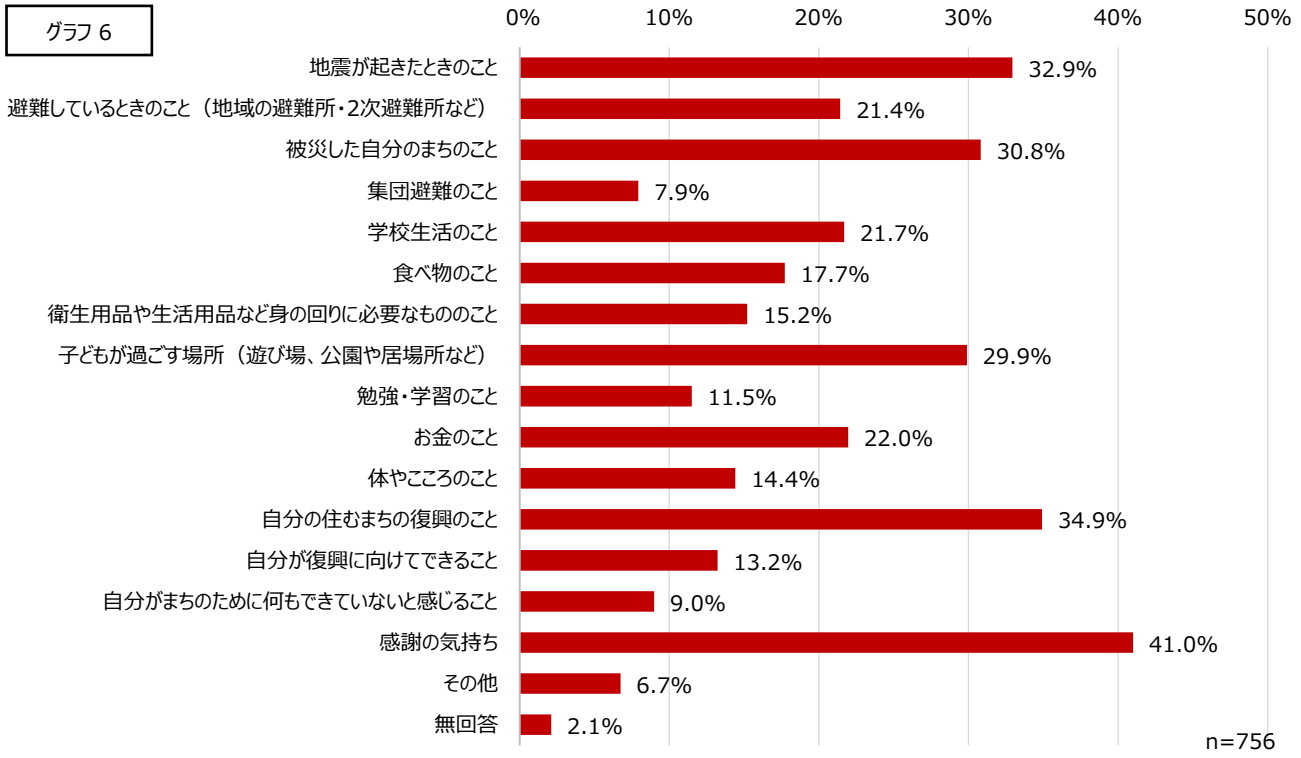
上記「はい」と回答した子どものうち、伝えたい内容として「感謝の気持ち」を選択した子どもが 41.0%であった。また、「地震が起きたときのこと」「被災した自分のまちのこと」「自分の住むまちの復興のこと」がいずれも 3 割を超えており、地震発生時の様子を伝えたい子ども、自分のまちや復興に関心を寄せている子どもが一定数いることが明らかとなった。「避難しているときのこと（地域の避難所・2 次避難所など）」「学校生活のこと」「子どもが過ごす場所（遊び場、公園や居場所など）」「お金のこと」も 2 割を超えており、自由記述からは自分たちの生活の状況や心配ごと、要望を伝えたいと考えている子どもの存在も浮かび上がった。「体やこころのこと」も 14.4%おり、災害後の自分の体やこころの変化について心配する声もあった。

表 5

No.	カテゴリ	件数	%	No.	カテゴリ	件数	%
1	地震が起きたときのこと	249	32.9	10	お金のこと	166	22.0
2	避難しているときのこと（地域の避難所・2 次避難所など）	162	21.4	11	体やこころのこと	109	14.4
3	被災した自分のまちのこと	233	30.8	12	自分の住むまちの復興のこと	264	34.9
4	集団避難のこと	60	7.9	13	自分が復興に向けてできること	100	13.2
5	学校生活のこと	164	21.7	14	自分がまちのために何もできていないと感じること	68	9.0
6	食べ物のこと	134	17.7	15	感謝の気持ち	310	41.0
7	衛生用品や生活用品など身の回りに必要なもののこと	115	15.2	16	その他	51	6.7
8	子どもが過ごす場所（遊び場、公園や居場所など）	226	29.9		無回答	16	2.1
9	勉強・学習のこと	87	11.5		回答者数	756	-

※質問 2 にて「はい」と回答した人が対象

グラフ 6



●「その他」の回答（全件掲載） ※（ ）内は地域、学年、性別

断水。（七尾市、小 4、女）／もっとひがいがひどい所の復興・復旧がおそい。（七尾市、小 6、その他）／決まりをまもる。（七尾市、小 6、女）／復興作業のこと。（七尾市、小 6、女）／七尾市（中島）を珠洲、輪島の通り道として使うのではなく、芸能人に来てほしい。（七尾市、中 2、女）／そのごの生活のこと。（七尾市、高 2、女）／水のこと。（七尾市、高 2、女）／政府の対応。（七尾市、高 2、男）／地域のために身を尽くして働いてくれた役場職員のみなさんのこと。（七尾市、高 3、女）／水は使えるけど、浄化槽がなおらないから、トイレやお風呂使えない。（七尾市、無回答、女）／新しいカギ。（穴水町、小 5、男）／命の大切さ。（穴水町、小 6、女）／ガードマン。（穴水町、中 1、男）／ばす。（穴水

町、中 1、その他）／輪島毛もらったポケモンカードのオリパを作ってほしい。（穴水町、中 1、その他）／飼い主と離れてしまった犬や猫などのペットについて。（穴水町、中 3、女）／町お金なさすぎ。（穴水町、中 3、女）／防災対策。（穴水町、高 2、女）／なごみをはやくつくってほしい。（能登町、小 4、女）／能登人間にとって一番大事な祭りを大人達だけでするかしないか決めてしまうこと。僕たちから笑顔を奪わないでほしい。未来は僕たちなのだから。（能登町、中 1、男）／水が、外までしか出ないこと、家の中まで水が来ていないこと。（能登町、中 2、男）／まつり。（能登町、高 1、男）／地震が起きた地域のくずれた家のてっきょ。（能登町、高 2、女）／地震を体験していない人。（能登町、高 2、男）／当たり前が当たり前じゃないこと。（能登町、高 3、男）／石川県（のと）のふっこう、ふっきゅうのめど。（珠洲市、小 5、女）／とくにない。（珠洲市、中 1、男）／家族のこと。（珠洲市、中 2、女）／子どものあそびばをつくってほしいこと。（輪島市、小 4、女）／友だちがどっか行ったこと。（輪島市、小 5、男）／いろいろ。（輪島市、中 1、男）／グラウンド直してほしい。（輪島市、中 1、男）／仮設住宅でサッカーコートと遊ぶ場所がないからほしいです。（輪島市、中 1、男）／道路のこと。（輪島市、中 1、男）／部活動。（輪島市、中 1、女）／遊ぶところ。（輪島市、中 1、男）／帰り道にあぶない所などがある。（輪島市、中 2、男）／復興があまり進んでいない。（輪島市、中 2、女）／インタビューのこと。（輪島市、中 3、女）／なぜしちょうさんは何もしてくれないのか。（輪島市、中 3、女）／ペットのこと。（輪島市、高 2、男）／部活。（輪島市、高 2、男）／部活。（輪島市、高 2、男）／輪島高校のグランドを直してほしいです。（輪島市、高 2、男）／海外に多額のお金を支援する前に、石川や自国の復興、活性化に使ってください。（輪島市、高 3、女）／市長がクソバカうんこあと副市長もクソうんこ。（輪島市、高 3、女）／輪島に作ってほしい。（輪島市、高 3、男）／お金のこと。（輪島市、無回答、男）／トイレ。（石川県、高 3、男）

（1）-2. 上で選んだことをだれに伝えたいですか。（複数回答）

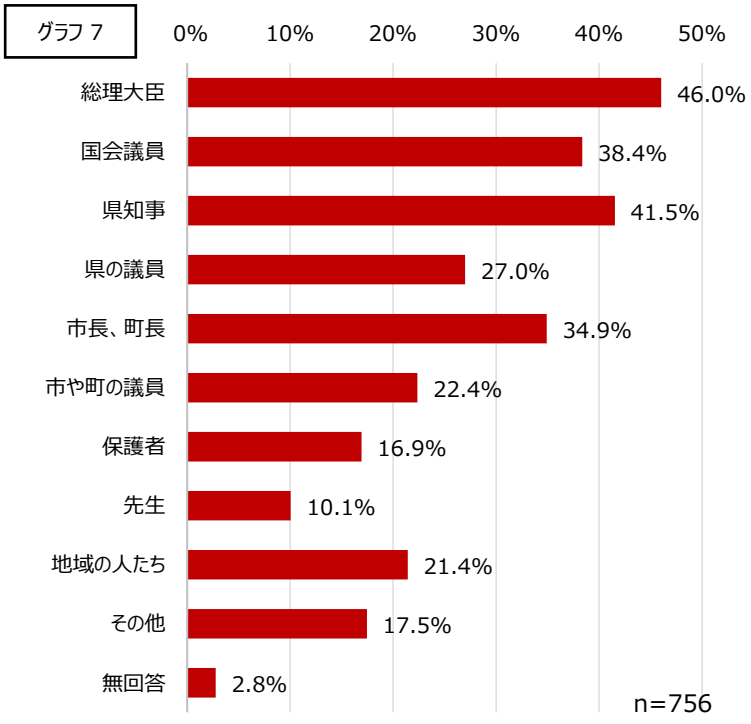
自分が思っていることを伝えたい相手は、「総理大臣」が 46.0%と最も多く、次いで「県知事」が 41.5%となった。「保護者」「先生」「地域の人たち」に比べ、総理大臣や首長、議員など政策決定者を選択する割合が高くなっており、政治や政策を担う大人に自分たちの思いや意見を伝えたい子どもが多数いることが分かった。

表 6

No.	カテゴリ	件数	%
1	総理大臣	348	46.0
2	国会議員	290	38.4
3	県知事	314	41.5
4	県の議員	204	27.0
5	市長、町長	264	34.9
6	市や町の議員	169	22.4
7	保護者	128	16.9
8	先生	76	10.1
9	地域の人たち	162	21.4
10	その他	132	17.5
	無回答	21	2.8
	回答者数	756	-

※質問 2 にて「はい」と回答した人が対象

グラフ 7



●「その他」の回答（全件掲載）※（ ）内は地域、学年、性別

お母さん（七尾市、小 4、男）／地震の経験をしていない人達（七尾市、小 4、女）／日本中の人（七尾市、小 5、男）／支援に関わってくれたボランティアの方や自衛隊の方（七尾市、小 6、女）／炊き出しをしてくれたボランティアさん（七尾市、小 6、女）／日本の人々（七尾市、小 6、女）／芸能事務所（七尾市、中 2、女）／県外の人（七尾市、高 1、男）／国民（七尾市、高 1、女）／地震を体験したことのない人（七尾市、高 1、男）／官僚（七尾市、高 2、男）／他県の人たち（七尾市、高 2、女）／すべての人（七尾市、高 3、女）／自衛隊（七尾市、高 3、男）／誰でもいい（七尾市、高 3、女）／きんじょの人（穴水町、小 4、女）／ボランティア（穴水町、小 4、男）／文ぼう具やおかしをくれた人たち（穴水町、小 4、女）／いません（穴水町、小 6、女）／ボランティアの人たち（穴水町、小 6、女）／支えんをしてくれた人（穴水町、中 1、女）／他の県の人たち（穴水町、中 1、女）／他の県の人たちに（穴水町、中 1、男）／天皇（穴水町、中 1、その他）／震災に関わった全ての人達（穴水町、中 2、女）／知っている人（穴水町、高 2、女）／地震を体験していない人たち（穴水町、高 2、女）／じえたい（能登町、小 4、女）／じえたい・ボランティア（能登町、小 4、女）／みんな（能登町、小 4、女）／しえんしてくれた人（能登町、小 5、女）／千葉県流山市の小中学生（能登町、小 5、女）／他の県の方（能登町、小 5、女）／日本全国の人（能登町、小 5、女）／支援で県外からきてくれた人（能登町、小 6、女）／ボランティアの方、義援金を送ってくれた方（能登町、中 2、男）／市まいとしのひと（能登町、中 2、男）／自衛隊、ボランティア（能登町、中 2、女）／スマイルアップ、だぱんぷ（能登町、中 3、女）／地震のある可能性がある地域の人（能登町、中 3、女）／日本に住んでいる人（能登町、中 3、女）／日本国民（能登町、中 3、男）／キャンドル・ジュン（能登町、高 1、男）／ボランティアの人（能登町、高 1、男）／多くの日本人（能登町、高 1、男）／ボランティアの方々（能登町、高 2、男）／寄付してくれた人たち（物資を）（能登町、高 2、女）／地震を経験していない人達（能登町、高 2、女）／同情だけハリウッド俳優ぐらい上手な人達（能登町、高 3、男）／ボランティアなど震災後の石川県に関わってくれた皆様（能登町、高 3、女）／他県（能登町、高 3、男）／おせわになった人みなさん（珠洲市、小 4、女）／お世話になったみなさん（珠洲市、小 4、女）／たすけてくれた人みんな（珠洲市、小 4、女）／ボランティア しえんしてくれた人（珠洲市、小 4、女）／家族（珠洲市、小 5、女）／おせわになったみなさん（珠洲市、小 6、男）／たすけてくれた人みんな（珠洲市、小 6、男）／ボランティア（珠洲市、中 1、男）／家族、支えんしてくださった人（珠洲市、中 1、男）／支えてくれた方々（珠洲市、中 1、女）／自えいたい（珠洲市、中 1、男）／復興に協力してくれた人達（珠洲市、中 1、男）／はっきりいってそうりやめろ おとなだけにすこしいいことだけすんな こどもにもめりっとのあることしろ くそぞうぜい でこしわメガネめ（珠洲市、中 2、男）／ボランティア（珠洲市、中 2、女）／支えんしてくだっさている方々（珠洲市、中 2、女）／支援してくださる人（珠洲市、中 2、女）／自衛隊（珠洲市、中 2、女）／他の県の人たち（珠洲市、中 2、女）／別に誰にも伝えたくない ただ書きたいだけ（珠洲市、中 2、女）／ボランティア（珠洲市、中 3、女）／県外の人たち（珠洲市、中 3、女）／太平洋側の人たち（珠洲市、中 3、男）／支援してくださった人（珠洲市、高 2、女）／ボランティアに来てくれた人たち、全国（珠洲市、高 3、女）／カウンセラー（輪島市、小 4、女）／ボランティア（輪島市、小 4、女）／ボランティアにきている人（輪島市、小 4、女）／市役くしょ（輪島市、小 4、女）／しえんしてくれた人（輪島市、小 5、女）／じえいたい（輪島市、小 6、女）／じえいたい（輪島市、小 6、女）／じえいたい（輪島市、小 6、男）／じえたい（輪島市、小 6、女）／支援していただいたみなさま（輪島市、小 6、女）／全国の人達（輪島市、小 6、男）／BBC（輪島市、中 1、男）／いろんな県から来てくれたボランティアの方々（輪島市、中 1、男）／応えんしてくれた人（輪島市、中 1、男）／市役所職員（輪島市、中 1、女）／他の県の人たち（輪島市、中 1、男）／ひ災した県以外の県（輪島市、中 2、男）／ほうどうじん（輪島市、中 2、女）／自衛隊、他県のボランティア関係（輪島市、中 2、男）／テレビかんけいの人（輪島市、中 3、女）／ネット民（輪島市、中 3、男）／ネット民（輪島市、中 3、男）／ボランティアの人たち！！（輪島市、中 3、女）／他のところに住む人たち（輪島市、中 3、女）／他の人（輪島市、中 3、男）／他県（都・道・府）の人たち（輪島市、中 3、女）／他県の人（輪島市、中 3、男）／有名人（輪島市、中 3、男）／ボランティアをしに来てくれた方々（１５番だけを伝えたい）（輪島市、高 1、男）／全国の人（輪島市、高 1、女）／いろんな人（輪島市、高 2、男）／だれとかない（輪島市、高 2、女）／ボランティアで来てくださった方々（輪島市、高 2、女）／石川県以外の学生たち（輪島市、高 2、男）／他の県の人たち（輪島市、高 2、その他）

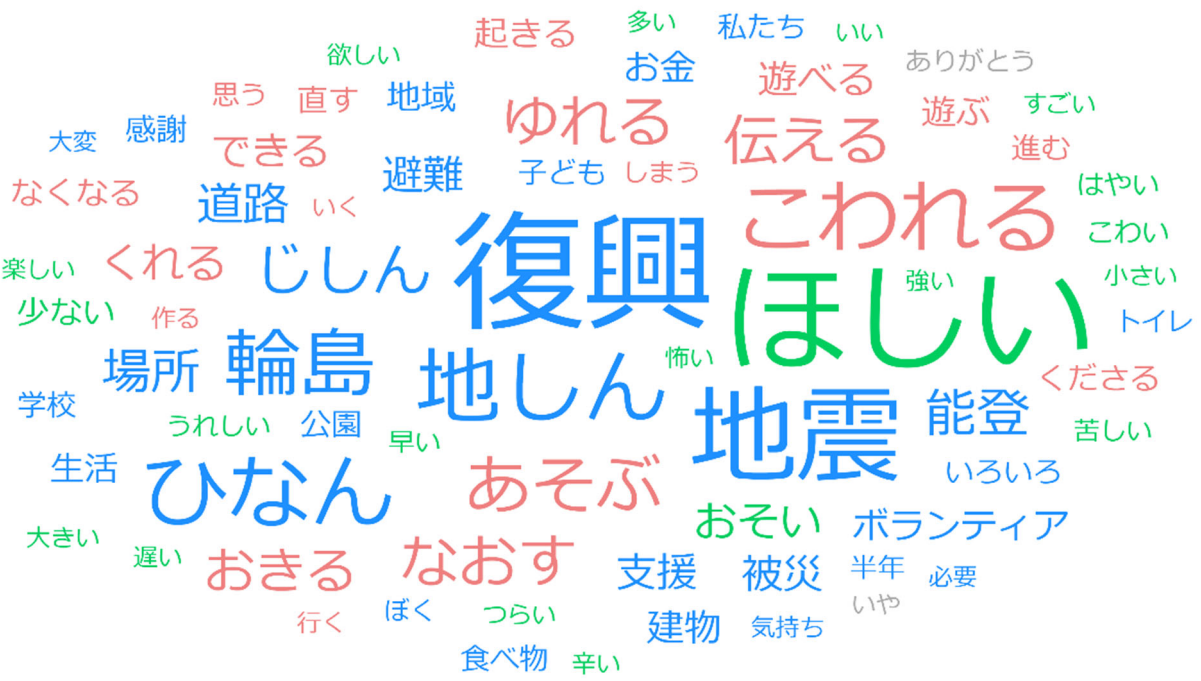
／私達のことを忘れているひと全員（輪島市、高 3、女）／他県の人たち（輪島市、高 3、女）／日本全国！（輪島市、高 3、女）／文部科学省の方々（輪島市、高 3、その他）／子供たち（石川県、高 1、男）／県外の人（石川県、高 2、その他）／県外の人（石川県、高 2、男）／水泳のコーチ（他の県）（石川県、高 2、男）／大地震にあった事が無い人達（石川県、高 2、男）／被害があまりなかった人たち（石川県、高 2、男）／支援してくれた人全員（石川県、高 3、女）／支援してくれた全国の人（石川県、高 3、男）／世界中（石川県、高 3、男）／全国の人たち（石川県、高 3、女）／全国の人たち（石川県、高 3、女）／友達（石川県、高 3、男）／友達（石川県外、中 1、女）／未成年の方々（石川県外、高 3、男）

（1）-3. 具体的にどんなことを伝えたいか、あなたの思いや意見をくわしく教えてください。

この質問への自由記述は 676 件寄せられた。自由記述で出現頻度が高い単語を、出現度合いに応じた大きさで表示すると以下のようになった。地震や避難した時の状況なども多く寄せられたが、学校生活や学び、道路の補修、遊び場や公園など子どもが過ごす場についての声もあった。地震後、つらい、怖いと感じる子どもたちの声や、生活再建や人口減少に対する不安、復旧や復興の遅さに対する憤り、さらなる支援やより良いまちづくりを求める声も多かった。中には、自分たちも主体的に復興へ関わりたいという声も複数あった。

自由記述の内容は、p.17 以降にすべて掲載した。

図 1



※ユーザーローカル AI テキストマイニングによる分析 （ https://textmining.userlocal.jp/ ）
単語の色は品詞の種類で異なっており、青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞、灰色が感動詞を表している。

（2）「いいえ」「わからない」と答えた人にお聞きします。
なぜそう思ったのか教えてください。（複数回答）

能登半島地震やその後の生活について大人や社会に伝えたいことがあるかという質問に対し「いいえ」「わからない」と回答した子どもにその理由をたずねたところ、「何を話したらいいかわからない」が 36.7%と最も高かった。次いで「話す必要がない」が

20.0%、「話しても何も変わらない」が 16.6%、「特に話したくない」が 16.0%となった。また、勉強、部活や習いごとなどの忙しさを理由にあげた子どもがそれぞれ 15.3%、14.5%いた。「すでに伝えている（まわりに聞いてくれる人がいる）」を選択した子どもが 12.7%いる一方、「話す機会がない」が 11.5%、「どこで話したらいいかわからない」が 10.4%いることが分かった。

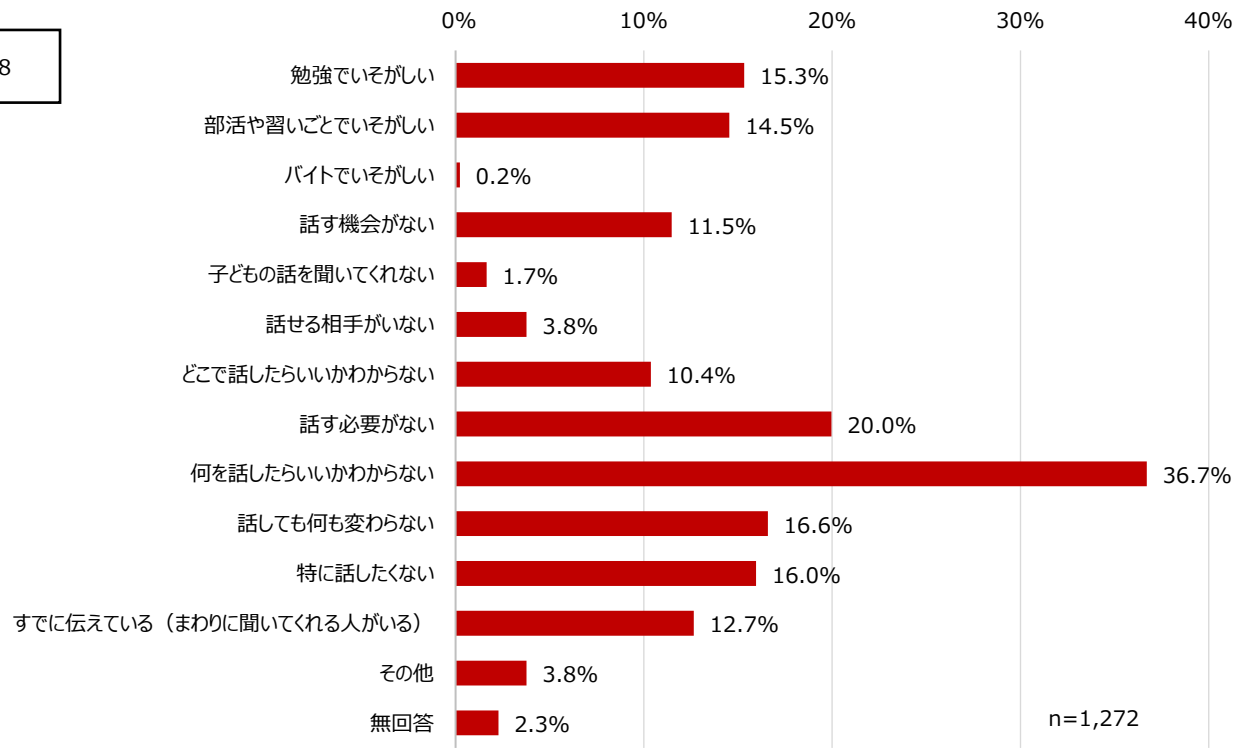
上記理由のうち、いくつかを年代別にクロス集計したところ、「話しても何も変わらない」を選択した子どもは、中学生が 24.0%と最も高かった。「何を話したらいいかわからない」はどの年代でも 3 割を超えた。「話す機会がない」では、高校生世代が 14.8%と最も高かった。

表 7

No.	カテゴリ	件数	%	No.	カテゴリ	件数	%
1	勉強でいそがしい	195	15.3	8	話す必要がない	254	20.0
2	部活や習いごとでいそがしい	185	14.5	9	何を話したらいいかわからない	467	36.7
3	バイトでいそがしい	3	0.2	10	話しても何も変わらない	211	16.6
4	話す機会がない	146	11.5	11	特に話したくない	203	16.0
5	子どもの話を聞いてくれない	21	1.7	12	すでに伝えている（まわりに聞いてくれる人がいる）	161	12.7
6	話せる相手がいない	48	3.8	13	その他	48	3.8
7	どこで話したらいいかわからない	132	10.4		無回答	29	2.3
					回答者数	1,272	-

※ 質問２にて「いいえ」「わからない」と回答した人が対象

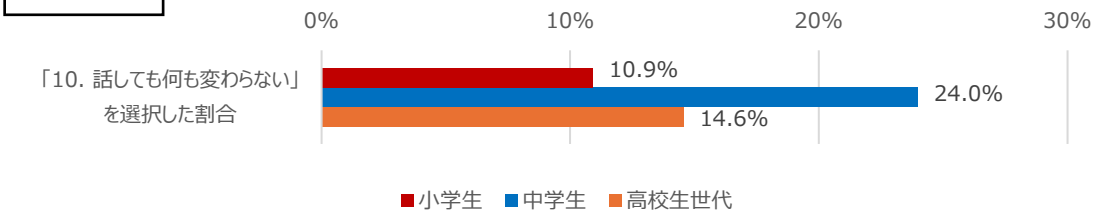
グラフ 8



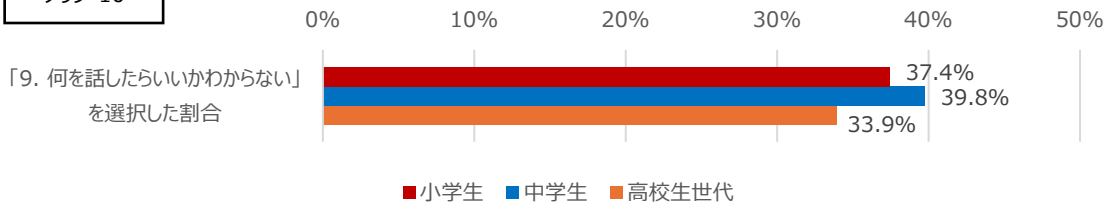
【クロス集計】

「（2）「いいえ」「わからない」と答えた人にお聞きします。なぜそう思ったのか教えてください。」の回答と、年代（小学生、中学生、高校生世代）のクロス集計

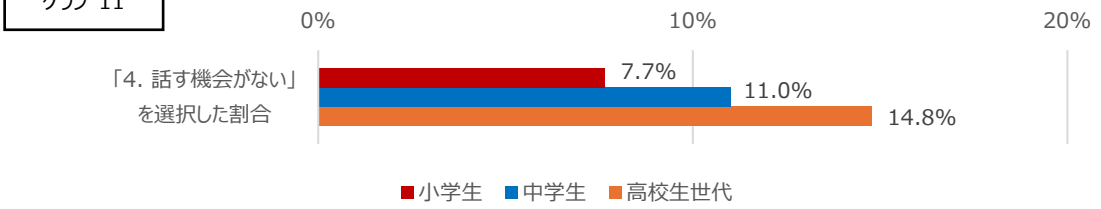
グラフ 9



グラフ 10



グラフ 11



※質問２にて「いいえ」「わからない」と回答した人のうち、学年・年齢の「その他」と無回答を除いた 1,267 人の内訳
（小学生：n=366、中学生：n=400、高校生世代：n=501）

●「その他」の回答（全件掲載）※（ ）内は地域、学年、性別

話すことが特にない。（七尾市、小 6、女）／ここに住んでないから。（県外に住んでたから。）（七尾市、高 1、男）／直接の被害を受けていないから。（七尾市、高 1、女）／話す内容が無い。（七尾市、高 3、女）／おやこの手紙でつたえたかったことをつたえたから。（穴水町、小 5、女）／とくにつたえることがない。（穴水町、小 6、男）／伝えることがない。（穴水町、小 6、女）／話すことがない。（穴水町、小 6、男）／別に何も思っていない。（穴水町、中 1、女）／いつもかまってくれない、ずっと妹と弟だけで、あそんでいる。（ママ）（能登町、小 5、女）／話すことがない。（能登町、小 5、男）／話すことがないから。（能登町、小 6、女）／はなしてかなしむ人もいるから。（能登町、中 2、男）／何もない。（能登町、中 3、男）／思いつく内容がない。（能登町、中 3、男）／なんとなく。（能登町、高 1、女）／地震を思い出したくない。（能登町、高 1、女）／別の県にいました。（能登町、高 2、男）／別の県にいて、直接被災したわけではないため。（能登町、高 2、女）／伝えたいことが特にない。（能登町、高 2、女）／被災地にいなかった。（能登町、高 2、女）／震災が起きた時、能登にいなかったから。（能登町、高 3、女）／被災していないので伝えられることがない。（能登町、高 3、男）／何もおもっていない。（珠洲市、小 4、男）／能登半島地震の事が思い出せない。（珠洲市、中 1、男）／特に話したいと思うことがない。（輪島市、小 6、女）／地震の時、門前にいなかったからわからない。（輪島市、中 1、女）／特に話したいことがない。（輪島市、中 1、女）／こまったことがないから。（輪島市、中 2、男）／話すことがない。（輪島市、中 2、男）／話すことがない。（輪島市、高 1、女）／何もなかった。（石川県、高 1、男）／身近に経験した人がいて話を聞いて話さなくても影で助けたり他の人に話して辛い思いさせるよりこれからのことをみんなで考えていきたいから。（石川県、高 1、女）／能登地区出身でないため、経験していないから。（石川県、高 1、女）／もっとたいへんな人がいるから。（石

川県、高 2、男）／自分の住んでいる地区は大きな被害がなかった。（石川県、高 2、女）／特に被害は、ない。（石川県、高 2、女）／あまり被害にあっていないから詳しくない。（石川県、高 3、女）
※その他、「特にない」などの回答が 10 件あった。

3. あなたは、これからの復興に向けて自分の住むまちのために何かしたいことはありますか。今の気持ちに当てはまるものすべてに○をつけたり、書いたりしてください。（複数回答）

本アンケートに回答した全員に、これからの復興に向けて何をしたいかたずねたところ、何らか行動したいという選択肢 1～9（表 8）を 1 つでも選択した子どもは 1,314 人[3]、64.0%であった。具体的には、「自宅やまちの片付け」が 27.0%と最も高く、「地域の行事への参加」が 24.8%[4]と 2 割を超えた。次いで「まわりの人をはげます」が 17.6%、「募金」が 16.9%で子どもが比較的参加しやすい項目が選択された。ほかに、「震災を語りつぐ」が 13.7%、「復興計画について知る」が 13.0%、「復興について子ども同士で話し合う」が 9.9%であった。復興に関する選択肢 6～8 のうち 1 つでも選択した子どもは 435 人、21.2%いた。

一方、「何をしたらいいかわからない」を選択した子どもが 15.4%、「子どもにできることがない」が 5.7%、「かかわる機会がない」が 3.1%おり、潜在的には何かしたいと思っていても十分な情報や機会が得られていないと思われる回答もあった。

また、質問 2 とのクロス集計を行ったところ、伝えたいことがあるかという質問に「いいえ」「わからない」と回答した子どもであっても、これからの復興に向けてしたいこととして「自宅やまちの片付け」や「地域の行事への参加」などを選択している子どもが一定数いた。また、質問 2 で「わからない」と答えた子どものうち 2 割が「何をしたらいいかわからない」を選択していた。

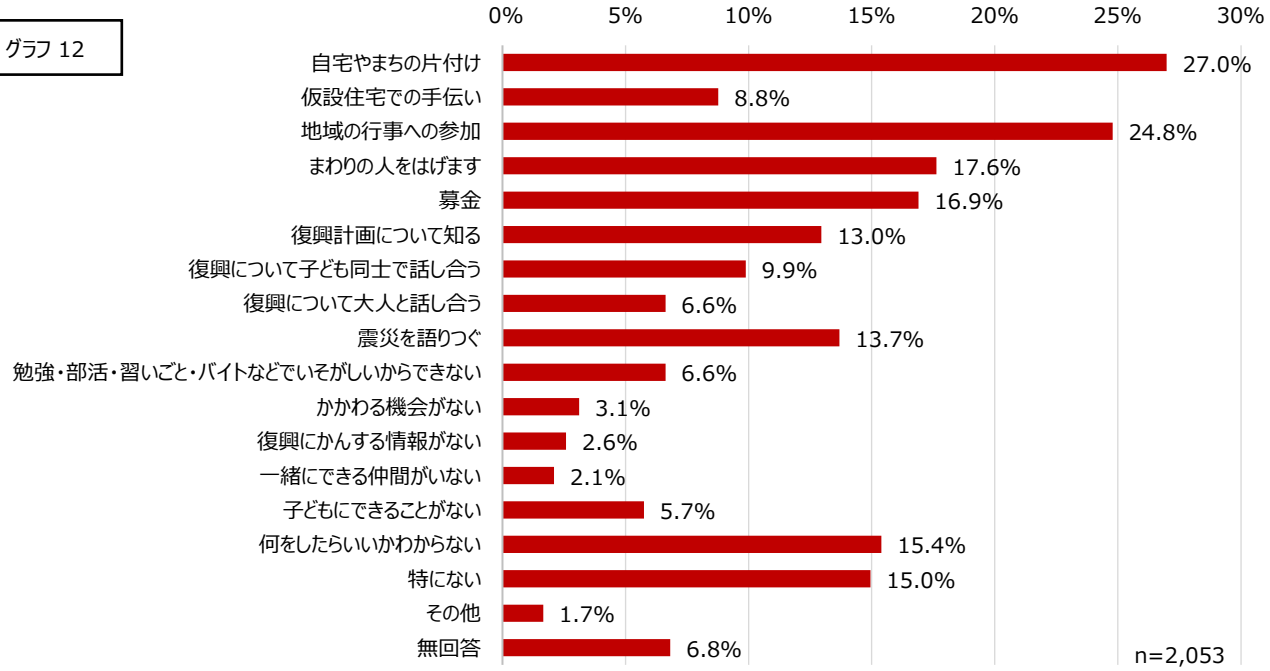
表 8

No.	カテゴリ	件数	%	No.	カテゴリ	件数	%
1	自宅やまちの片付け	554	27.0	10	勉強・部活・習いごと・バイトなどでいそがしいからできない	136	6.6
2	仮設住宅での手伝い	180	8.8	11	かかわる機会がない	64	3.1
3	地域の行事への参加	509	24.8	12	復興にかんする情報がない	53	2.6
4	まわりの人をはげます	362	17.6	13	一緒にできる仲間がいない	43	2.1
5	募金	347	16.9	14	子どもにできることがない	118	5.7
6	復興計画について知る	266	13.0	15	何をしたらいいかわからない	316	15.4
7	復興について子ども同士で話し合う	203	9.9	16	特にない	307	15.0
8	復興について大人と話し合う	136	6.6	17	その他	34	1.7
9	震災を語りつぐ	281	13.7		無回答	140	6.8
					回答者数	2,053	-

[3] 速報版では、1,313 人と報告したが、最終集計で「1,314 人」となった（割合は変更なし）。

[4] 速報版では、24.7%と報告したが、最終集計で「24.8%」となった。

グラフ 12



※速報版では、表 8 において「地域の行事への参加　508 件、24.7%」、「何をしたらいいかわからない　317 件、15.4%」と報告したが、最終集計で「地域の行事への参加　509 件、24.8%」、「何をしたらいいかわからない　316 件（割合は変更なし）」となった。グラフ 12 では、上記の修正に合わせて割合の修正を行った。

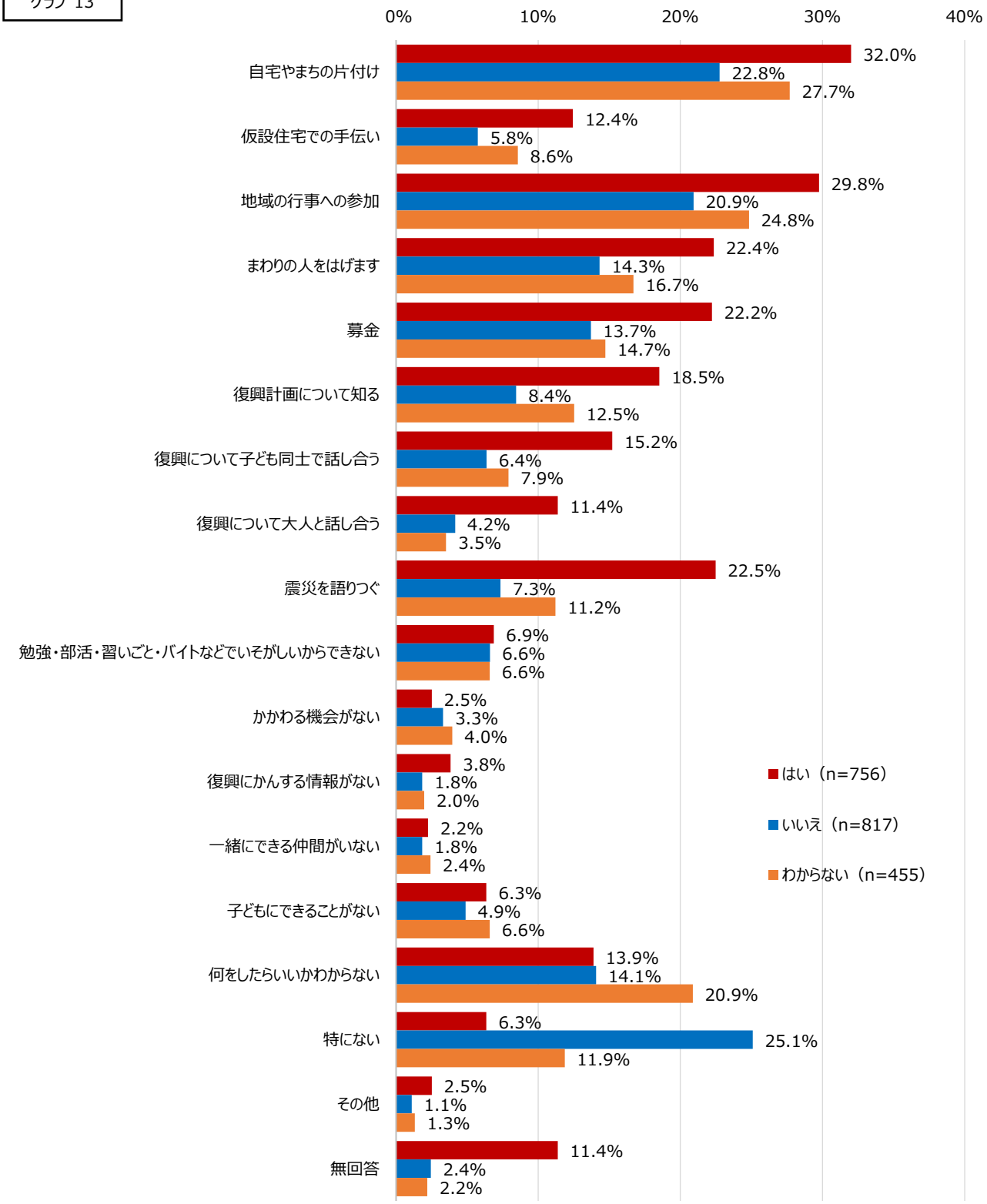
●「その他」の回答（全件掲載） ※（ ）内は地域、学年、性別

1、4 のほかになにかすることがない。（七尾市、小 4、女）／できることがあればしたい。（七尾市、小 4、女）／みんなと仲良く過ごす。（七尾市、小 5、女）／ボランティア。（七尾市、高 1、男）／災害ボランティアの手伝いをした。（七尾市、高 2、女）／自分たちの部活動に取り組む姿勢や結果で能登に元気をあたえたい。（七尾市、高 2、男）／サッカーで勇気をあたえる。（七尾市、高 3、男）／自分ができることで能登を輝やかせる。（七尾市、高 3、女）／ぼきんしたりするほど、お金がない（お小づかいが少ないから）　それにどこでできるのか分からない。（穴水町、小 4、女）／店の手伝い。（穴水町、中 1、女）／道路を前みたいにきれいにする。（能登町、中 2、男）／被災者として被害がなくて充実しているのに手伝うことができない。（年れい低いとか？）（能登町、中 3、女）／祭り。（能登町、高 1、男）／課題研究を通して能登の復興。（能登町、高 3、男）／ない。（珠洲市、小 4、男）／かせつじゅうたくのできることをてつだいたいです。（珠洲市、小 5、男）／なくなった人のおはかや家の前にお花をおくこと。（珠洲市、小 5、女）／1 に似ているけど、友達と学校の授業で片付けなどをしたい。（珠洲市、小 6、女）／親子議会で話す。（珠洲市、小 6、女）／クソぞうぜいメガネがふっこうきんをすくなくしとる　ぜいきんやまほどまきあげてぞうぜいして　ひさいしたらふっこうきんをすくなくする。（珠洲市、中 2、男）／まつりする。（珠洲市、中 2、無回答）／野球をしているのでけっかをのこして町を元気にしたい。（珠洲市、中 3、男）／じぶんがげんきにサッカーをする。（輪島市、小 4、男）／たきだし。（輪島市、小 4、男）／ちいきの人にえがおをおくりたい。（輪島市、小 4、女）／このようなアンケートなどでまちをみんなで復興していきたい。（輪島市、小 6、女）／祭り。（輪島市、中 2、男）／お父さんの手伝いをしたい。（輪島市、中 3、男）／グランドを直してほしい。（輪島市、中 3、男）／ゴミ拾い。（輪島市、中 3、男）／いろいろなボランティアに参加すること。（石川県、高 1、女）／サッカーでみんなを笑顔。（石川県、高 1、男）／部活がいそがしいが復興を手伝いたい。（石川県、高 3、女）

【クロス集計】

「2．あなたは、能登半島地震やその後の生活について、大人や社会に伝えたいことはありますか。」の回答と、「3．あなたは、これからの復興に向けて自分の住むまちのために何かしたいことはありますか。」のクロス集計

グラフ 13



※グラフ 13 では、p.15 の修正に合わせて割合の修正を行った。

Ⅳ. 自由記述

本アンケートでは、以下 3 つの自由記述質問を設けた。ここでは、それぞれの質問に対する回答を全件掲載する[5]。

・質問 2-(1)-3. 具体的にどんなことを伝えたいか、あなたの思いや意見をくわしく教えてください。

・質問 4. そのほか、能登半島地震について感じていること・考えていることなどがあれば教えてください。

・質問 5. このアンケートの感想や、セーブ・ザ・チルドレンに伝えたいことがあれば教えてください。

2-(1)-3. 具体的にどんなことを伝えたいか、あなたの思いや意見をくわしく教えてください。

自由記述は 676 件。なお、掲載にあたっては、2-(1)-1「どんなことを伝えたいですか。」の質問で選んだ選択肢と自由記述の回答内容を参照してセーブ・ザ・チルドレンがカテゴリ分けし、自治体・学年・五十音順になるよう並べ替えた。なお、速報版に掲載した記述のうち、完全版掲載にあたってカテゴリを変更したものがある。

●発災時、避難の状況

- 被災した町を見て現実を感じて欲しい。（七尾市、小 4、女）
- 1/1 はとても大きな揺れで、避難所でのことも忘れられない。3 か月も断水で本当につらかった。復興があまり進んでいなくて、ででも大人たちも子どももなんとなく日常のことを進めなくてはいけない。みんな疲れているし、この先どうなるか不安に思って生活している。地震はもう日本でもほとんどの人が忘れてしまったような気がする。（七尾市、小 5、女）
- 地震がおきたときにけっこうゆれて、物がおちたりした。自分が思ったことは、地震がおきたときに、つくえに、すぐにかくれようと思いました。（七尾市、小 5、男）
- 地震でこんなに大地震が発生するかを伝えたい。その時どうやって避難するべきか。（七尾市、小 5、女）
- 津波は予想以上に恐いから、気をつけてほしい。（七尾市、小 5、男）
- この地震が起きて、あの日までは当たり前にあったものが失われました。祖父母の家や、学校の給食も長い間ありませんでした。伝えたいことは地震が起きても人がきずつかない世の中にしたいということです。（七尾市、小 6、男）
- この地震で大変だったこと、長い間辛かったこと。（七尾市、小 6、男）
- 大人なので決まりを守ってほしい。マットのうえをくつで入ってはいけないのに入っている。夜なのに大音量でゲームをしている。そういうのをやめてほしい。（七尾市、小 6、女）
- 地震はこわいし水にこまった。（七尾市、小 6、男）
- 保存食はもらえたら助かったけど平日昼間の早い者勝ちの配布なので取りに行けない。（七尾市、小 6、男）
- 地震が起きた後の変化。（七尾市、中 1、女）
- 地震は急に現れます。警報がなる前に起こることもあります。地震当日の地震が起きる数十分前に空に一線に雲があって綺麗と思うと同時に元々危険なことなどを察知してしまうのでより一層何かあるのではないかと思いました。地震が来た時は家に帰っている時であと 1 分くらいで家に着くという時でした。車の中だったので最初の小さい地震には気づかず、スマホの地震警報？がなり止めながら一緒に車に乗っていた弟と妹にどこかに捕まってとお母さんには電柱の横に車がいたので少し進むよういいました。大きな地震で自分もドアの小物入れのようなところにしがみつきながら周りと弟妹とお母さんがしっかり捕まっているかを見ていました。前にある電柱が倒れそうになってきて最終的には斜めになりました。地震が収まってすぐに家にいるハムスターや家の状況が心配になり家に向かいました。ご近所さん達も家から出てきて家の周りの亀裂などを見てやばいことになったわー、、、と言っていました。私の家もいろいろとやばく、家に入るとがっちゃがちゃ。ドアは外れまくりでキッチンもいろいろなものが落ちまくり。ガラスが少し割れていたので踏まないように茶の間に入りました。最初に入ったお母さんがハムスターが 1 匹ケージが倒れていたため出る寸前でなんとか拾い上げ助かりました。その後車に乗らないのでハムスターを一旦家に置いたままにし海が近いので離れながら高台へと行きました。いろ

[5] 自由記述の掲載については、〈集計・分析にあたっての留意点・アンケートの制約〉（p.3）参照

いろありはしましたがなんとか今はその家もある程度修復し私は引っ越しました。本当に大変でした。もっといろいろ言いたくはあるのですが大体言いたいことは伝れるといいなと思います。大きな地震が急に来たら落ち着かずにはいられないと思うし泣いちゃうかもですけど、泣いていいんです。とにかく高台に逃げましょう。家の事とかいろいろ心配になるかと思いますがまずは自分たちが助からなきゃいけないっていうことを胸にし高台へと逃げてください。それと家から逃げるなら少しでもいいので飲食と温まるものとスマホの充電器などを持っていってください。スマホの充電器は意外と重要でした。ここまでにしておきます。（七尾市、中 2、女）

- どこに避難するか　場所。（七尾市、高 1、男）
- 地震が起きたときのこと。（七尾市、高 1、女）
- 地震が強かったこと。（七尾市、高 1、男）
- 町のこと。（七尾市、高 1、女）
- 必需品。（七尾市、高 1、男）
- 笑顔を、みんなにとどけたい。（七尾市、高 2、女）
- 水がでない、使えないことの大変さ。（七尾市、高 2、女）
- 地震がおきたときスマホを手ばなして地震がおきていることにきがつけませんでした。次々に揺れがおおきくなり、立つこともむずかしく、すぐに外に避難したら、7 がおそってき家の蔵が全壊したり、道路が割れ次々に家がたおれていきました。死がくるのかなとは思ったけど地域の人たちがにげていたため自分もにげようと強くかんじました。また、何台もきゅうきゅう車や消防車が県外からたくさんきてくれたり、個人で支援してくれる人達がたくさん来てくれたのでとてもうれしかったです。（七尾市、高 2、女）
- 地震が起きたあとのこと。（七尾市、高 3、女）
- 地震が起きたときの状況、衛星面を伝えたい。（七尾市、高 3、男）
- 地震が起きている時の揺れの怖さや不安　食料が手に入りにくい。（七尾市、高 3、男）
- 自分が体験した事、そして他からの話も聞き、だけど自分は何も出来ない。（七尾市、その他、女）
- 水の配給に並んだけど、目の前で終わってもらえなかったこと。（七尾市、その他、女）
- トイレは食べ物の次に大事だと思う。後回しになってる。一度災害のトイレ事情体験して欲しい。凝固剤入れて、ゴミ捨ての作業がどれほど負担になるか。指定のゴミ袋がすぐなくなるから、補助して欲しい。（七尾市、無回答、女）
- ひなんしているときにごはんなどは大切なんだと思ったこと　・ボランティアに向けての感謝の気持ち。（穴水町、小 4、男）
- 意見はじしんがおきたときのことでつらかったことを伝えたいから。（穴水町、小 4、男）
- 地震がおきたときおちついてれいせいにこうどうしてください。（穴水町、小 5、男）
- こういうことが大切こういうじょうきょうで強いゆれが続いていたたことや、さいごまで生きれなかった人の今気づいた大切さを伝えたりしたいです。（穴水町、小 6、女）
- この地震でたくさんの人がきずつき、大切な人を失いなんヵ月も苦しい思いをして 6 ヵ月がたった今まだ見つかっていない人や家でくらせず仮設住宅などにいる人だってたくさんいます。わたしたちのクラスではひっこしした人や亡くなった人がいました。この思い、心のきずはいっしょうなくなりません。このような悲しい思いを知ってほしいです。（穴水町、小 6、女）
- ひなん訓練をしているにもかかわらず町の人はとても混乱しており、町長からは、なんの指じも出されなかった。そのため私は、もっと本かく的な訓練をしたいいのではと思いました。（穴水町、小 6、女）
- 大変と言うところを伝えたい。（穴水町、小 6、女）
- 4 の集団避難で色々なウイリスをもっていたらヤバイと考えました。なので、すごい費用をかけても安全な場所をふやしてもらいたい。6 ではのまない方がいい水をもってきました。なのでのめる水がほしい。そして穴水町じゃなくても根木などにも人がいたのでそこも支えんしてもらいたい。そして、何よりも地震がおきてもすぐに自衛隊などをはけんしないのがおかしく思いました。あせって何もたげれるものをもってこれてない人が僕の避難場所にいました。日本の安全をねがっているので、どの県もダメにしず支衛おねがいします。（穴水町、中 1、男）
- 支えんぶっしとかおかしを送ってくれているボランティアの人がたくさんいる。（穴水町、中 1、女）
- 地震が起きたときは外にいました。とてもグラグラゆれていて身動きもとれずこわいと思いました。ひなんしているときもグラグラなりつづけていやな思いをしました。そして早く自分達の町が元気になるようにしたいです。支援の人達、ありがとうございました。（穴水町、中 1、男）

- 地震が起こったら皆が今あたりまえにできていることが全部できなくなること。（穴水町、中 1、男）
- 冬でさむく、電気も水もなく、大変だった時、もうふなどがたりなかったり、食べ物がとどかなかったりなど、ひなん場所によって格差ができてしまっていたこと。わざわざ、ひなん場所を移動したり・・・。（穴水町、中 3、女）
- 自分が体験したこと ・防災の対策 ・他の人がどんな体験をしたか。（穴水町、高 2、女）
- 日常の生活を当たり前だと認識してはいけない（いつ食べ物が不足したり、おふろに入れなくなったりするか分からない）。（穴水町、高 2、女）
- 食べ物の量など家族や友達のこと。（能登町、小 6、女）
- 避難生活をしている時に、イスでねていてふべんな生活だったこと。地震が起きた時、道がくずれていたこと。体やこころがストレス。自分の住むまちが、だんだん直ってきて感謝をしている。（能登町、小 6、女）
- 2、6、7についてです。私の新しい方たちが、あまっているぶっしをしんさい直後にもらうことができませんでした。人にわたさなかった物はしょくいんにも渡されているのにあまっている物を自分たちの物にしてくばられませんでした。（能登町、中 1、女）
- 地震が起きた時にその時ははつもうでにいっていて、家に入ろうとしたら大きいじしんが起きて道路の真ん中に集まりました。ひなんしている時に家の中を親がそうじをしていました。きれいになったあと全く電気がとおりませんでした。もっと能登への支援についての会議を国会でしてほしいです。（能登町、中 1、男）
- 地震は、とてもすごかった。と伝えたい。（能登町、中 1、女）
- 地震後の生活のこと。（能登町、中 1、男）
- 本当に大変でつらかったこと。（能登町、中 1、女）
- 地震後の生活のつらさ。（能登町、中 2、男）
- 災害だった時に必要だった物。（能登町、中 3、女）
- 集団ひなんをしたときは、不安でいっぱいだったけど、行ってみたら、すずの子などいろんな友達をつくることができました。ありがとうございます。スマイルアップの方やだぱんぷの方がきてくれたおかげで、とても元気になれました。とてもいい経験ができました。（能登町、中 3、女）
- 水が使えなかったことや町のじょうきょう。（能登町、中 3、女）
- 地震がおきたときのじょうきょう、こまったこと。（能登町、中 3、男）
- 地震は大きい地震の前に少し大きめの地震がありました。久しぶりにゆれたなと思っていたら経験したことない揺れがきて家族で高い地域ににげました。災害から逃げたことはありますが、本当に命のきけんを感じたのは初めてでした。災害で人や町は死ぬということを伝えたいです。（能登町、中 3、男）
- ひなん生活の苦しさやさみしさ ふっこうにむけての活動。（能登町、高 1、男）
- ゆれている時の視界、その怖さ、今までで 1 番死を感じたこと。（能登町、高 2、男）
- 地震が起きてからの自分たちの対応や地域の人たちと協力することの大切さなどを伝えたいです。（能登町、高 2、男）
- 地震っていうのがどれだけ恐ろしいものなのか どれだけの被害があったのか どんな生活しているのか。（能登町、高 2、男）
- 避難経路。（能登町、高 2、女）
- 「ここあぶないよ」やきけんだよとつたえたいから。（珠洲市、小 4、男）
- 能登半島地しんがおきて多くの建物がこわれました。能登半島地しんから半年が立ちました。今も 1 月のままですがかい体がすすんでいます。（珠洲市、小 4、男）
- 地しんが起きてくるしかったこと。（珠洲市、小 5、男）
- じしんがあったときにみんながどのような行動をとっていたか、家がどんなことになったか。（珠洲市、小 6、女）
- ひなん所にいたときの大変なこと。自分の町がこれからどうなるのか不安なこと。（珠洲市、小 6、男）
- 今の地しんの事や、ひなんしている人のこと。（珠洲市、中 1、女）
- 大きな地じんが起きたあとは電気や水が来なくなることがあり、冬のときは、電気がないと寒いということと、夏では、水がないと熱中しょうや水分不足になってしまうということ。（珠洲市、中 1、男）
- 想像しているよりも被害がしんこくなこと。（珠洲市、中 2、女）
- 断水していたときの仮設風呂や炊き出しなど、本当に助かりました。（珠洲市、中 2、女）
- 地震が起きたときの町やみんなのようす、地震をけいけんしての教くんと今。（珠洲市、中 2、女）
- 地震後の道路の様子。（珠洲市、中 2、女）

- 避難しているときのこと。（珠洲市、中 2、女）
- 最初（1 月 1 日～3 日ごろくらい）はどんなふうにすごしていたか　・どんなこと・ものが避難しているときに役立ったか　・復興のアイデアをたくさんつくっても、実践できないと思っていること。（珠洲市、中 3、女）
- 能登半島地震での食物が手に入りにくいこと。（珠洲市、中 3、女）
- 避難しているときの大変さ　中学生の重要さ。（珠洲市、中 3、男）
- なぜ、ボランティアの方達は宿泊施設も十分ではない中来てくださり、夜遅くまで働いてくださっているのにもかかわらず、傲慢すぎませんか？高校生はまだ確保されているけれど、小学生や中学生の学校行事の場が疎かにされていませんか？（珠洲市、高 3、女）
- じしんがおきたときひなん所がくずれたら？（輪島市、小 4、女）
- じしんと時になるサイレンがこわかった　もっと楽しいことをたくさんしたい　お祭りなどをしたい。（輪島市、小 4、男）
- 石川県なとの県で水が出なかったこと、地面がこわれて歩きにくかったり、たいりょうの家がこわれたり、日本はくろうでいっぱいでした。（輪島市、小 4、男）
- 地しんがおきたときなにを考えていましたか？（輪島市、小 4、女）
- じしんのことがニュースにでにくくなっていることが心ぱい。全国に今のじょうきょうを知ってほしい。だん水や、てい電が大変なことをしってほしい。（輪島市、小 5、女）
- ひなんしている人の気持ち。（輪島市、小 5、男）
- ひなんする場所の生活環境がよくない。食へ物やねる場所が少ない。（輪島市、中 1、男）
- 仮設トイレがくさく、きたないので、ちゃんと水の流れるトイレがほしい　例公園のトイレとか。（輪島市、中 1、男）
- 地震がおきた時すべてのライフラインが止まりひなん所ににげても小さいよしんかずっとつづいていること。（輪島市、中 1、男）
- 地震がおこったときに、道のふっきゅうが、ぜんぜんできてなくて、友だちとかとあえなくて、かなしかったこと。あそぶところがぜんぶかせつじゅうたくになっているから、あんまりあそべない。じしんのときに、わたしたちのところにいろんなところから、ぶっしをとどけてくれてうれしかったこと。（輪島市、中 1、女）
- 地震が起きたとき、びっくりしましたね。自分のまちがこんなにも変わっておどろいて、ショックでした。地震でけがをしませんでしたか、地震のことを思い出していませんか。つらい時だとは、思いますが、がんばっていきましょう！（輪島市、中 1、女）
- 部活のできるところのかくほと、こもんとコーチのついか、あと、私は、とあるところのがけから、のぼってきたのですが、そのときの、自衛隊の方は、子どもに手をさしのべず仁玉立ちでしたを見ていただけなので、どうにかしてください。（輪島市、中 1、女）
- 避難しているときの不自由さや被災した自分のまちがどんな状況か、震災直後の学校生活のことなど。（輪島市、中 2、男）
- いやなことがあった。（輪島市、中 3、男）
- たいへんだったこと。（輪島市、中 3、男）
- めっちゃゆれた。ナベおちた。（輪島市、中 3、男）
- 地震が起こっている時の気持ちや状況。（輪島市、中 3、男）
- 通っていた学校が避難所になっていて、そこに避難していた人達の態度が悪いことと、衛生面で悪い状況だったこと。（輪島市、中 3、女）
- 地震が起きたときの状況や、避難所での生活、復興についてはなしたい。（輪島市、高 1、男）
- 地震がおきた後　暗い中　家の下敷きになって　埋まっていた人を助けていたとき　ヘリが飛んでいて　映画みたいに明かりを照らして助けてくれると思いきや　ただうるさいだけでした。だから、もしまた地震が起きたら　助けてくれるヘリが来てほしいです。その後の　支援やお風呂は本当に助かりました。（輪島市、高 2、男）
- 2、避難所での食事、衛生環境　4、プライベートゾーンの無さ。（輪島市、高 3、女）
- 地震が起きた時の具体的な状況、食料の大切さ。（石川県、高 1、男）
- 各地域の被害状況。　・避難先での状況。（石川県、高 2、女）
- 今まで体験したことのない恐怖があり、学校でやる避難訓練のように冷静に、行動するのは難しい。（石川県、高 2、男）
- 自分は地震があった時金沢にいて、能登よりもゆれなかったけど、それでもすごくゆれて物が落ちたりしたから、そういうことも伝えたいし、能登の人と地震が起きた時に電話をしていて、津波がくるってなってみんなひっしになって、家族をよんだりして、避難していて、体験してみないと分

からないことがたくさんあると自分自身も感じたし、そういうことも伝えたいと思いました。（石川県、高 2、男）
- 自分は地震が起きた時大きいのが来る前の初期微動では、小さなゆれだったので正直、面白がっていました。その油断で大きいゆれが来た時も少し家の中で居れば良いと思っていました。しかし更に強くなるゆれが怖くなり家をすぐに出て車にしがみついていました　それからは初期微動より小さいゆれにもしばらくおびえる日が続きました。まだ大地震にあった事の無い人は小さいゆれにも油断をせずに危機感を持って欲しいです。（石川県、高 2、男）
- 地震がおきたときの町の状況や自分の心の状況が辛いこと。（石川県、高 2、女）
- 地震が起きた後の生活のふべんさと、水が出ない状態の生活、ご飯何を食べたか、地震後の食料に使ったお金。（石川県、高 2、男）
- トイレをしたいときにできなく、食べ物や飲料水を大切に管理しないとだめと思った。（石川県、高 3、男）
- 机の下にかくれる練習を行っていても、急な地震だと、動けなくなる。（石川県、高 3、男）
- 支援物資では食品を多くいただく。食べきれなかったら捨てることしかできない。被災直後は生活用品の確保も難しいので支援物資は生活用品も多くいただけたほうが嬉しく思う。但し、個人の感想です。（石川県、高 3、女）
- 震度 7 を初めて経験したこと　復興のために全国からたくさんの人達が来てくれたこと。（石川県、高 3、女）
- 生まれて初めて震度 7 を経験したこと　水や食べ物がない生活がとても苦しかったということ。（石川県、高 3、女）
- 同じ人間として助け合いという思いが強いのは素晴らしいことだと思いました！（石川県、高 3、男）
- 地震が起きたらどれだけ大変か　復興するにはどれくらいお金が必要が。（石川県外、中 1、女）

●復旧・復興の状況や防災

- これから、自分たちの町はどうなるの？また、もとの町にすみたい！などのことを伝えたい。（七尾市、小 4、女）
- 安全な町にすみたい。（七尾市、小 4、男）
- 子供達がもう少し生活の事を分かりやすく説明をして欲しい生活、勉強、ボランティアの事をテレビやラジオで教えて欲しい。（七尾市、小 4、女）
- 1 日でも早く復興して欲しいです。（七尾市、小 6、男）
- ニュースでは、こわれた建物はなおしていると言っているけど実際は、道路がガタガタのままで建物のがれきもそのまま。ということを伝えたいです。（七尾市、小 6、女）
- 復旧・復興を早くして。（七尾市、小 6、その他）
- 学校へ行く道や遊びに行く所など危険な所がある。傾いている家があり怖い。水が長い間出なかった事がとても辛かった。きっと私たちを不安な思いをさせないようにお父さん達は金沢などへ行きお風呂へ入らせてくれた。（七尾市、中 2、女）
- 復興が進まないのは、能登の人口が少ないからなのか。この地震以降、過疎もおそらくもっと進み、人口はより減るだろうと思う。しかし、人口が少ないからと言って、そこに住んでいる人もいないわけではないんだから、もう少し復興を急いでほしい。これが東京や大阪で起こったのなら、こんなに復興が遅いわけがないだろう。都市と地方の格差を実感した。もう少しお金を復興支援に回してほしい。勉強・学習について、地震後はオンラインで授業を受けていたが、回線がとても重く、すぐに固まったり途切れたりしてしまった。学校の回線をもう少しいいものにしてほしい。全国からの色々なご支援、ありがとうございます。（七尾市、中 3、女）
- ボランティアなどで、手伝えることは、手伝おうと思うが、それ以外のことは、国としてもっと動いてほしい。（七尾市、高 1、男）
- まだまだ多くの人が復興活動を行っていること。まだまだ元に戻っていないこと。（七尾市、高 1、男）
- もっと必要としている所にお金を使ってほしい。（七尾市、高 1、男）
- 県や国が動くのがおそい。（七尾市、高 1、男）
- 水は大切。（七尾市、高 1、女）
- 復興に進んでいると言うニュースをみて確かに進んでいるなと感じています。ですが私の通学路にはまだまだ崩れた家や傾いている家がたくさんあり、地震が起きた半年前と何も変わらない状況だなと感じます。インフラなどが復旧しており、避難所もどんどん閉まってきている今、その家の方々は仮設住宅などにいるとは思いますが、自分の住

み慣れた家や土地になかなか帰れないのは苦痛だと思います。（七尾市、高 1、女）
- はやく復興させて祭りなどをしたい。（七尾市、高 2、男）
- 水道が直るのが遅すぎた。もっと早く直して欲しかった。（七尾市、高 2、女）
- 他県にはすぐ忘れられるけどまだまだ被害はあること。（七尾市、高 2、女）
- 断水のときのこと。（七尾市、高 2、女）
- 地震が起きたときのために、必要なものをそろえておく。（七尾市、高 2、男）
- 道路がいまだに直っていないところや、ボコボコしたところがあり、不便で、あること、また、家のとれない、ブルーシート。（七尾市、高 2、女）
- 復興作業をもう少し進めてほしい。（七尾市、高 2、女）
- 崩れた建物や崩れそうな建物が今も残っていて、危険だと思う。（七尾市、高 2、女）
- 目をそむけないでほしい。見捨てないでほしい。（七尾市、高 2、その他）
- まだ復興していない地域がたくさんある中で他の事よりも優先的にお金をまわしたり、復興に力をいれてほしい。（七尾市、高 3、男）
- もっとはやくふっこうした方がいい。（七尾市、高 3、男）
- 厳しいのは重々承知の上ですが、もう少し早く断水が解除できるようにしてほしかったです。物資とか募金などでとても支えられました。ありがとうございます。（七尾市、高 3、女）
- 災害はいつくるか分からないので普段から備えが大事だと思います。（七尾市、高 3、男）
- 断水した場合、トイレや風呂などの生活に欠かせないことができなくなってしまって、水の大切さが分かったので、もし他の県なども地震が起きて断水になった場合、水の支援を優先するべきだと思った。（七尾市、高 3、男）
- 道をなおしてほしい。（七尾市、高 3、女）
- 被災直後から続いた断水のことや地震で人があまりいなくなったためのお店での売り上げ低下について。（七尾市、高 3、男）
- 復興を進めているなか、地震が起きた時と全く状況が変わっていない地域が多い。（七尾市、高 3、女）
- ひさいした町は、このさきどうなっていくのか。（穴水町、小 4、女）
- みんなのくらしを守るにはどんな工夫をして地いきの人たちを守っていますか。（穴水町、小 4、男）
- 今は、家はこわれていないけれどすことひびがはっています。（穴水町、小 4、男）
- ぜつみょうにかたむいている家などがあって心ぱいです。道路がでこぼこしているので雨が降った時水たまりができてくつがぬれる。（穴水町、中 1、女）
- 自分のまちの復興ができるのか。道が悪くて、困っている。（穴水町、中 1、女）
- 地震があってから、もう半年がたちましたが、こんなに復興がおそいということにびっくりしています。まだ、仮設住宅に住めていない人もいるということです。がんばっているのはわかっています。ですが、もっと能登の方たちの意見を尊重し、活動をしてみたらいかがですか？お願いします。（穴水町、中 1、女）
- 自分たちがいまなにをできるのか。（穴水町、中 2、男）
- いつおこるかわからないから、おこるまえからじゅんびをしておこうとおもった。（穴水町、中 3、男）
- いつおこるのかはわからないので、いつもしんがおこったときのそなえはしておく必要がある。（穴水町、中 3、男）
- この地しんのせいで町の人がいなくなった。（能登町、小 4、女）
- 道路をはやくなをしてほしい　家をなおしてほしい。（能登町、小 4、男）
- 12 について、祭りのことよりも道の整備などをゆうせんしてほしいです。14 について、学校に募金箱を設置してほしいです。15 について、いそがしいと思いますが「ありがとうございます」。（能登町、小 6、女）
- お店の時間が短くていつもお母さんも私もこまっています。（能登町、小 6、女）
- 祭りのことよりも、家や道を先に直してほしい。（能登町、小 6、男）
- 自分もさいきんテレビでわじま、すずのことを、みてあらためて自分は自分のすんでいる地域のことしかわかってないとじっかんして、（1）の 2 でえらんだ人の中の、人に、げんじょうをしってほしい、自分はかんちがいしていたからのとの本当の今をしってほしい。（能登町、小 6、男）
- 町の中の家がつぶれていたり、段差ができていたりしていて今はもうそれになれていっていること。しえんしてくれている人に感謝を伝えたい。（能登町、小 6、女）
- 町の腹こう。（能登町、小 6、男）
- 道がガタガタだから道を直してほしい。（能登町、小 6、男）

- 道や家、下水管、水道管を直して。（能登町、小 6、男）
- トイレのいんふらもんだい。（能登町、中 1、男）
- 今の能登のようす。（能登町、中 1、男）
- 次、またじしんがおこるかもということ。（能登町、中 1、男）
- 自分は、この能登を自然豊かにしていきたいです。自然を豊かにしたら、観光客も増えると思ったから。（能登町、中 1、女）
- 他の所の道路の整備をしてほしい。（能登町、中 1、男）
- 地しんが起こってこりつしてしまう地域があること。（能登町、中 1、女）
- あそべる場所がない。子どもの意見を取り入れようとしてくれない。（能登町、中 2、女）
- 家もひびわれがへこんでいるところがあります。（能登町、中 2、男）
- 工事など、もっとするべき所がある。→そこを優先するべき。 ・直接、大人たちと話しあい、子どもの意見や思いを取り入れてほしい。（能登町、中 2、女）
- 地震を他人事のように考えてはいけない。（能登町、中 2、男）
- 被災した人に長期的な支えんが欲しい、完全に復興するまで。（能登町、中 2、男）
- まちの復興はいつおわるのか。（能登町、中 3、女）
- 元の生活に戻りたい。（能登町、中 3、女）
- 車の道だけではなく、歩行者の道もなおしてほしい。（能登町、中 3、女）
- 早く復興し、前の生活に早く戻りたい。（能登町、中 3、男）
- 早く復興してほしい。（道路、建物とか）（能登町、中 3、女）
- 地震の復興のおそさ どうろの修理がおそい（道ががたがた）家の前など。（能登町、中 3、女）
- 地震はいつ、どこでも起こりうるものだけれど起こってからはやっぱりとても遅いです。それで悲しんだり、苦しくなる人がいるなら万全で対策してほしい。マスメディアはありのままを伝えてほしい。他の人（地震の対策をおこたっている人）はもっと危機感を持ってほしい。国の方針で防災バックをきふするとか。（能登町、中 3、女）
- 町のふっこう。水や電気があたりまえじゃないこと。（能登町、中 3、男）
- 道路の復旧の遅さ。（能登町、中 3、男）
- 能登町はひどい目にあったことを伝えたいしってほしい。（能登町、中 3、男）
- 能登町は震災があったが、今までも安全にくらしているし、それと今も頑張っています。（能登町、中 3、男）
- 被災してから水道がふっきゅうするまで、約５ヵ月もかかったこと←なぜか ・きゅうふ金のこと（少ない、対しょう者がかぎられている）・地震があってからの町の行動のおそさ（おそい）（能登町、中 3、女）
- 避難している時やその後の生活を市や町の議員に伝えることで、今後の地震対策につながると思ったから。（能登町、中 3、女）
- 復興しえんのこと。（能登町、中 3、男）
- なぜ地震発生から半年もたっているのに水道が使えない所があるのか。（能登町、高 1、男）
- もっとしっかり支援してほしい。（能登町、高 1、男）
- 被災した町のこと。（能登町、高 1、男）
- 普通の生活をできるようになって人々は地震のことを忘れているように感じるけどまだ水がでない生活をしたり、道がなおらず不便であったりすることを知り、協力をしてほしい。（能登町、高 1、女）
- 復興とは別のものにお金を使わず、今しないといけないことを考えてほしい。（能登町、高 1、女）
- またどこかで大きな地震が発生したときに被害を少しでもへらしたいこと。（能登町、高 2、女）
- 今回みたいに正月やお盆などの帰省している人が多いとき、避難所のスペース足りていない。中高生でも運営できることがある。（能登町、高 2、男）
- 身の回りに必要なものが少なかったから次はふやしてほしい。（能登町、高 2、男）
- 僕たちの町はまだまだ家のてっきょや施設（体育館）などの復興もできていないので、もう少し国の方が支援していただきたい。（能登町、高 2、無回答）
- 全国的に震災報道が減ってきて、現地の人々は不満をもっている。（能登町、高 3、男）
- 地震が起きたときに、避難所の生活面やこれからの復興をどのようにしていくのかということ。（能登町、高 3、女）
- 被災した時の防災グッズで特に役に立ったものや、今の私たちの学校の現状を伝えたい。（能登町、高 3、女）
- 復興が遅い。（能登町、高 3、男）

- わたしが子どものころ大きなじしんがあったのできをつけてください。もしのためにぼうさいバックをよういしておいてください。（珠洲市、小 4、女）
- 家がこわれていてすみずらいです。どうすればいいかわかりません。（珠洲市、小 4、男）
- 市や町にお店やしょくどうをふやしてほしい。（珠洲市、小 4、男）
- いまどれくらい復興していますか。あと何年かかりますか。復興にお金どれくらいかかってますか。（珠洲市、小 5、女）
- たこじままちの道をちゃんとなおしてほしい。こうさてんにある、青い家のがれきをどかしてほしい。（珠洲市、小 5、女）
- どうすれば早く復こうができて、もとのくらしができるのか、ということです。（珠洲市、小 5、女）
- ふっこうは何年かかるんですか？（珠洲市、小 5、男）
- 今、ぼくにできることはありませんか？（珠洲市、小 5、男）
- 子どもでも復興に向けてできることはありますか。（珠洲市、小 5、女）
- 自分たちだけだとできることがあまりないです。でも大人の人たちがいると安心して、できることもあります。そしたら、小さな行事でもできます。なので、できるかぎりのことをやらせてください。（珠洲市、小 5、女）
- 道とか、家はいつなおるんですか？地しんがあってから物資とかをくれてありがとうございます。（珠洲市、小 5、女）
- 道路を直してほしいです。（珠洲市、小 5、男）
- なんで地震から半年以上もたっているのに、断水しているところはたくさんあって、道路もガタガタなところがたくさんあるんですか。（珠洲市、小 6、男）
- まちがなかなかふっこうしない。（珠洲市、小 6、男）
- ろう水して水がつかえなくてこまっています。（珠洲市、小 6、女）
- 自分の場所で地しんが起き、少しでも復興が早くなるように。（珠洲市、小 6、男）
- 静かになった場所をどうもりあげていくのかについてぼくは、お店などをふやせばいいと思います。（珠洲市、小 6、男）
- まだ水が出ていない地域があること。（珠洲市、中 1、女）
- 石川県全体の復興をできるだけ早くできるようにしてほしいです。（早く、地域の皆にいつも通りの幸せな日々を皆に幸せを送りたいから。）（珠洲市、中 1、女）
- 能登半島地震でたくさんの住たくがくずれ消防や自衛体などが動く中、何か自分にできることはある。（珠洲市、中 1、男）
- 道路をはやめになおしてほしい。（珠洲市、中 2、男）
- 能登を忘れないで欲しい。（珠洲市、中 2、男）
- 被災地の現状　まだ水が出ていない地域を優先にしてほしい。見捨てないでほしい。（珠洲市、中 2、女）
- 地震のえいきょうで道路や歩道がわれていて祭りがつう常通りにかいさいできない。空き家や、かいたいする家が増え、人口がへっている。（市や町がなくなるかもしれない）　一次転校のつらさ。（珠洲市、中 3、女）
- 復興に自分が関わるには何ができるか。（珠洲市、中 3、男）
- 今の奥能登地区に住む人の生活を知ってほしい。（でこぼこな道路やつぶれた家があたり前に感じている。仕事がない。（珠洲市、高 2、女）
- 大変な時に手を貸してくださったことへの感謝と、まだまだ復興は終わっていないんだよということ。（珠洲市、高 3、女）
- じしんで能登島水族館のジンベイザメや小さな魚が死んでしまったから早くたくさんの魚を見たいです。（輪島市、小 4、女）
- なぜ 12 ばんにしたかと言うとまだまだふっこうできていないので国はなにをしているのだろう？なぜもっとわじまにきょうりょくしてくれないの？そのりゆうをきかせてください。（輪島市、小 4、男）
- ふっこうができなきゃあお父さんのしごとができないからです。（輪島市、小 4、女）
- 今しんど 7 のじしんで大人と子どもたちがこまっていますそんなわたしたちのためにうごいてくれるこどもじしんだんたいの人たちとかそんな人たちもじしんでこまっているのにわたしたちにわなにもできないのかとかがいつもおもいますこれからいくらものさいなんがおとずれるかわからないけどがんばりたいこと。（輪島市、小 4、女）
- 自分の町はボランティアが来てない。自分はほったらかしにされてると思う。（輪島市、小 4、男）
- 大人のみんなが町のたくさんのところをなおしてくれて本当にありがとうと思います。けどたくさんこわれたところとか

があるからすぐにはふっこうできないからできたらいつふっこうするのかをしりたいです。（輪島市、小 4、女）

- 町の復興、今後どういう町にしていくのか。（輪島市、小 4、男）
- かんこう地をゆうせんするんじゃなくてどうろや家をゆうせんしろよ。（輪島市、小 5、男）
- 道を良くしたい、海をどうにかなおしてほしい。（輪島市、小 5、女）
- 今回この能登半島地震をへて、輪島市全体がひがいをうけているのではやめにたおれてしまった家をかいたいしてほしいと思います。（輪島市、小 6、女）
- 早く地面を直してほしいです。（輪島市、小 6、女）
- 地震が起きたとき、断水していたから、自援隊の食料支援や入浴支援をしてくれて、本当にありがたい。 ・復興のとき、これまでの輪島にただもどすだけじゃなく、みんな（市民）が実現したい夢のようなまちにしてほしい。（輪島市、小 6、男）
- 復興の進みがおそい。 ・道をかいつうして金沢などに地震直後より行きやすくなったことに感謝したい。（輪島市、小 6、女）
- 9 月までにくずれた家を無くしたり、道路をきれいにしてください。（輪島市、中 1、男）
- この地震を通じて、何も出来ず、ただ楽でいたいと思いながら過ごしたひなん生活、それでも、支えてくれた身近な人に感謝したいと思いますが、やはり、不便さは、たくさんあるので大型の店などやこわれた家の修復などをしていただきたい。（輪島市、中 1、男）
- また災害が起きた時のことを考えてほしいです。（輪島市、中 1、男）
- 学校の体育館が、ひなん者がいて、使えないから、ひなん者のすむところを作って体育館をあけてほしい あとかいたいが全然すすんでないから、速く進めてほしい。（輪島市、中 1、男）
- 自転車で学校に行っているのですけど、歩道も車道も道が、ガタガタで転んだり、自転車をこわしたりするかもしれないので、コンクリートでかためてください。（輪島市、中 1、男）
- 総理大臣さん、議員さん、知事さんへ、自分達は、地震で被害を受けました。遊ぶ場所や、住む場所などもなくしました。朝市などの観光スポットももえてなくなり、はやくふっきゅうしてほしいという気持ちでいっぱいです。どうかこの案や、いろいろな案をこうぎに出してほしいです。おねがいします。（輪島市、中 1、男）
- 地震が起ってから住む場所や学校生活が他の県などの人達と違くなっり、町の風景が変わった場所もあるが変わっていない場所もあるので、できれば早く復興できるといいなと思いました。（輪島市、中 1、女）
- 通学路がくずれそうな家や、歩道が歩きづらかったり、水たまりがすぐできるのでかいたいや、工事をはやくしてほしいです。あと子どもが遊べるイオンドンキとか立ててほしい。（輪島市、中 1、女）
- 道や建物の復興がすすんでいない。仮設でなくなってきた。店がもう少しほしい。（輪島市、中 1、男）
- 能登半島地震が起きて、ふだんの生活と変わったけど、今は、友達とも会えて、授業もしっかり受けられていることや、水とか食べ物がなかったときがあったから、今は、使えているし、水とか食べ物は本当に大切なものだということを伝えたい。（輪島市、中 1、女）
- 能登半島地震でいろいろな建物が倒れたりしているから、それをなにか地震で住むことに不便さをかんじている人のためにアパートやしせつをふやしたり、みんなが勉強できる環境やあそぶ場所をつくってあげたりしてほしいと思いました。そして、イオンやアニメイトなどをたててほしかったです。（輪島市、中 1、女）
- 1 回みにきてほしい。朝市をもとどおりにしたい。イオンがほしい。（輪島市、中 2、男）
- かせつがたつのがおそい、たてはじめるのがおそい。 ・もうすこし、石川県に地しんのことを伝えてほしい。上水がとおっているたけで、下水がつかえないのに「水がつかえる」と地震にかかわっていない人に伝えてほしくない。（輪島市、中 2、女）
- もう少し家の解体のペースを上げてほしい。交通のじゃまになっているところが多すぎる。そして部活のための陸上競技場を設けてほしい。（輪島市、中 2、男）
- もっと能登の復興のことやお金など全然足りない 能登を見て見ぬふりしないで 能登のこと考えろ。（輪島市、中 2、男）
- 仮設の水や地域でしていることなど。（輪島市、中 2、女）
- 家がこわれている 大切なものがなくなった。（輪島市、中 2、男）
- 解体をはやくしてほしい。（輪島市、中 2、女）

- 危ない家の解体や、水が出ていないところはいつ復興するのか。（輪島市、中 2、女）
- 帰り道がきけんでだんさがあるところで小学生がころんでいた。早くなおしてほしい。（輪島市、中 2、男）
- 建物や道路の整備があまり進んでないです。（輪島市、中 2、女）
- 地震が来て、何日後に来てるんですか？、、、 ・お金がないところがあるので県とかから出したらいいんじゃないんですか？（輪島市、中 2、男）
- 町の復興を早くしてください。（輪島市、中 2、男）
- 町はずれになればなるほど、復興が進んでいない。たとえば道の整備や、とうかいした家のとりこわし。（輪島市、中 2、男）
- 道路をなおしてほしい。輪島にマックをつくってほしい。（輪島市、中 2、男）
- 被災者の大変さがよくつたわっていない気がして悲しくなることがある。（輪島市、中 2、女）
- 復興があまり進んでない お金が必要。（輪島市、中 2、男）
- 復興がとても遅い。輸島から少しはなれるともっと復興が遅い。（輪島市、中 2、女）
- 復興のために業者にお金をくばってほしい。（輪島市、中 2、男）
- どうろのせいび。（輪島市、中 3、女）
- ふっこうのおそさ、何も変わってない 他の県からきてくれる人のかんしゃ。（輪島市、中 3、男）
- まだまだ復興からはほど遠いこの町の現状 ・町の人や私たちの思い ・募金やたくさんのメッセージへの感謝。（輪島市、中 3、女）
- みんなが安心してくらせる輪島にもどってほしい。地震をきっかけに前よりももっとさかえた輪島にしてほしい。支援してくれた人たちに感謝をしたい。みんなが遊べる場所や施設をつくってほしい。（輪島市、中 3、女）
- もっと復興に向けてがんばってほしい。（輪島市、中 3、男）
- ローソン作ってほしい。マンガ買えるとこがなくなったから作ってほしい。金少ない。（輪島市、中 3、女）
- 家とかがあぶない。（輪島市、中 3、女）
- 壊れている家などを早く解体してほしい 道路などを整備してほしい。（輪島市、中 3、男）
- 業者が少ない 家を建てるために業者が少ないと何も進まないから早くしてほしい 早く復興するために行動してほしい。（輪島市、中 3、女）
- 公費解体が進まず、倒壊しそうな建物がそのままです。見ていても気持ちが良くなるものではないので進めてください。（輪島市、中 3、女）
- 今後輪島がどうなっていくのかをききたい。（輪島市、中 3、男）
- 色々な店やビルを輪島にたててほしい。（輪島市、中 3、男）
- 石川県を都会にしてください。（輪島市、中 3、女）
- 総理大臣さんの力で、町の片付けや、復興に向けて工事などをお願いします。（輪島市、中 3、男）
- 地震が起きたとき、こりつ集らくの 1 つでした。何日か後にヘリで家に帰ることができました。今の輪島は、仮設住宅が多くなってきています。公園などの子どもの遊ぶところも仮設住宅になっている所もあり、遊ぶ所がありません。少しずつは復旧していますが、今にも倒壊しそうな建物がいくつもあって、道路もガタガタです。このままだと、人口減少が今よりもっとはげしくなってしまいます。なので、今すぐもっと支えんしろとは言いませんので、輪島だけでなく、能登地方全て来てください。ニュースでは少しずつ復旧・復興していると言っているけど、「少しずつ」の本当の意味を知ってください。これからも、石川だけでなく、日本のことをたのみます。私たちもがんばります。（輪島市、中 3、男）
- 地震で飲食店などが潰れ、外食などが輪島で、できなくなったのでマクドナルドやスタバ・サイゼリヤなどが欲しいです。みんなの笑顔が増えると思います。（輪島市、中 3、女）
- 町のふっこうを早くしてほしい。（輪島市、中 3、男）
- 町の復興に向けてお金などしえんしてください。（輪島市、中 3、男）
- 町をなおしてください。（輪島市、中 3、女）
- 町をなおしてほしいです。（輪島市、中 3、女）
- 町をはやく直してほしい。（輪島市、中 3、男）
- 道路とか直してほしい。（輪島市、中 3、女）
- 能登半島地震により、家、建物がなくなり、仮設もあたらず住む場所や、子供の遊び場が少なくなったことにより、ストレスがたまりやすくなった人が多いと思うので、そういった遊び場などのご楽施設を設置してほしいです。また、津波が来たときに逃げるための建物も古くなり、こわれて

しまったイメージもあります。安全確保のために、強化、保強をしてください。お金もかなりとられて暮らしにくいです。もう少し増やす、仕事も増やしてください。（輪島市、中 3、女）

- 能登半島地震のニュースが出なくなって、みんな大分復興してきたと思うかもしれませんが実際はこわれた家なども放置されています。これからしっかり色んなことに力を入れてほしいです。（輪島市、中 3、男）
- 半年、経っても何も変わっていないし、じしんのことがいろんな人に伝わっていない。（輪島市、中 3、女）
- 半年たったけど、まだ道路や、家も、たおれたままです。復興してほしい。（輪島市、中 3、女）
- 半年たっても、こわれたままの道路やくずれたままの家や建物がたくさんあるので、はやく復興してほしいです。（輪島市、中 3、女）
- 復興の現じょう。いつ完全な復興ができるのか。（輪島市、中 3、女）
- 防災グッズは前もって準備した方がいい。（輪島市、中 3、女）
- 未だ町には、倒れそうな家屋や、道のじゃまになるような家屋など、まだまだそういう所が多いので、ボランティアをもっと派遣してほしいです。遊び場所がなくなれば、子どもは他の県、市へ行き、過疎が進むと思います。もう少し、能登半島を注目してほしいです。（輪島市、中 3、男）
- 輪島になにもなくなって、人も少なくなっておもしろくなくなっているので、今輪島に住んでいる人が少しでも楽しくなるように、マクドナルドやスタバがほしいです。あと、まだ輪島は、こまっているのでテレビなどで今のじょうきょうを知ってほしいです。おねがいします。（輪島市、中 3、女）
- 輪島の復興がぜんぜん進んでいないから見捨てられてるんじゃないかな？と思う。国や県でこのことについての会議をもう一度してほしい。考えなおしてほしい。（輪島市、中 3、男）
- 街の整備。（輪島市、高 1、男）
- 7ヶ月今まで何をしてきましたか？被災地には目もくれず他国に金をばら撒き、自分の利益しか考えてない。裏金をしても許す、国民の意見を聞かない。（輪島市、高 2、男）
- 災害への対策の見直しや。（輪島市、高 2、男）
- 地震が起きて、半年ほど経ったが、まだ精神的にも生活的にも回復できていない人がいる。（輪島市、高 2、女）
- 日頃から備えて置くべきものや、いなくなったペットを探す際のコツ。（輪島市、高 2、男）
- 半年たった今でも避難所生活している人はいますよ。被災地を忘れないでください。（輪島市、高 2、男）
- もっとはやく動いてほしいです。（輪島市、高 3、女）
- 現状　どれだけ復興が進んでいて、どれだけ進んでいないのか。（輪島市、高 3、男）
- 地震で今ひどい状態だけど忘れないでほしいし、前よりももっと賑やかで活気あふれる輪島にする！（輪島市、高 3、女）
- 日本の借金は返せそうなんですか。輪島市は見捨てられたんですか。帰る場所がないのは嫌です。自分がおとなになっても、帰ってこれるように支援してほしいです。（輪島市、高 3、女）
- 家の近くの道路が凸凹なままだったり、電信柱が傾いたままで怖い。道路のヒビ割れが広がっているような気がする。（石川県、中 2、女）
- 今の現状。（石川県、高 1、男）
- 同じ区内でも、お金がかけられているところと、かけられていないところがあり、対応の差があること。（石川県、高 1、女）
- 歩道を整えてほしい。（石川県、高 1、女）
- 地震への影響はまだ残っているけど、頑張ってほしい。（石川県、高 2、女）
- 被害の大きさを伝えたい。輪島やすずだけでなく、色んな地域に復興するためのお金を配ってほしい。（石川県、高 2、女）
- 何日かの間だけ水などにこまったけどすぐに復興できたこと。（石川県、高 3、男）
- 石川県の能登、金沢などばかりがニュースで取り上げられているが私の住む地域も大きな被害を受けたことを伝えたい。（石川県、高 3、女）
- 被災した建物の公費解体が始められたがまだ数%の建物しか解体が終わっていないため、どうやってペースを上げて進めていくのか。今後、能登の復興を進めていく中で、何が必要なのか。（石川県、高 3、男）

●子どもの過ごす場所

- もっと遊ぶ場所を増やしてほしい。復旧・復興を早くして来年こそは祭り(でか山)がしたい。（七尾市、小 4、男）
- きけんなばしょ、がふえて公園の使えない場所たくさんふえて、あまりあそべない。じしんがおきた月は友だちにもあえなくて心配だったこと。（七尾市、小 5、男）
- グランドを今すぐなおしてほしい。津波がこないようにしんげきのきょ人のかべをつくってほしい。（穴水町、小 5、男）
- 仮設住たくなどで公園やグラウンド、外で遊べるところが減っていっています。ぼくたちが安全に遊べる場所がほしいです。（穴水町、小 6、男）
- 避難中は、いろんな地域のいろんな人に沢山助けてもらって、ありがとうございました。中には文句を言ったり、いやな態度をとったりする人もいたけど、協力しあえたら良いと思いました。グラウンドや体育館が使えないから、小学校最後の年に、スポーツ少年団の活動ができなくて悲しいです。（穴水町、小 6、男）
- つなみで近くの公園がこわれてしまってあそぶところがなくなってしまったからあそべる場所ができるとうれしい。（能登町、小 6、女）
- 子どもの遊び場（みんなとのあそびば）がないから、あそぼうとやくそくしても、あそびばがないからたのしくない。かわぞいのこわれたどうろがあるけどむずかしい工事だからいつなおすかきになったから。（能登町、小 6、女）
- 遊べるばしょがないから。（能登町、中 1、男）
- 外で遊べるところをなおしてほしい。・公共の体育館を使用できるようにしてほしい・お金がまったくたりない（修理や税金などで）・町の修復をはやくしてほしい。（能登町、中 2、男）
- 子供の居場所を増やしてほしい。（能登町、中 3、女）
- あそび場所がかせつじゅうたくでうめつくされたからあたらしい広いあそびばをつくってほしい。（珠洲市、小 4、女）
- グラウンドにはかせつじゅうたくが立っているから、外であそべるところがほしい。（珠洲市、小 4、女）
- 自分の町は地面やたてものなどのひがいが大きいので自転車やさんぽなどをするのをひかえないといけなくなりましたので、あそぶことが地しん前より少なくなってあまり自由がないからです。（珠洲市、小 4、女）
- じしんがあってしかたないと思うけど公園など自分たちの力でいけていた場所がどんどんかせつじゅうたくになるのでみんなでしゅうごうするばしょがほしい。（珠洲市、小 6、男）
- もっと遊び場をふやしてほしい。（珠洲市、小 6、男）
- 子供もたちは、いちも、すごす場所や遊び場は、みんなのためにどうしたらいいのですか？（珠洲市、中 1、女）
- かせつじゅうたくをたてるときに遊びばがなくなったり地しんでこわれたからなおしてほしいです。（輪島市、小 4、男）
- こうみんかんが、あいていないので、早く遊べるように、なってほしい。（輪島市、小 4、男）
- 地震前は朝や、昼休みでいつもだったら体育でドッチボール、おにごっこ外でかくれんぼや、サッカーなどで遊べたけど地震後（今）だったら外でも、体育館でも遊べないからたいくつになる。（輪島市、小 5、男）
- あそぶところをふやしてほしい。（輪島市、小 6、女）
- もう半年たったけどまだ輪島のげんじょうがひどいこと。（輪島市、小 6、男）
- 自分たちのあそべる場所が仮設住宅などで少なくなったので新しくあそべる場所を輪島市に作ってほしいです。しえんありがとうございました。（輪島市、小 6、男）
- 遊び場をふやす。（輪島市、小 6、女）
- 遊ぶ所が少ないし、あぶない所しかないから遊びにくい ・サイゼリアとかのファミリーレストランが出きてほしい。（輪島市、小 6、女）
- 遊ぶ場所がない。（輪島市、小 6、男）
- 輪島市は元々あそぶ所が少ないのにもっと少くなくなりました。ゲームセンターもなくなりました。なので、ゲーセンや、お店、を作ってほしいです。じしんがきてからはんとしたちました。けどまちのようすは、まったくかわりません。もとどおりのまちには、ならないかもだけど、はやくなおってほしいです。しえんしてくれた方ぼきんしてくれたかた。じえいたいの方ありがとうございました。（輪島市、小 6、女）
- 「じしん」で家がなくなった人達の気持ちも分かるけど、子ども達が遊んだり、ゲームをするところをできれば増やしてほしい。（輪島市、中 1、男）
- あそび場が地震であそべなくなったので新しい遊び場作ってほしいなって思いました。（輪島市、中 1、女）
- あそぶばしょがないからあそぶばしょをつくってほしいです。（輪島市、中 1、男）
- あそぶばしょをしっかりつくってほしい。（輪島市、中 1、男）
- あそぶ公園などにかせつじゅうたくができて友だちとあそぶところがない。（輪島市、中 1、男）

- あそぶ所がふえてほしいです。お家ほしいです。復興している人達ありがとうございます。みんながんばってください。（輪島市、中 1、女）
- かせつじゅうたくがたって遊び場などが少なくなったこと。半年たっても町があまり復興してないこと。（輪島市、中 1、男）
- しえんなどありがとうございました。おかげさまで助かりました。地しんがおきた時、お店があかない時、食料などがたりないときにとてもたすかりました。大人になったらしえんを多くできたり、助けられる人になれるようにがんばります。むりだとは思いますが、友だちと遊べる場所がほしいです。（輪島市、中 1、その他）
- スポーツができる広い場所（外）　・朝市の復興　・崩れた家が道をふさいでいるから、どうにかしてほしい。（輪島市、中 1、女）
- ぼくは、あそぶ公園がほしいです。イオンとかの大きなたてものがほしいです。映画をみるとこもほしいです。ごはんを食べるとこもほしい。（輪島市、中 1、男）
- もっと子どもがあそべる場所をふやしてほしい　・本当にありがとうございます。　・もっと楽しいこと、ものがほしい。（輪島市、中 1、男）
- 仮設住宅とかを立てたから、遊ぶ場所がなくなった。（輪島市、中 1、女）
- 公園や、あそび場がふえたらうれしい。（輪島市、中 1、女）
- 子どもが過ごす場所などがへってきているので遊び場や公園などを作ってほしい。（輪島市、中 1、男）
- 体が動かせる、部活ができる場所がほしいです。　・あそべる場所がほしいです。　・おまつりがしたいです。　・イオンがほしいです。（輪島市、中 1、女）
- 地震がありかせつじゅうたくが増え、遊ぶ場所がへってしまったので小学生と中学生と高校生も遊べるようなイオンモールやテーマパークをたててほしいです。おねがいします。（輪島市、中 1、女）
- 地震から半年もたっているのにくずれた家がたくさんありすぎている。どうろがガタガタ。むりだと思うけどドンキとかイオンを立ててほしい。遊ぶ所がすごくへった。（輪島市、中 1、女）
- 中学生がすごせる場所、自転車でも安全に交通できる道、がほしい。（遊びや勉強スペース、学校行事ができる所）（輪島市、中 1、女）
- 中学生のあそぶはしょや、テニスコートを、なおしてほしい。体育かんがあいてほしい　日本人じゃない人が、来て、手伝ってくれるのは、うれしいけど、なにするかわからんから、こわい。（輪島市、中 1、無回答）
- 放課後や休みの日に友達と遊ぶってなったときに同じ所ぐらいしか行くところがないので、気軽に遊ぶ場所が少しでも増えればいいなと思います。（輪島市、中 1、女）
- 友達とあそぶときあそぶ場所がないので毎回しゃべるだけで終わることをくりかえして毎日ひまです。あそぶ場所やCAf、一緒に食べれる場所などがほしいです！！（輪島市、中 1、女）
- 遊ぶところがすくないし、今お金にとてもこまっている人がとてもいると思ったから。（輪島市、中 1、女）
- 遊ぶばしょをください。（輪島市、中 1、男）
- 遊ぶ所がなくてこまってます。地震から半年たったけれど、何にも変わってない。（輪島市、中 1、女）
- 遊ぶ場所がほしい。おいしいご飯が食べたい。（輪島市、中 1、男）
- 遊ぶ場所や運動する場所がほしい。子どもの遊び場が少ない。イオンがほしい。店が少なく、買えないものがある。（輪島市、中 1、男）
- 遊べる場所をもう少し作ってほしい。（輪島市、中 1、女）
- 輪島にはサッカーや野球など子どもたちが思いっきり遊ぶところがありません。（輪島市、中 1、男）
- 輪島は、もともと人口が少なく、そのため遊び場所もそんなにありませんでしたが、地震の影響で、老きゅう化していた建物が崩れ、今では本当に遊ぶ場所もありません。なのでせっかく震災をのりこえたのに、このままではストレスがたまってしまい、さらに輪島の人口が減少してしまいます。復興するだけでなく、地域活せい化を視野に入れ、子供や、地域住民の集まれる場所を提供していただきたいです。（輪島市、中 1、女）
- 輪島市は道路もガタガタで、家も 1 月 1 日 4 時のそのままで、どれだけ月日がたっても、すてきな輪島の姿がまだまだ見れません。私は、家がつぶれ、仮設住たくが建ったことにより、子どもの遊び場所がなくなったことにとても残念です。私たちの遊び場をもうけてください。（輪島市、中 1 、女）
- あそぶばしょなくてひま、おとうさん無職、、、。（輪島市、中 2、女）

- いろんな公園が仮設住宅になっているので、あそぶとこがほしい。（輪島市、中 2、女）
- 仮設がたって、あそべるところ、運動できるところがへった。家をなおすのに、お金がたりない。復興がすすんでいない。（輪島市、中 2、女）
- 子ども達が遊べる、所を、少しでも造ってほしい。 ・輪島に来てくれる人を、増して、復興をはやめたい。（輪島市、中 2、女）
- 地震が起きたことにより、学校のテニスコートがこわれてしまって運動場に白線を引いてテニスをしています。テニスを不自由なく部活ができるようにテニスコートを輪島の学校に作ってください。そして弟たちが、遊ぶ場所がなくて困っています。遊び場をつくってください。（輪島市、中 2、女）
- 地震でテニスコートが使用できないしテニスコートで部活をしたいからテニスコートを直してほしいです。（輪島市、中 2、女）
- 中学校のテニスコートを直してほしい。今まで使っていた場所でテニスしたい。（輪島市、中 2、男）
- 遊ぶ場所がない 壊れた家の解体が進まない お金がない。（輪島市、中 2、男）
- あそぶ場所がなさすぎる。（輪島市、中 3、女）
- あらゆるところに仮設が建ち、普段友達と楽しく遊んでいたスポーツもままなりません。なので、スポーツや運動ができる場所を作ってほしいです。でかい公園でもいいです。（輪島市、中 3、男）
- サッカー場を作ってほしい。（輪島市、中 3、男）
- スポーツする場所が欲しい。（輪島市、中 3、男）
- 奥能登にボランティアの人が宿泊できる施設を県や国が準備してほしいです。このままだといつまでの地震のつめあとの深く残る町になります。もっと復興に積極的にとりくんでください。子どもの場所やスポーツできる場所も仮設住宅ができて、好きな陸上もトラックで走れなくなりました。スポーツできる場所を守ってください。（輪島市、中 3、男）
- 地震が起きてから遊べる場所が少なくなり、残念です。どうにかならないのでしょうか。（輪島市、中 3、女）
- 遊び場がないから、地震の前まで、サッカー場で、休日はほぼ毎日遊んでいたから、またみんなでサッカーをして遊びたいから、サッカー場を輪島市につくってほしいです。（輪島市、中 3、男）
- 遊ぶ場所ほしい。 ・ショッピングモールほしい。 ・飲食店欲しい。（輪島市、中 3、女）
- 陸上競技場や、子供のあそびばをなくさないでください。（輪島市、中 3、男）
- マリンタウンの陸上競技場まで仮説にする必要あったのか。（輪島市、高 1、男）
- 現在小学生の遊べる場所が殆どなくなっており、小さい子が小さい頃からすべきである外で遊ぶということが難しくなっていることです。また、通学路の橋が壊れてしまい現在遠回りをして学校に向かっている人が多くいるため子どもたちに「早めに復興してほしい所」についてアンケートをとり、その中でもトップテンの修復作業を早めるなどの取り組みをしてほしいです。（輪島市、高 1、男）
- 公園がなさすぎ。（輪島市、高 1、男）
- グラウンドやこどもたちの遊ぶ場所がなくなって部活動が思いっきりできないのが現状。遊ぶ場所に仮設住宅が建って子どもたちが遊べない。道が砂利だらけでチャリンコのタイヤがパンクする。（輪島市、高 2、男）
- 学校のグラウンドがほとんど仮設住宅になって運動できる機会が減った。また、陸上競技場、サッカーコート、テニスコート、野球場など運動できる場所がなくなって、運動したいけどできない。遊ぶ場所がない。（輪島市、高 3、女）

●感謝の気持ち、日常のありがたさ

- いつもおいしいご飯を食べているけどじしんでたべものはだいじだということが分かりました作ってくれてありがとうございます。（七尾市、小 4、男）
- ごはんを、つくれなくて、たきだしにきてくれたのが、うれしかった。（七尾市、小 6、女）
- 脱水など、いろいろ大変だったのに、がんばってご飯を作ってくれたり、励ましてくれたことを感謝したい。（七尾市、小 6、女）
- 地震で怖い思いをしたけど、ボランティアの方や自衛隊の方、たくさんの方からの支援があって救われた。（七尾市、小 6、女）
- 当たり前のことが当たり前じゃないということ。（七尾市、中 3、女）
- 水をいろんな県からもってきてくれたり、食料をもってきてくれたりくずれた家をどかしてくれたり、人を助けてくれたりすべてのことに感謝をつたえたいです。（七尾市、高 1、女）

- 学校再開や地域の交通整備はもちろんですが、自分の部活動で不可欠な城山陸上競技場の改修工事。予定よりも早い復旧には本当に感謝しています。（七尾市、高 2、女）
- 芸能人の人たちがたくさんきてくれて、元気をもらった。（七尾市、高 2、女）
- 断水だった時は本当に食べ物が食べれなかったりしたけれど、今思うとどれだけ食べ物や水が大切なのかをあらためて感じました。今までおふろに入るのがあたりまえだったけれど、何ヵ月もおふろに入れてない人もいたからあたりまえに出きていたことがあたりまえじゃないことがあらためて感じました。（七尾市、高 2、女）
- 地震が起きてから、水道が止まったりと当たり前だった生活ができなくなり、大変でしたか、みんなの協力があり助け合うことができたので、感謝いっぱいでした。（七尾市、高 2、女）
- 普段通りに部活ができなくなり、みんなと会えない日々が続き、普段通りの生活で部活や学校生活を送れることへのありがたみ。（七尾市、高 2、男）
- 毎日の日常が当たり前ではないこと　友達・家族・地域の人たちに感謝をすること。（七尾市、高 2、男）
- 地震のあった翌日しばらくの間様々な事で助けていただきありがとうございました。（七尾市、高 3、男）
- 当たり前だったことは当たり前ではないということに感謝しなければならないということ。（七尾市、高 3、女）
- いろいろおもちゃやおかしをもらったり、させてくれたりごはんをくれたりしてくれてありがとう。（穴水町、小 4、女）
- ぼくたちのために急がしい中いろいろなしえんをありがとうございます。そのおかげで穴水町は、どんどんふっこうしてきていて、生活もちょっとずつもとの幸せな生活になっていっています。本当にありがとうございます。（穴水町、小 4、男）
- 生活用品をとどけてくれてありがとうということ。（穴水町、小 4、女）
- し援物資をくれたり、送ったりしてくれてありがとうございます。他にも家のそうじや、手伝ってくれて、とてもうれしかったです。（穴水町、小 6、女）
- はやく町がもとどうりになってほしい　たくさんの水や、食べ物をくれて、ありがとう。（穴水町、小 6、男）
- 水と電気の大切さ。（穴水町、小 6、男）
- たくさんの支えんなど、ありがとうございました！（穴水町、中 1、女）
- 地震が起きたあとは、ありがとうございました。おねがいは道の整びです。（穴水町、中 1、男）
- いろいろなことを支援してくれて感謝している　・集団避難をきめてくれてよかった。（穴水町、中 2、女）
- たき出しなどでもらうことが当たり前のようになってしまいありがとうという言葉をきかないので感謝の言葉をわすれないでほしいです。（穴水町、中 2、男）
- じえたいの人に、おふろやぶっしをもってきてくれてありがとう。家の人には、よしんのときにまもってくれた。（能登町、小 4、女）
- ふっこうのために手づだってくれてありがとうございました。（能登町、小 4、女）
- ふっこうのために色々な事をしたりててくださりありがとうございます。（能登町、小 4、女）
- 水道を直してくれたこと、じえいたいのおふろ、他の県の人からの手紙、たきだし。（能登町、小 4、女）
- お手紙やしえんのためにたくさんのものを送ってくれたことに感謝の気持ちを伝えたいです。（能登町、小 5、女）
- かんしゃのきもち。（能登町、小 5、男）
- 学校になにかを送ってくれたり、たきだしをしてくれてありがとうございます。（能登町、小 5、女）
- 能登町の小中学校によせがきやたくさんのお金をくれてありがとうございます。を伝えたい。（能登町、小 5、女）
- いろいろな支援ぶっしをくれたり、おうえんのメッセージくれたりしてもらっていてとてもうれしいこと。（能登町、小 6、女）
- いろんなしえんやぼ金をありがとう。←こんな感じ。（能登町、小 6、無回答）
- 地しんが起きた後に、食べ物や、勉強道具などをくれた人に感しゃを伝えたい。（能登町、小 6、女）
- しえんしてくれた人たちに感しゃの気持ちやおんがえしをしたいです。きふしきんをくれた人たちにも感しゃの気持ちやおんがえしできたらしたいです。（能登町、中 1、女）
- みなさんのおかげで私たちは今、楽しく学校生活をおくれています。本当にありがとうございます。（能登町、中 1、女）
- 地震が起こってから、たくさんの支援をしてもらったことに感謝を伝えたいから。（能登町、中 1、女）
- ありがとうございました。（能登町、中 2、女）
- つらいときもたすけてくれてありがとうございます。（能登町、中 2、男）

- 能登のために遠方から来ていただきありがとうございます。みなさんの支援のおかげで、ぼくは災害当時食事に困ることや生活が楽になりました。本当に心から感謝したいです。でも一つだけ、ボランティアの方同士でけんかになるのは悲しいのでやめてほしいです。（能登町、中 2、男）
- 能登半島は、一々所の所からしか来れなく、少子高齢化が進んでいるとこだから、情報の広がりが遅く物資などが届くのにも時間がかかってしまった。不安でした。でもふっこうできて、祭りもできるので感謝でいっぱいです。ありがとうございます。（能登町、中 3、女）
- 自然災害は急におこるので常、日頃からの感謝を忘れずに何に感しても「ありがとう」の気持ちで過ごす。（能登町、高 1、女）
- 僕たちのために大勢の方たちが動いてくださりありがとうございますと伝えたい。（能登町、高 1、男）
- ボランティアの人たちへの感謝のきもち。（能登町、高 2、女）
- 炊き出しをしてくださったことで元気が出ました。（能登町、高 2、男）
- 先行きが見えない中で、いただいた物資はとても私たちの支えになりました。ありがとうございました。（能登町、高 2、女）
- 能登のために様々な活動をしてくれてありがとう。（能登町、高 3、女）
- ありがとうを伝えたい。（珠洲市、小 4、女）
- ボランティアの人には、しえんしてくれてありがとうなかよくしてくれてありがとうなどです。親にはじしんがおきる前もおきたあともえがおでいてくれてありがとう。大好き。（珠洲市、小 4、女）
- いつもみんなを笑顔にさせてくださりありがとうございます。（珠洲市、小 5、女）
- 地いきの人や親に「いつもありがとう」との気もちを伝えたい。（珠洲市、小 5、女）
- ありがとうをいいたい。（珠洲市、小 6、男）
- いろいろな人か能登半島のために来てくださったり、考えたり、していただいたりするのでほんとうにありがたいなと思っています。（珠洲市、小 6、女）
- このような、ありがたい支えんをありがとうございます。ぼくのいた地区には情報がなかなか届きませんでした。もし、ぼくにできることがあれば教えてください。（珠洲市、小 6、男）
- ぼくは、地域の人たちに、やさしく「大丈夫だよ」とゆってもらえたからおれいをいいたい。（珠洲市、小 6、男）
- 周りの人々のおかげでここまで町が復旧、復興したと思っているから。（珠洲市、小 6、男）
- 地しんがおきていそがしいなかでもしえんをしてくれたりしているから。（珠洲市、小 6、男）
- 地震が起きて学校へ行くといつもあいさつをすると明るく返してくれて、すごくうれしかったこと。（珠洲市、小 6、男）
- 被災した地域に、発災すぐからも、いろんなそしきの人たちが、かけつけてくれて、ぼくたちを支えてくれたからです。本当にありがとうございました。（珠洲市、小 6、男）
- ありがとう。（珠洲市、中 1、男）
- おふろにも入れない時もあったけど、自えいたいの方々のおかげで、かぎりなく、ふだんに近い生活が送れました。ありがとうございました。（珠洲市、中 1、男）
- たくさん支えてくださりありがとうございます。（珠洲市、中 1、女）
- 違う県で関係のない人も能登のために、復興してくれたこと。（珠洲市、中 1、男）
- 支えんしてくれた人たちに感謝の気持ちを伝えたい。（珠洲市、中 1、男）
- 支えんをしてくださったり家族を支えてくれたこと。（珠洲市、中 1、男）
- 地震の後たくさんの支援をしてくれたことの感謝の気持ちを伝えたい。（珠洲市、中 1、女）
- ありがとうって伝えたいです。（珠洲市、中 2、女）
- いろいろな支援やぶっしをくれた人たちに感謝の気持ちを伝えたい。（珠洲市、中 2、女）
- 県外や市外からボランティアをしに来てくださりありがとうございます。（珠洲市、中 2、女）
- 自分を守ってくれてありがとうございました。（珠洲市、中 2、男）
- 被災して、色々な県からしえんをしていることをつたえたい。（珠洲市、中 2、男）
- 吹き出しに来てくれてありがとうございます。（珠洲市、中 3、女）
- ごはんやじしんの時どこにいってっていってくれたりしてくれる。（輪島市、小 4、女）
- しえんぶっしをくれたり、能登のことをささえてくれたりしてくれること。すごくかんしゃしてること。（輪島市、小 4、女）

- 市役しょくいんのかたがじしん後にもかかわらずはたらいていてくれているからかせつだったりアパートだったりあんしんしていれるばしょがわかるし、話にたいおうしてくれる人もいるからわたしはあんしんしていられていることがじっかんをこののとはんとうでわかりました。ありがとうございます。（輪島市、小 4、女）
- 先生にランチルームで全校でごはんをたべたい、その他地震でいろんなものをむしょうでもらったからうれしい　ありがとう。（輪島市、小 4、女）
- 避難所へ急いで助けてくれたからありがとうと伝えたい。（輪島市、小 4、男）
- しえんをしてくれたおかげでくらしやすくなったり、気持ちがらくになったりなれました。ありがとうございます。（輪島市、小 5、女）
- みなさんのおかげでたすかったのでお礼がいいたい。（輪島市、小 5、男）
- 感謝の気持ち。（輪島市、小 5、男）
- いろいろなぶっしや食べ物をくれてありがとうございます。とてもかんしゃしています。（輪島市、小 6、女）
- いろんな支えんや、ば金、ボランティアをして下さってありがとうございます。（輪島市、小 6、男）
- 初めてのことでこわかったけど、いろいろたすけてくれたり、物資などをくれたりしてありがとうございました。自分もできたら、やりたいとおもいました。きてくれたりした人たちは、ゆっくり休んでほしいです。（輪島市、小 6、女）
- 水道が出ないときに、水を無料でくれたり、たべものや、ふろなどたくさんのしえんをしていただいたからです。ぼくは、じしんちょくごに山にひなんしていて、そこで、地域の人にあん全な場所へゆうどうしてくれたから。本当にありがとう。（輪島市、小 6、男）
- 能登半島地震が起きてから半年も助けてくれてありがとうございます。これからもがんばってください。（輪島市、小 6、男）
- 被災した私たちやまちのために、支援していただいてくれたみなさま、ありがとうございました。被災してすぐは、みんな心細くて、何もできませんでした。ですが、みなさまのおかげで、今こうして元気でいられることができています。本当にありがとうございました。（輪島市、小 6、女）
- お金をきふしてくれてありがとうございます。（輪島市、中 1、男）
- たいこう支えんなどで、困っていることを助けてくれたこと。（輪島市、中 1、女）
- ほかの県の人にしえんしてくれてありがとうと感謝したいし県知事の人たちに遊び場（ゆうぐやひろば）がほしいといいたい。（輪島市、中 1、男）
- 会って、いつも石川のためにしえんしたり、応援してくれる人に気持ちを伝えたい。（輪島市、中 1、男）
- 他の県の人たちが地震がおきたところの人たちに色々なしえんぶっしをとどけてくれること。（輪島市、中 1、男）
- 大変なのにそばにいてくれた感謝の気持を伝えたい。（輪島市、中 1、女）
- 地震になってからいろいろなとても楽しかった桜フェスや肉フェス、映画などいろいろな活動や、町の人のためにたきだしなど行ってくれて本当にありがとうございます。ぼくは、上の 9、10 の人たちのきたいにこたえるようにたくさんいろんなことをがんばりたいです。（輪島市、中 1、男）
- お風呂やトイレ、支援物資など届けてくれてありがとう。知事へもっと男子の支援物資を届けてください。（輪島市、中 2、男）
- 色々なしえんをしてくれていることのありがたさ。・倒壊してしまった家が全てなくなるのは、どのくらいか。（輪島市、中 3、女）
- 白山いた時優しかった！（輪島市、中 3、女）
- ありがたい。（輪島市、高 1、女）
- 支援してくれた人たちのこと。（輪島市、高 1、男）
- 私が避難所にいる時、たくさんの方々がボランティアに来てくれていて、そのボランティアでたくさん助けられたり、元気になれたりしたので機会があったらまた会って感謝したいな、と思った。（輪島市、高 2、女）
- ボランティア活動など助けてくれたのでそれを感謝したいです。（石川県、高 1、女）
- プールがこわれてつかえないときにプールをかしてくれたり、他の県の大会にしょうたいされた。（石川県、高 2、男）
- 避難したところには、消防署の人たちが、テントや簡易トイレなどを作っていて、感謝でいっぱいです。地盤をもっと強くして、地震に耐えられる、建物などを作ってほしい。（石川県、高 2、男）
- いろいろなたいさくやしえんをいろんな人にしてもらったから。（石川県、高 3、女）
- 感謝の気持ち。（石川県、高 3、男）
- 復興支援をたくさんしてくださったおかげで、学校生活や、部活が再開できました。ありがとうございます。（石川県、高 3、女）

- 今の生活が突然 1 つの災害によって壊れることがあるから今の日常を大切にして欲しい。（石川県外、高 3、男）

●学校生活、学びへの影響

- 学校へ行くことが出来ず、学習がおくれる不安。 ・断水でトイレやお風呂、食事が不便であったこと。（七尾市、小 4、女）
- 楽しみにしていた学校のプールが使えなくて残念な気持ちです。来年、卒業なので、それまでに早く直してほしいです。（七尾市、小 5、男）
- 給食の B メニュー（災害時のメニュー）がいやだった。（七尾市、小 5、男）
- 6．食べ物のこと 学校で簡易給食が出たのは嬉しかった。でも給食で食べた冷凍パンは美味しくなかった。おにぎりが美味しかった。8．子供が過ごす場所 児童館や小学校の体育館、大きな部屋は避難所になってしまって入れないし、公園やグランドは立ち入り禁止で、遊びに行っていた施設は閉館。毎日遊ぶ場所が無くて辛かった。9．勉強、学習のこと 避難中もオンライン授業に参加できて嬉しかった。でも学校にまた行けるようになった時の方がもっと嬉しかった。12．自分の住む町の復興のこと 地震から半年もたつのに、まだ家の浄化槽が直らなくて、毎日すごく不自由。傾いた家も通学路にたくさんあって、危ない。危ないことや、汚いことだけでも、早く何とかしてほしい。15．感謝の気持ち 学校にたくさん支援物資が届いて楽しかった。炊き出しも美味しかったし、うれしかった。応援してもらえて、うれしいことがあると、元気がでる。（七尾市、小 6、女）
- まだまだ復興しているようには思えない。家族みんな忙しいのに、自転車通学もできずに、毎日送迎もしてもらっていて大変だと思う。（七尾市、中 2、女）
- 学校に携帯をもっていっても良いようにして欲しかったです。地震のあとはもしもに備えてどこへ行くにも携帯を持ち運んでいたので、一人になる登下校時、すごく不安でした。（七尾市、中 2、女）
- 「受験生」だったので、そんな私にとっては水が出ず、手伝いで給水所まで行くため、勉強時間を十分に確保できなかった。また、学校再開が遅く、勉強におくれを感じていた。（七尾市、高 1、女）
- 勉強に集中できない。（七尾市、高 1、男）
- 学校の体育館や体育館経路が壊れて使えなくなったので使えなくなったところをなおす為の金を 5～7 割負担して欲しい ・入浴できなくて辛かったので簡易入浴場的なのを七尾市内にも欲しかったです。（七尾市、高 3、その他）
- 学校の給食は、アルファーマイとかかんずめとかだけどたまに給食にショーウトケキがでてびっくりした。（穴水町、小 4、男）
- これからの食べ物や学校のこと。（能登町、小 6、女）
- 学校生活が大きくかわり中学校でやることになってすこしこころぼそいです。（能登町、小 6、女）
- 地しんで小学校が使えなくなり、中学校でじゅ業をしているということ。（能登町、小 6、女）
- 仮せつの小学校を立てることについて、お金がもったいないと考える。（能登町、中 1、女）
- 学校生活のこと。（能登町、中 1、女）
- 能登町の学校を一つにしましょう。（能登町、中 2、男）
- 地震が起きたときのことや、その後どうやって生活していたかや、学校の様子を伝えたいです。（能登町、高 2、女）
- 地震後あたり前の生活にもどって来たけど本当にこれでいいのか。（能登町、高 3、無回答）
- 学校から見える景色が、がれきで悲しくなる ・自転車で通学したい ・公園はあるけど、遠向りしないと行けない ・公園に津波がきたので、ぐちゃぐちゃ ・1 月から景色はあまり変わらないけれど、水や電気が使えるようになったり、学校でもたくさんの支援物資をもらったりしているので、復興に直接関わってくださる人や、応援してくださる人に感謝を伝えたいです。（珠洲市、中 2、女）
- 地震で習い事やじゅくが減ってしまって、地震後、珠洲を離れた子達と、大きな学力の差ができてしまったと実感した。被災地にいても充実した学習をさせてほしい。（珠洲市、中 3、女）
- 学校のトイレがあるにはあるけど、違う校舎の 3 階で遠くて中々出来ないし、仮説トイレがあるけど外だから、中々出来ない。（珠洲市、高 1、女）
- ずっとかせつ学校にいるのか、他の学校はどうなるのか。（輪島市、小 4、男）

- また、元の学校でみんなと勉強したいです。（輪島市、小 5、女）
- 学校生活がなれない。もともとの学校のルールとちがうからやりにくい。（輪島市、小 5、女）
- もっと楽しく学校や部活をしたいです。いまではとてもきゅうくつなので、部活などが快適にできるようにしてほしいです。（輪島市、中 1、男）
- 総理大臣様、県知事様へ　このたびは、ごしえんありがとうございます。しかし、まだまだ復興がおそくきびしいじょうきょうであります。私たちの学校はまだ人がたくさん（小学生、ひなん者）いてまんぞくいかない学校生活です。私たちができるはずだったことやたくさんなことをできるようにもう少し力をかしてほしいと思っています。（輪島市、中 1、女）
- 部活する場所や通学路ががたがたで危ないので工事を検討してほしいです。RADWINPIS きてほしい。（輪島市、中 1、女）
- 部活動が不便→移動しなければならない。 道ががたがた→急ぐとこける（自転車）ゆれる（自動車） 遊ぶ場所がない→公園は仮設 or 使用禁止 お金があれば･･･ つまりお金がほしいです。（輪島市、中 1、男）
- 部活動に本気で取り組めない。（輪島市、中 1、男）
- マリンタウンの競技場が仮設住宅で埋め尽くされ、部活をしたいのですが、できません。新しい競技場を作ってください。（輪島市、中 2、男）
- 学校生活などに不自由なことはない。（輪島市、中 3、男）
- 地震が起きたとき外では建物が倒れていた。学校では生徒の数が減った 白山の集団避難。（輪島市、中 3、男）
- これから勉強や勉強場所、生活についてどうすればよいか。（輪島市、高 1、男）
- グラウンドをきれいにしてほしい。（輪島市、高 2、男）
- グラウンドを直してほしいのとネットを高くしてほしい。（輪島市、高 2、男）
- グラウンドを直してほしい自分たちの手だけではできないから。（輪島市、高 2、男）
- 練習する場所がないので輪島高校のグランドを直してほしい。（輪島市、高 2、男）
- 私たち政府に見捨てられた高校生 3 年生は 1 月から 4 月までの授業をろくに受けられもせず、生きるのに必死でした。1 つ上の学年はもう共通テストや 2 次試験を受けるだけなのに、支援して頂いていました。これから受験する高校生には支援はないのでしょうか。東京や他の県の高校生と 4 ヶ月の差があります。1 つ上の学年に差はありましたか？私は無いと思います。いくら頑張ってもこの空白の 4 ヶ月を埋めることは出来ません。私達にも受験の支援を頂きたいです。どうか、見捨てないで下さい。まだまだ未来を担う若者は輪島に居ます。故郷を無くさないでください。お願いします。（輪島市、高 3、その他）
- 体育館とグランドが使えない。（輪島市、高 3、女）
- 地震の影響で強制的に世間より遅れを取らせられる事が、とてもきつい。（輪島市、高 3、女）
- 一時期は授業がリモートになり、再開してからも全員が教室で授業を受けられるようになるまでしばらくかかりました。当たり前が幸せなことを忘れないでほしいです。（石川県、高 3、女）

●生活や住宅への支援、経済的支援

- とにかくみんな生き続けてください。お家を強く直すお金がほしいです。地震のたびに揺れて、夜は起きたり怖かったりします。（七尾市、小 5、男）
- 親がいなかったり、家がない子どもや、こまっている大人の人のことや食料のことをもっとしっかりとしてほしいです総理大臣さん。（七尾市、小 6、男）
- お金の補助金。（七尾市、高 1、男）
- 家の修復費が足りない。（七尾市、高 2、女）
- お金の給付をしてほしい。（七尾市、高 3、男）
- お金がほしい。（穴水町、中 1、男）
- お金たりない（きしだ）→せいきゅうすくない。（穴水町、中 1、男）
- ポケモンカードがめっちゃほしい。（いいカード） 地震の影響でお金がないからめぐんでほしい。減税してほしい。穴水にカードショップたててほしい。（穴水町、中 1、その他）
- 税金をへらしてほしい！！子どもの事を考えてほしい。（穴水町、中 1、男）
- 地震で断ったこと。ぎえん金を増やしてほしい。（穴水町、中 1、男）

- 水を通してはい終わりとしているのが、不思議に思う。家の中まで水を通してほしい。生活水準を上げないでほしい。（能登町、中 2、男）
- お金がほしい。（能登町、高 1、男）
- お金をふやしてほしい。（能登町、高 1、男）
- お金が必要　がれきの片づけが必要。（能登町、高 2、男）
- 家の修理やなくなったり汚れた家具類のかいかえなどに必要なお金。（能登町、高 2、男）
- 地震のせいで失なったお金が大きい。そのためお金の面で支援してほしい。（能登町、高 2、女）
- 道路の復興を進めてほしい。被災した人への支援をもっと厚くしてほしい。（家を失った人や家を修理しないといけない人のためにお金の給付など）（能登町、高 2、女）
- しえんぶっしなどがとどいていない地いきがあるということを伝えたい。（珠洲市、小 5、男）
- 家を再建するお金はどうするんですか。ぎえん金がもっとあるとうれしいです。（珠洲市、小 5、男）
- 10、ではひ災しているのに変わらずお金がかかる　12、では道路じょうきょうは他の町に比べてましだけどまつりなど人が少なすぎてしたくてもできない。（珠洲市、小 6、女）
- 仮設をつくるためグラウンドにすると子供のあそべるばしょがない。・お金、、しょうらいのじぶん　こうこうせいになっておかねがあるかわからない　不安。（珠洲市、中 2、女）
- 家が住める状態じゃないので家をたてかえる。だけどお金がたくさんかかってこまっている。（珠洲市、中 3、男）
- 生活めん。（珠洲市、高 1、男）
- 今もっているお金ですめるところが買えるのかな。私の物をなにかうってお金をためた方がいいのかな。（輪島市、小 4、女）
- 県は大阪万ぱくに 1000 万出したけどそのお金をひ災地にやったり少しでもふっこうがはやくなると思うからひ災地に出してほしいです。（輪島市、小 5、男）
- ぼくは地震がきていえが山のちかくなので地震かきてすぐに山ににげたときいえからでたときはみちやいえとかがぐちゃぐちゃになっていたのでこの 1 つおねがいがあります。家がなくなった人たちにかせつじゅうたくやしょくりょうをおねがいです。（輪島市、小 6、男）
- 今、お家がみなしかせつになって、そうこに住んでいます。かせつじゅうたくには一部そんがい、半かいだから、はいれません。お家がみなしかせつになってしまった人はかせつじゅうたくに入れてあげてください。意見をきいてくださってありがとうございます。（輪島市、小 6、女）
- お金がほしい。遊びばがない。（輪島市、中 1、男）
- ぼくは、地震で家がかたむいてしまってとてもこまっています。いろんなところからの支えんでよくなってきていますが、まだ完全にもどってはいません。なので他の国にお金をわたさないでまずは、自分の国にお金を使ってほしいです。よろしくおねがいします。（輪島市、中 1、男）
- 私たちは、地震で家がくずれたりこわれたり、住めなくなったりしているので家をなおしたり、こわれたものを買うためのお金をもう少しほしいです。（輪島市、中 1、女）
- 私たちは、地震で色々と大変になって、とてもお金が厳しいです。もうすこしだけ、ぎえん金をください。（輪島市、中 1、男）
- 私の家は、かたがっていて、じしんがおきると不安になります。そういう人は、わたしいがいにも、たくさんいると思います。そういう方たちにも、家せつ住たくを、ていきょうしてもらえたら、いいなと思います。（輪島市、中 1、女）
- 地震でしごとがなくてお金がないかぞくや、家がないかぞくのためにすこしでもお金がほしい。（輪島市、中 1、女）
- 地震のせいで、仕事を無くしてしまった人達にお金をわたしてほしい。もっと中高校生が遊べる場所を作ってほしい。（輪島市、中 1、女）
- ウクライナにきふしないで僕たちにしてほしい。あと税へらして。（輪島市、中 2、男）
- お金がないから補助金がほしい。（輪島市、中 2、女）
- 家がこわれたけどなおすためのお金がない　こわれている場所がなにもかわってない　お金みんなない。（輪島市、中 2、女）
- 家の補修などに使う義援金を増やしてほしいです。まちの復興をする費用の一部を負担してほしいです。（輪島市、中 2、男）
- 家をたてるお金がない。（輪島市、中 2、女）
- 寄付金をください。（輪島市、中 2、女）
- 今、手本に新しい家をたてるお金がないときはどうしますか？かせつをたてるためになくなった陸上きょうぎ場がほしいです。（輪島市、中 2、女）
- 授業の時間を４時間にしてください　義務教育を高校までにしてください。（輪島市、中 2、男）
- 税金を減らしてほしい。（輪島市、中 2、男）

- 地元は離れたくないし、でも、お金がなくて、ふつうの日常を過ごせてません。どうか生活費だけでもください。おねがいします。（輪島市、中 2、女）
- 電話回線が地震後自分他が避難していた場所になかなかこなかった。珠洲市のように半かい以下でも、かせつ住たくに入れるように。4 次しんさの実し。（輪島市、中 2、男）
- 復興のためのお金が少ない。（輪島市、中 2、女）
- 母子家ていにお金をあげてほしい。（輪島市、中 2、男）
- お給料上げて下さい。（輪島市、中 3、女）
- お金が足りない。（輪島市、中 3、女）
- ずうずうしいですが能登半島に 1 かぞくに 10 万円ください。おねがいします。（輪島市、中 3、男）
- みんなおかねください。（輪島市、中 3、男）
- もう少しお金がほしい今のままだと地盤を強化するだけで 100 万以上かかりもうもらえるお金だけでは家も建てられない。家を建てるには到底足りない。（輪島市、中 3、男）
- 支援金はもらえますか？（輪島市、中 3、無回答）
- 全壊・半壊など関係なく、ひさい者にもっと、お金がほしい。（輪島市、中 3、女）
- うちは金欠が難点で、今もまだ困っています。他の人たちは家がこわれたりしていましたが、うちは大丈夫でした。何か協力できるならやりたいです。（輪島市、高 1、女）
- 生活がキツイので補助金をいただけると助かります。（輪島市、高 1、男）
- 仮説が狭い。（輪島市、高 2、女）
- 義援金はどこへ？あきらかに優先すべき人じゃない人を仮設にいれているのはなぜ？赤ちゃんを育てている家族と中学受験を控えている人と高校受験を控えている人の仮設住宅優先してほしい。（輪島市、高 3、男）
- 大学に行く費用が厳しい。復興に携わってくれている人に感謝しています。（輪島市、高 3、女）
- もう少しだけ義援金が欲しい。（石川県、高 3、女）
- 遠い学校に通い、地震の影響で 1ヶ月以上も家に居た。ただでさえ値上げや他にも兄弟が居るのに普段かからないような金銭がかかった。妹たちもまだ小さく他にも金銭がかかるのでもう少し補助をして欲しい。（石川県、高 3、女）

●地震への怖さ、体やこころの不安

- つらいことが、あったらきいてください。つらいことは、がまんすることじゃない。（七尾市、小 5、女）
- 地震が起きたときはこわかった。寝れなかった。地震のあとすぐのときは食べ物が少なく、トイレもできなくて大変だった。その後、たくさんの人達が助けてくれて、ありがとうと思った。（七尾市、小 5、男）
- 怖かったです。トイレが 6 月まで流せず大変でした。壊れた家がそのまま残っていて、見ると怖くなります。（七尾市、小 5、男）
- 避難したあとも不安や心配がたくさんあり、今までと違う生活なので、必要なものやことがたくさんあった。（七尾市、中 1、女）
- 今でも余震が来ると、あの日の事を思い出して泣いてしまいます。1 週間に一度は夢に見てしまいます。総理大臣が石川県の復興に来て、３０分で帰っていったらしい。ちょっと一階をのぞいて帰っていったのが、クソと思った。それなら、こないのと同じやと思いました。（七尾市、中 2、女）
- 地震がおきたときの怖さ。（七尾市、高 1、女）
- どれだけ時間がたっても、何度も地震のことを思い出してしまいます。 ・地震が起きるときに聞こえる「ゴー」という音と似た音が聞こえると身構えて、少し怖くなります。 ・少しでも元の生活に戻そうとしてくれてありがとうございます。（七尾市、高 3、女）
- 前の生活とちがうところがありストレスがたまる。（穴水町、小 6、女）
- 日本はどこでも地震が起こって安心できません。頑じょうな地など対策を早く進めてほしいです。ほんとに安心できなくて夜眠れてません。この声は届かないと思うし実行されないと思うけど、安心な日本のためにお願いします。（穴水町、中 3、女）
- 地震で亡くなった人を知っている時の気持ち ・電気と水道がなかった時の気持ち。（能登町、小 5、女）
- つなみがきそうでこわかったこと。（能登町、小 6、男）
- 地震はこわいことを知ってほしい。（能登町、小 6、男）
- 少しこわい。（珠洲市、小 5、無回答）
- 私は、家のとうかいした数や、体やこころの情たいなどを伝えたいです。（珠洲市、小 6、女）

- 体やこころのことでは、自分の本音をいえるかん環をつくってほしい。（珠洲市、小 6、女）
- 地震に対する心の気持ち。（珠洲市、中 1、男）
- 体や心のことに丸をつけた理由。ひさいして、体ちょうがわるくなりやすくなった。お金のこと、食料とかにも、食べ物のお金がいるから。（輪島市、小 4、女）
- 復興のこと ・子どものあそぶ所（増やす） ・人口が増えてほしい。 ・家のこと←（地域の） ・海に入れるか ・古い家に住んでいると、しんど 2、1 だけでも、家がゆれていつもいつも手がふるえてしまってこわい。（輪島市、小 6、女）
- 地震で心にきずをおったり怖いと感じてしまった子、人だって被災者だと思ってます。（石川県、小 6、女）
- 地震でたくさんの被害があって精神的にとてもつらかったこと。（石川県、高 1、女）
- いきなり地震がおきてなにをすればよいかわからないのがこわい。（石川県、高 2、女）
- 地震の恐ろしさ、防災の大切さ。（石川県、高 2、女）
- 避難所にいたらこわくてねむれなかった。（石川県、高 2、女）
- 能登半島じんしではこわくいと思います。（石川県、高 3、男）

●その他

- 分かりません。（七尾市、小 4、男）
- いろいろなことをしたい。（七尾市、中 1、男）
- 芸能人に歌やダンスをして元気ややる気がほしいから。（七尾市、中 2、女）
- 辛かった。（七尾市、高 1、女）
- 大臣や総理の高校訪問が無かった。生徒会の人たちにくらい意見を聞きに来てもよかったと思う。高齢者、経営者の意見が優遇されているように感じた。「日本の未来～」とか言ってるのに、自分の意見を論理的に説明できる高校生のもとに来ないのは、票取りのために来たのかなとしか思えない。（七尾市、高 2、男）
- 何してんのか。（七尾市、高 3、女）
- 役場職員の皆さんは多くの時間を、本当は職務外のことにまで費やしてくれたことを知っています。どうか本来職務外のことまで役場職員に無茶ぶりしないようにすることを心に留めて置いて欲しいです。 また電気もネットも使えない時、唯一外の世界を知るのに使えたのはラジオでした。私たちを心配してくれている人が全国にいるとラジオを通して知れただけでホッとしたので、精神安定のためにも情報源としてもラジオを持っておくのは有用だということを共有したいです。（七尾市、高 3、女）
- 地しんがあってなくなった人の分までがんばるを伝えたいです。（穴水町、小 4、男）
- 1 人に 6 年の友だちが死んだのでなにかおくってください。（穴水町、小 5、男）
- しゅくだいなくせ！ではなく。のとはんとうじしんで大変なのにうら金やらお前らはなにしてんの？（穴水町、小 5、男）
- もうがんばっているからそっとしておいてほしい。（穴水町、小 6、女）
- バスの時間が 10 分くらいおそくなった。減税をしてほしい。バスが 3 だいから 1 だいになったから、せめて、2 だいにしてほしい。バス停で、バスのだいすうがかわったからのるばしょもかわってほどうのない道をわたらないといけないからあぶない。総理大臣をかえてほしい。日米のかぶかの差を小さくしてほしい。（穴水町、中 1、その他）
- 地震の影響で苦しい思いをしているのは人間だけじゃないと思います。避難する際にペットをおいていかなければならなかったり、猫などは野良が多いと思うのでその動物たちの命はどうなるのですか？例えば空き家を自分の家だとしていた猫がその家がこわれてしまった場合その猫はどうなると思いますか？そういう人間だけじゃなく居場所のなくなった犬や猫の事も少しは考えてほしいです。（穴水町、中 3、女）
- 町にお金がないこと。（穴水町、中 3、女）
- (1)-1 で答えたこと。（能登町、小 4、男）
- すぐ近くの地区。（能登町、小 5、女）
- 意見をすなおに聞いてくれるから。（能登町、中 1、男）
- してほしいこと、町のこととか！（能登町、中 2、女）
- 言えません。（能登町、中 3、女）
- まつりのためのお金をもっとふやしてください。（能登町、高 1、男）
- 各地或の祭りがまたできるようにしてほしいです！！（能登町、高 2、女）
- スマホあずけが不安、りょうにワイファイをつけてほしい！（能登町、高 3、男）

- 人は過ちをくり返すこと。 ・どんなに願っても、発生することは発生する。（能登町、高 3、男）
- 他人事とは思わない方がいい。（能登町、高 3、男）
- 道のだんさやくずれた家を外側にして遠りやすくしてくれてありがとうございます。 ・石川県（のと）はこれからどうなるのですか？ ・今、私たちにできることは何ですか？ありますか？ ・石川県（のと）から人が少なくなり、かなしいです。 ・のとの祭りや行事は、これからどうなるのですか？（珠洲市、小 5、女）
- イライラしているのは分かるけど子どもの前で話さないで下さい。どこかよそへ行くか子どもがねているときに言って下さい。こっちもイライラします。しゃべんな くそ。（珠洲市、中 2、女）
- 分からない。（輪島市、小 5、男）
- なやこわす。（輪島市、小 6、女）
- 私は地震。（輪島市、小 6、女）
- わじまにイオンモールとドンキほうてがほしいです。（輪島市、中 1、男）
- 岸田総理をいますぐ辞めさせてほしいです、夏休みをけすな。（輪島市、中 2、男）
- 広瀬すずに会いたいです。（輪島市、中 2、男）
- なぜなにもしてくれないのか なぜわじまをきらっているのか なぜしえん、ボランティアをことわったのか。（輪島市、中 3、女）
- 家族を亡くしてつらい思いをしている人がいるのにその人にインタビューをしたらもっとつらくなると思うからインタビューをひかえてほしい。震災が起こって壊れたもの、無くしたものが多くて貯めていたお金が無くなりました。お金ください。（輪島市、中 3、女）
- 善意で、食べ物や身の回りに必要なものを配布してもらってありがたいけど有名な人が食べ物などを持ってきても、有名な人に会いにくる人がいるので、ほんとうに必要な人がもらえないことがあります。かせつも大事ですが駐車場が少なくなってきて、車が動かしずらくなっています。（輪島市、中 3、男）
- いろいろ。（輪島市、高 2、女）
- 田舎やからかもしれんけど解体作業の順番が偉い人の回りからされとって先に予約した人してもらえんし、住民の声何も来てくれん。（輪島市、高 3、女）
- なんか復興っていっぱい言っとるけど金もないのにどうしろっていうんもっと金がないと復興できないってだからずっとビルはたおれたままで朝市もそのままなんから政府がちゃんとしろよ。（輪島市、無回答、男）
- 地震がどれほど大きな問題か。（石川県、高 1、男）
- 七尾などはいいが能登町など個立している町への物資など食料や復興作業などが進んでいない現実、国から県への復興金が少なすぎること、芸能人などの方がよっもど幕金などしている現状、事の大変さ、実際に被害にあった人にしか分からないつらさ、苦労、まず、なぜ総理大臣天皇は被害のあった場所へ行かないのか、そこら辺が気になる。（石川県、高 2、その他）
- 僕の住んでいる町では人が死んだりとかはなかったけど物流が止まったり生活できなかった。そんな中で全国からのエールや支援っていうのが本当に力になった。自分も大人になって力をつけて困っている人の少しでも力になれるようにがんばります。（石川県、高 3、男）
- 大阪府は、地震はそんなに強くなかったから、石川県のみなさんの苦しい気持ちなどかよくわからない。（石川県外、小 6、女）

※その他、「特にない」などの回答が 6 件あった。

4. そのほか、能登半島地震について感じていること・考えていることなどがあれば教えてください。

自由記述は 1,470 件。「質問 2. あなたは、能登半島地震やその後の生活について、大人や社会に伝えたいことはありますか。」に「はい」と回答した子どもだけではなく、「いいえ」「わからない」と回答した子どもからも、地震や復興についてさまざまな記述が見られた。地震に対する怖さや不安、こころのケアの必要性を示す声、復興の遅れへの不満や逆に期待を寄せる声、さらなる支援を呼びかける声もあった。子どもの視点からみた生活環境の変化、遊び場の減少についての記述も目立った。その他、感謝の気持ちを表す声、子どもが復興に関わることの重要性を伝える声もあった。

●地震/復興/支援について

- 災害の訓練などで、本当におこることがあるといわれていても少し信じられないという気持ちがありました。だけど能登半島地震でこんなに大きい地震が、本当にあることが分かりました。（七尾市、小 4、女）

- 災害義援金がもっと集まって、奥能登地区でまだ断水しているところがあるので、早く水を復旧してほしい。（七尾市、小 4、女）
- 地震前の、町にもどしたい。（七尾市、小 4、男）
- よしんが、つづいているので、きをつけてください。ふっこうすることを、ねがっています。（七尾市、小 5、女）
- 温水器や浄化槽が壊れて風呂に入らなかったり、トイレが流さず大変だった　早く直ったらよかった。（七尾市、小 5、男）
- 自然の力はすごいと思った。友達がみんな死ななくて良かった。（七尾市、小 5、男）
- 復興支援に来ている有名人に会えるのが嬉しい。（七尾市、小 5、女）
- 仮設住宅の数語りていないことが気になる。（七尾市、小 6、女）
- 国立能登青少年交流の家が、笑顔プロジェクトで小学校に来てくれたのが嬉しかった。宿泊学習を企画してくれたのも参加して楽しかった。毎日地震の様子を見ていると疲れるので、宿泊学習で、地震を見ずにしばらく過ごせると、すごく気分転換になった。（七尾市、小 6、女）
- 能登半島地震で崩れた家で食べ物や飲み物が不足した。（七尾市、小 6、男）
- 生まれて初めての大きな地震だったけど死者が少なかったからまだいい方なのかなと思った。（七尾市、中 1、その他）
- 復興がなかなか進まない。（七尾市、中 2、女）
- 歴史に残ると思う。（七尾市、中 2、男）
- あまり震災地の復興がすすんでいない気がする。（七尾市、高 1、女）
- みんな前向きに復興などをしている。（七尾市、高 1、男）
- 今回の地震で改めて、ライフラインの重要性が、高まった。（七尾市、高 1、男）
- 時間が経つのがはやいなと思いました。（七尾市、高 1、男）
- 自分が住んでいる地域に津波がこなくてよかった。（七尾市、高 1、女）
- 実際に被害していないが町の状況を見て、本当に大きな地震だと思った。 ・被災した人の話を聞いていても、本当に大変だったと感じた。（七尾市、高 1、男）
- 初めて強い地震を体験して、間近で津波を見て、何日も避難所生活をしてとても苦しかったです。（七尾市、高 1、女）
- 辛かった。（七尾市、高 1、女）
- 地震のゆれがすごかった。（七尾市、高 1、男）
- 復興をするスピードが遅く、家の解体の金額が大幅に高いらしいので、家を壊そうにも壊せない人が多いと思う。（七尾市、高 1、男）
- いつどんな場所で地震がくるかわからない。（七尾市、高 2、男）
- いろんな物が使えなくなって不便さや失った物が大きい人たちが今立ち上がろうとしている姿勢とか支援をするために遠くからかけつけてきてくれた人の気持ちにすごく感謝したい。（七尾市、高 2、男）
- とても大きな地震だった。（七尾市、高 2、男）
- とても悲惨な状況でした。（七尾市、高 2、男）
- まだ、道や道路が完全に整備されていないし、もう少しで半年たつのに、復興が進んでいるとおもえないこと。（七尾市、高 2、女）
- まだ地震後のままの場所とかあるから、復興してほしい。（七尾市、高 2、女）
- 奥能登の人が特にかわいそうだと思った。（七尾市、高 2、女）
- 建物の地盤が弱かったから全壊したところや半壊したところが多くなったんだと感じた。（七尾市、高 2、男）
- 今回の能登半島地震での被害がはやくなくなればいいと思う。（七尾市、高 2、女）
- 自分が住んでいた所は能登半島地震で 1、2 番に被害が大きい地区に住んでいたけど、それでもじもとの人たちは復興に向けてがんばっているのを見てすごいと思った。（七尾市、高 2、女）
- 少しでも危害があった場所が復興してほしいと思いました。半年経ってからも危害にあって困まっている人たちも減らしたい。（七尾市、高 2、女）
- 断水してた時はつらかったけど水が出るようになったときはとてもうれしく水のありがたさを知れた。（七尾市、高 2、男）
- 復旧がおそい。（七尾市、高 2、男）
- このような地震は私たちにとって色々な経験をさせてくれた。（七尾市、高 3、男）
- すごくあぶなかった。（七尾市、高 3、男）

- たくさんの人が被害にあって、大変な思いをしていた時に、ボランティアで色んな人が来てくれたり、支援物資を届けてくれて温かみを感じました。（七尾市、高 3、女）
- とても大きなゆれだった。（七尾市、高 3、男）
- ゆれがすごかった。（七尾市、高 3、男）
- ライフラインのうち水の重要さがわかった。（七尾市、高 3、男）
- 厳しい状況で助けてくれた人に感謝の気持ちでいっぱいです。（七尾市、高 3、男）
- 色んな人に助けてもらった　ありがとう。（七尾市、高　3、女）
- 震災は急にくる。（七尾市、高 3、男）
- 大きな地震だった。（七尾市、高 3、男）
- 大変でした。（七尾市、高 3、男）
- 地震が起きてから 2 月ぐらいまで家の水がでなかったのでとても大変だった。（七尾市、高 3、無回答）
- 地震当時は現地にいないけど周りの人の話をきいて、簡単に分かった気にもなれないなと思います。（七尾市、高 3、女）
- 点のインフラという考え方を聞いた時は「これだ！」という思いがした。実際被災直後の生活の中で、田舎のおじいちゃんおばあちゃん達が持つ、生活を成り立たせるための知識とパワーには驚いた。(水や火の獲得法、洗濯の仕方など)（七尾市、高 3、女）
- 避難所で食料があまりそろってないなか、たくさんの人が家や自分の畑から食べ物をもってきて助け合うことから人の温かさを感じた。（七尾市、高 3、女）
- 復興が遅いと感じる　（理由）まだ 2000 人以上の人が避難生活をしているから。　・震災が起こる前の日常を送れていない。（七尾市、高 3、女）
- 復興はできないと思う。（七尾市、高 3、女）
- 1 月 1 日にこんな地震くるとは、思もわなかった。（穴水町、小 4、男）
- もっと地震に強い家とかがあまり建てられてなかった。（穴水町、小 4、男）
- 感じていることは、今までぼくたちのためにふっこうの手伝いをしてくれたときのありがたみです。考えていることは、早くじしんがなくなってほしいことです。（穴水町、小　4、男）
- 能登半島地しんは物だけじゃなく、人にもひがいが出る。（穴水町、小 4、女）
- 能登半島地震がどうおきるのか、考えています。（穴水町、小 4、男）
- おふろに入れたのが助かった。（穴水町、小 5、男）
- ごごごごとドンという音がきこえて地震がおきました。（穴水町、小 5、男）
- じえいたいのおふろがたすかった。（穴水町、小 5、女）
- たきだしをしてもらってよかった。（穴水町、小 5、男）
- たき出しがあっていろいろな、ごはんなどが食べれてよかった。助かった。（穴水町、小 5、女）
- ぼくはえい画を見て帰りに地しんがおきたので家に帰えれなかったけどぼくの家族にととい命がうしなわれなくてよかったです。（穴水町、小 5、男）
- さむかった。（穴水町、小 6、男）
- ぜんぜん復興がすすんでいないと思っています。（穴水町、小 6、男）
- つよいゆれ。（穴水町、小 6、男）
- ボランティアの人など、地震がおこってから、いろんな人が助けてくれて、すごいなと思った。（穴水町、小 6、女）
- ゆれた。（穴水町、小 6、女）
- 水と電気の大切さ。（穴水町、小 6、男）
- 早く穴水町が復興してほしい。（穴水町、小 6、男）
- 早く町が、もとにもどってほしい。（穴水町、小 6、男）
- 早く町が復活してほしい。（穴水町、小 6、女）
- 早く町が復興してほしい。（穴水町、小 6、男）
- 道路がガタガタになっていても、すぐに直してくれたので、ひなんするときも、すぐに行けたのでよかったです。（穴水町、小 6、女）
- 能登半島地震は歴史に残るほどの大きな地震だから死人がたくさん出るのは分かっていますが、これ以上死人が出てほしくないと思っています。（穴水町、小 6、女）
- 6 月くらいのすずのじしんで、大谷翔平がたくさんきふしてくれたけど、1 月 1 日の地震では、6 月よりもひがいがひどかったのに、1 月のじしんのほうがきふきんがすくなかった。（穴水町、中 1、その他）
- はやく、もとの穴水町にもどってほしいです。（穴水町、中 1、女）
- ボランティアと言いながら、めいわく　必要なものもわたってしまう。お店が減っている　復興のためにお金が必要　やりたいことが出来ない。（穴水町、中 1、女）
- ボランティアの人たちがたくさん来てくれたのでとてもうれしかったです。（穴水町、中 1、男）
- 助けてくれる人がいたから、自分がいると感謝しています。（穴水町、中 1、女）

- めったにけいけんできることじゃないからできてよかった。（穴水町、中 2、女）
- もとの町に戻ってほしい。（穴水町、中 2、女）
- 少しずつ復興していっていいと思う。（穴水町、中 2、女）
- いろんな人が話しかけてくれた（助けてくれた）（穴水町、中 3、女）
- お年よりが多すぎて、避難生活中に食料配給などに手が回らなかった。（穴水町、中 3、男）
- なぜ1月1日に起こったのかと思った。（穴水町、中3、男）
- ふっこうがまったくすすんでいない。（穴水町、中 3、女）
- 最初の地震が教えてくれた。最初地震が無ければきょうふは倍になっていたかもしれない。（穴水町、中 3、男）
- 徐々に町の状況をニュースで見なくなっていった。（穴水町、中 3、女）
- 人のあたたかさを感じた。（穴水町、中 3、男）
- 早くもとの町にもどるといいなと思ってます。（穴水町、中 3、女）
- 他の県の人たちに今、どれほど深こくな情きょうなのかが伝わってない人がいる。（穴水町、中 3、女）
- 地震直後は、個人で被災地に来るのは本当によくないと思った。（道が悪い状態だし余震も続くし混むし、他県のナンバーがあったら不審に思われるから。）（穴水町、中 3、女）
- 日用品が不足していたりして大変だった。（穴水町、高 1、男）
- 地震が起こって半年がたったいまでも災害関連死が増えているので、それを減らす取り組みがまだ十分ではないと感じている。（穴水町、高 2、女）
- 復興がおくれているなと思う。（穴水町、高 2、女）
- 学校の復興のためにたくさんの他校の人や先生が動いてくれて感謝している。（穴水町、高 3、女）
- いつまた何がおきるか分からない。（能登町、小 4、男）
- ボランティア団体の人達がたくさん来てくれて友達になれてうれしい。（能登町、小 4、男）
- 10 年後 20 年後は、今の町よりもいい町であることがうれしいです。そして、生き物にがいをあたえないそんな町がとても理そうです。（能登町、小 5、女）
- 1 月 1 日の正月だから、親せきとか能登にいたと思うけど、みんな助け合っていてすごいなと思った。（能登町、小 5、女）
- じしんがすごかった。（能登町、小 5、男）
- だんだん能登半島地震のことをわすられている感じがある。（能登町、小 5、女）
- はじめて大きなゆれを感じた。（能登町、小 5、女）
- 工事の音がうるさい。（能登町、小 5、男）
- 大きいじしんだった。（能登町、小 5、女）
- 復こうしてほしい。（能登町、小 5、男）
- あのときはとてもこわかったし、東日本大しん災でたくさんの人が亡くなったという話は聞いたことがあったけど、それを 6 年生でもうしんど 7 を経験をしてしまって悲しい。これまでの家や町や人が変わってしまって残念なこと。（能登町、小 6、女）
- なかなか復興がしてない。（能登町、小 6、女）
- ふゅきゅうがしていないところがある。（能登町、小 6、男）
- もう半年もたったのにふっこうがぜんぜんすすんでいないこと。（能登町、小 6、女）
- 地しんであまりふっこうがすすんでないように感じています。（能登町、小 6、女）
- 東日本大しん災などに比べてひ災したはんいが少ないので地しんについての意識がまたうすれていってしまうんだろうというこわさを感じている。（能登町、小 6、女）
- 道はいつ直るのか。（能登町、小 6、男）
- がれきがてっきょされてきてうれしい。（能登町、中 1、女）
- じしんでいろんなたてものがくずれていてひどいしまだ水のでない家があるのがかなしい。（能登町、中 1、男）
- ゆれました。（能登町、中 1、男）
- 私の父は仕事場で、しんさいのあとも 2 人たいせいなのに、時間かまわず呼び出しを受け、上司から、ひどいことを言われていたり、周りの人がぶっしをもらえないことがありました。（能登町、中 1、女）
- 助けに来てくれている人たちが少ないと感じます。（能登町、中 1、男）
- 能登半島地震がおきて命の大切さが分かりました。（能登町、中 1、女）
- はやく復興してほしい。（能登町、中 2、男）
- まだまだ復興が進んでいない輪島がかわいそう。（能登町、中 2、男）
- まだまだ余震は続くけど、支援に来てくださる方々やぼきんをしてくださる人々にとても感謝しています。（能登町、中 2、女）
- ゆれがひどかった。（能登町、中 2、女）
- 自然災害はどうもできないと考えた じしんがおこって半年たつけどさいきんのように感じる。（能登町、中 2、男）

- 地震で苦しむ人々が少しでも減ってくれれば、うれしいです。（能登町、中 2、女）
- 復興がおそい。（能登町、中 2、女）
- 復興が遅い。（能登町、中 2、女）
- ニュース等の地震に関する話題がなくなるのが他の災害と比べて速いなと思った。（能登町、中 3、女）
- ふっこうがおそい。（能登町、中 3、男）
- めっちゃゆれた。（能登町、中 3、男）
- 過疎化が進んだ地域の復興は、他地域から見てどう感じているのか。どこをどうするべきなのか分からないから。（能登町、中 3、女）
- 起きている最中は、自分は死ぬんだなと思ったけど、生きていられたのでとてもよかったと思う。（能登町、中 3、女）
- 今までにあまりないくらい大きい地震だなと思いました。（能登町、中 3、女）
- 支援ありがとうございました。この恩は忘れられません。（能登町、中 3、女）
- 支援しに来てくれてうれしい。（能登町、中 3、女）
- 支授ありがとうございました。（能登町、中 3、女）
- 復興おそい。（能登町、中 3、女）
- 復興していくのに各地からの募金があつまっていてすごくたすかっています。（能登町、中 3、女）
- クラウドファンティングうれしい。（能登町、高 1、男）
- はやくふっこうしてほしいです。（能登町、高 1、男）
- ラーメンがうまかった。（能登町、高 1、男）
- 完全に復興するのはいつになるのかと考えることがある。（能登町、高 1、男）
- 大変だったなあっと思った。（能登町、高 1、男）
- 地震は危ない。（能登町、高 1、男）
- 能登半島地震（1 月 1 日）におこった地震がわすれられない。（能登町、高 1、女）
- 復興おそい。（能登町、高 1、女）
- 復興がおそい。（能登町、高 1、男）
- はやく復興できればいいなと思った。ボランティアの人達に感謝。（能登町、高 2、女）
- 家の取り壊しが進んでいない。（能登町、高 2、男）
- 自然の強大さが身にしみました。（能登町、高 2、男）
- 震度 7、や 5 などを経験したら、震度 3 や 2 などでは驚きなどがなくなった。少し慣れた。（能登町、高 2、男）
- 早く復興させたい。（能登町、高 2、女）
- 早く復興してほしい。（能登町、高 2、女）
- 大きな地震があって先が見えない状況だったけど、半年でここまで復興していることがすごいと思う。（能登町、高 2、男）
- 大変だった。（能登町、高 2、女）
- 被害が大きかった。（能登町、高 2、女）
- 本当に「やばい」と感じたときは心の中で思わなくてもすぐに察するんだなと今回の地震で体験した。（能登町、高 2、女）
- 流体はいつなくなるのか。（能登町、高 2、男）
- インフラの劣化　・人が人として生きてけなくなること。（能登町、高 3、男）
- とても大変な思いをしている人が多いので早く復興してほしい。（能登町、高 3、男）
- 今は元に戻ってしまったからなんともいえない。（能登町、高 3、男）
- 水の大事さ。（能登町、高 3、男）
- 生きててよかったです。（能登町、高 3、男）
- 電波と水が大事だと思った。（能登町、高 3、女）
- 能登は、水道管がこわれている所が多いということ。（能登町、高 3、女）
- 能登はどうなってしまうのか。（能登町、高 3、男）
- でんきがつかなかったからこまった。（珠洲市、小 4、男）
- 早く珠洲市がなおらないかな。（珠洲市、小 4、男）
- すずは自然災害が多いと思った。（珠洲市、小 5、男）
- ひなん所の時に来てくれた、たきだしはおいしかったし、ありがたく感じた。（珠洲市、小 5、女）
- 1 月 1 日にあった地震は今でも覚えているからつい思い出してしまう。（珠洲市、小 6、女）
- すごく大きな地震だったといまでもおぼえてる。（珠洲市、小 6、男）
- すずしはひろいからふっこうがおそいけど、はやくなおってほしいと思いました。（珠洲市、小 6、女）
- なんで公費解体が全然進まないんですか。（珠洲市、小 6、男）
- 災害が起きてほしくないこと。（珠洲市、小 6、男）
- 水がつかえなくて家でトイレもおふろもできないのではやく水がつかえるようになってほしいです。（珠洲市、小 6、女）
- 特にない理由　生活もまえよりもどってきたから。（珠洲市、小 6、男）
- まだ完全に復興していないこと、早く復興したい。（珠洲市、中 1、女）

- 仮設住宅がもう少し早く、たくさん建てれたらいいと思います。また、道が早くきれいになればいいなと思いました。（珠洲市、中 1、女）
- 能登半島地震で家はぜんかい。（珠洲市、中 1、男）
- 能登半島地震はみんなすごくこわい思いをしたけど、支援してくれたおかげで少しずつ町が復興していて支援してくれた人々に感謝だなと感じました。（珠洲市、中 1、女）
- いまでも 水がきてるけど 水道管がこわれている。（珠洲市、中 2、男）
- これより大きい東日本大震災はやばいよ思った。（珠洲市、中 2、男）
- とても、大変だと思った。（珠洲市、中 2、女）
- また大きな地震が来るのか。（珠洲市、中 2、男）
- もとの町にもどるか心配。（珠洲市、中 2、女）
- ゆれがとても大きかった。（珠洲市、中 2、女）
- 何年くらいで復興できるのか、市や県はどう考えているのか。（珠洲市、中 2、女）
- 少しずつふっこうしてきていると思う。たくさんの支えんにかんしゃ。（珠洲市、中 2、女）
- 大きい地震だったな～と思う。初めてのけいけんでびっくりした。（珠洲市、中 2、女）
- 地震があってからひなん場所に行くまで、おそくなってしまった。ひなんするとき、あわてずにひなんできた。（珠洲市、中 2、女）
- 復興のスピード。（珠洲市、中 2、女）
- かたづけがおそい。（珠洲市、中 3、男）
- だいぶ道が直っきたと思う。（珠洲市、中 3、男）
- びっくりした。（珠洲市、中 3、女）
- 冬？だったからさむかった。（珠洲市、中 3、女）
- 半年たったけどあまり変わっていないように感じます。（珠洲市、中 3、女）
- 復興、復旧がすすんでほしい。（珠洲市、中 3、女）
- いえは、見たらほんとかおちていてたいへんだった。（輪島市、小 4、男）
- このままで、復興できるのか。（輪島市、小 4、男）
- たくさんのぶしをくれてありがとうございます。（輪島市、小 4、男）
- ほったらかしにされているきがする。（輪島市、小 4、男）
- 家がかたがったりくずれたりしていてこわくなるけれど、他の県からきた人がたすけてくれてうれしかったです。（輪島市、小 4、女）
- 感じていることは、令和 6 年能登半島地震がおきてから大へんなことになっていると感じています。（輪島市、小 4、男）
- 早くもとどうりになってほしい。（輪島市、小 4、女）
- ふっこうをしている。（輪島市、小 5、男）
- 仮設住宅は 2 年後にでないといけないのに、ぜんぜん復興していないと思う。（輪島市、小 5、女）
- 総持寺が完全ふっこうして 3 年でまたこわれてしまったのがざんねんだった。（輪島市、小 5、女）
- 能登半島地震のひがいが強い所はかわいそう。（輪島市、小 5、男）
- 復こうがおそい。東日本大震災や阪神あわじ大震災や、熊本地震よりもおそいのじゃないのか？（輪島市、小 5、男）
- いろいろしてくれてありがとうございます。（輪島市、小 6、男）
- じえいたいの方、しえんしてくれた方。ぼきんしてくれた方、ささえてくれた方、ありがとうございました。本当に助かりました。（輪島市、小 6、女）
- しえんしてくれてありがとうございます。（輪島市、小 6、男）
- はやく復興してほしい。（輪島市、小 6、男）
- 元の輪島にもどるのでは、なく成長した輪島になるよう、考えています。（輪島市、小 6、男）
- 地震がおきてすぐ私は、すごく不安でした。でも避難所には友達がいて話しかけてくれた時はすごく気持ちが軽くなりました。復旧、復興がはやくすすみますように。（輪島市、小 6、女）
- 能登半島地震でいろいろな建物などが、くずれているけど、早く、復旧復興してほしいです。（輪島市、小 6、女）
- 復旧復興はどうなるのか。店がしまっていくのはどうするのか。（輪島市、小 6、女）
- 1 月 1 日から、道路がきれいになったり、少しずつ復興してきてはいるけれど、めちゃくちゃすすんでいるわけではないし、もとの能登にはもどらないと少し感じています。（輪島市、中 1、女）
- 1 月 1 日に、みんなで楽しく正月を迎えていたのに、これからの、1 月 1 日は、みんなで黙とうをして、とても静かな 1 月 1 日になるのが、とてもあの時を思い出すし、いやな気持ちになります。早く復こうするよう願っています。（輪島市、中 1、女）
- 1 日でも早く復興してほしい。（輪島市、中 1、女）

- いつ町がもとにもどるかなと思っている。（輪島市、中 1、女）
- いろいろな人の話を聞くとみんな大変ということが分かるので、地震はとてもすごいのだなと感じました。（輪島市、中 1、男）
- これからどうすればふっこうできるのか。（輪島市、中 1、男）
- これからどうなるのかな、ということを感じています。（輪島市、中 1、女）
- じしんがでかかったこと コンビニがファミリミリーマートしかないのがやばいと思った。（輪島市、中 1、男）
- ねこが生きててよかった。（輪島市、中 1、男）
- はやくふっこうしてほしい。（輪島市、中 1、男）
- ふっこうがおそくて少しがっかりしている。へずまりゅうや、いろいろな有名人が来てるのに総理があまりこないことにぎもんを持っている。（輪島市、中 1、男）
- 仮設、が、まだたくさん、あいている、部屋があるのに、なかなか、人が入いらない、命の大切さが、あらためて、分かった。あそびばがほしい 半年経ったのに、たおれた家がたくさん。（輪島市、中 1、無回答）
- 支えんしている人に感謝。（輪島市、中 1、女）
- 私しは、地震が起きたときに輪島にいなくて、地震をけいけんしていないけど、ニュースでみたら、心配になりました。はやく復興してほしいなって思いました。（輪島市、中 1、女）
- 震度 7 はとてもやばいなと思いました。理由は、いろいろなところで家がつぶれているから。（輪島市、中 1、男）
- 人生で初めてこんな大きい地震を体験してビックリしたし、こわかったけど、今は学校へ行けてるからよかったと思ったし、早く復興してほしいなと思いました。（輪島市、中 1、女）
- 早く町が元どおりになって、住みやすい町になってほしい。お店が夜おそくまでやっていないから、お店を長くしてほしい。コンビニもふえたらうれしい。イオンとか、ドンキとか、スタバとかいろいろお店がほしい。（輪島市、中 1、女）
- 地形が地形なため仕方のないことかも知れませんが、復興が遅いように感じます。（輪島市、中 1、女）
- 地震がおきたときのきおくがない。（輪島市、中 1、女）
- 地震がきてやばいなと思いました。あさいちがつぶれたのがいやでした。（輪島市、中 1、男）
- 地震で怖い思いをしたから、小さい子とかが楽しめる広場や、みんなが来たいと思うような町がいい。（輪島市、中 1、男）
- 電気や水の復きゅうが早くて助かりました。感謝してます。（輪島市、中 1、女）
- 能登じしんで死んだ人もいて、仕事がなくなった人や家がなくなった人たちによりそえたらいいなと思いました。最初の 1 週間は何をしたらいいのかまったく分からなかったけどみんな家のかたづけをしたり少しづつ能登のふっこうに向けてかんばっていてすごいなと感じた。（輪島市、中 1、男）
- 能登半島地震がわすれられてる。（輪島市、中 1、女）
- 能登半島地震のせいでスポンジボブがゲットできなかったし、かもうらのねこじもとびこめなかったから、うざい。（輪島市、中 1、男）
- 復興があまりされていない。（輪島市、中 1、男）
- 復興がどんな感じですすんでいくのか。（輪島市、中 1、女）
- 復興のことについて考えている。（輪島市、中 1、男）
- 輪島ぬりや何かを何かの伝統工芸品とコラボして、売って、そのお金の何%かをきふする。（輪島市、中 1、男）
- あなり無いですが、復興が他と比べて、遅いように感じます。（輪島市、中 2、男）
- いつどこでなにがおこるか分からないことがあるということ。（輪島市、中 2、男）
- なにがかわってきたかわからない。（輪島市、中 2、女）
- はやくふっこうしてほしい。（輪島市、中 2、男）
- びっくりした。（輪島市、中 2、女）
- ふっこうがおそい。（輪島市、中 2、男）
- まだ、かいたいされていないところがあるので、いろんなところから集めればいいと思う。（輪島市、中 2、男）
- まだまだこまっている人たちがいると思います。（輪島市、中 2、女）
- 何で地震おきた。（輪島市、中 2、男）
- 強いゆれだった。（輪島市、中 2、男）
- 支援物資はいろいろな方からいただいているが、半島で人口が少ないため復興がむずかしいと思っています。（輪島市、中 2、女）
- 震災直後の不自由さは辛かった。自分が住んでいるまちが、またにぎやかになってほしい。（輪島市、中 2、男）
- 早く、地震前の、門前町にもどってほしい。（輪島市、中 2、女）

- 地震があってから 1、2 週間が大変だった。（輪島市、中 2、男）
- 土砂くずれしたのがそのままな所。（輪島市、中 2、女）
- 道がくずれそうでこわい。（輪島市、中 2、女）
- 復興おそい。（輪島市、中 2、女）
- 復興がすすんでいないのに、支援がへっている。（輪島市、中 2、女）
- 復興が少しおそい。町の変化が余りない。（輪島市、中 2、女）
- 復興が進んでない。（輪島市、中 2、男）
- 復興が遅い。（輪島市、中 2、女）
- なかなか復興が進んでいない。（輪島市、中 3、無回答）
- はじめて車中泊してめっちゃきつかったです。ライフラインがなくて、無人島にいるみたいでした。（輪島市、中 3、女）
- ボランティアが少ないと思った。（輪島市、中 3、男）
- ボランティアさんとのつながりが出来て、仲良くなれたのが良かった。（輪島市、中 3、女）
- またでかい地震きそう。（輪島市、中 3、女）
- めっちゃゆれた。（輪島市、中 3、男）
- もっとみんなで力を合わせてがんばれば、早く復興できると思う。（輪島市、中 3、女）
- 家をなおしたい。（輪島市、中 3、男）
- 火事で家や大切な人や物を失った人がいること　なにも復興が進んでいない。（輪島市、中 3、女）
- 私は地震があったときわじまにいなかったから、ずっと実感がわかなかったし、その後も県外のしんせきの家にひなんしていたから 4 月に学校が再開するまで本当にテレビでみていたことがおきているなんてしんじられなかったです。今もずっとゆめだったらいいなと思っています。（輪島市、中 3、女）
- 辛い。（輪島市、中 3、女）
- 生きていたので本当によかったです。（輪島市、中 3、女）
- 早く復興してほしい。（輪島市、中 3、女）
- 道路やライフラインは直ってきたけど、こわれた建物はそのままなのが気になる。（輪島市、中 3、女）
- 復興があんまり進んでいない。（輪島市、中 3、男）
- 復興がいつするのか。（輪島市、中 3、男）
- 復興のスピード　機械の音がしない　U ターンでなく I ターン。（輪島市、中 3、男）
- はやくもとに戻ってほしい。（輪島市、高 1、男）
- もう半年が経ったという実感がなく、とても早く感じる。また半年経った今でも、壊れた家がそのままだったり、まだブルーシートがはられていたりなど、町の風景が地震直後とあまり変わってないように思える。（輪島市、高 1、女）
- 自分達の愛する町が地域が少しでも早く復興してくれたらと思う。（輪島市、高 1、女）
- 能登などは重要性がないので復興が遅らされているのを感じます。（輪島市、高 1、男）
- 7ヶ月立ってまだ仮設も完成してない、家の撤去・解体も終わってない本当に遅すぎます。（輪島市、高 2、男）
- まだ多くの人が苦しんでいる。（輪島市、高 2、男）
- 今回起きた地震で大きな災害の場所を新しく変えていけたらいいなと思いました。（輪島市、高 2、女）
- 半年経ってまだ復興してない。（輪島市、高 2、女）
- 復興が案外進んでないこと。（輪島市、高 2、男）
- 復興が進んでない。（輪島市、高 2、男）
- 復興が遅い。（輪島市、高 2、女）
- 復興が遅い。（輪島市、高 2、男）
- 将来の輪島。（輪島市、高 3、女）
- 町はいつになったら戻る。（輪島市、高 3、女）
- 倒壊した家がそのままだったり、飲食店がほとんどなかったり、復興が進んでいない。（輪島市、高 3、女）
- 被災者以外は地震があったことを忘れられている。（輪島市、高 3、女）
- 復興が進まないのがなぜなのかを知りたい。（輪島市、高 3、女）
- 復興しないまま忘れられていく。（輪島市、高 3、女）
- まいにちゆれてるかんじかも！（石川県、小 5、女）
- ひがいがやばかった。（石川県、高 1、女）
- 家が被災して今は仮設住宅に住んでいます。地震から半年経ってもあまり変わっていないので、早く治って住み慣れた家に戻りたいです。半年経って、まだ復興していない場所が多いのに、メディアで被災地の状況の発信が少ないと思いました。（石川県、高 1、女）
- 震源地よりも遠い場所でもすごく揺れました。（石川県、高 1、女）
- 地震の耐久性が低い。（石川県、高 1、女）
- 地震はずこくゆれた。（石川県、高 1、男）
- 能登地区の復興のスピードがおそいと思った。（石川県、高 1、男）
- 能登半島地震は、いろいろなところに被害がでた。（石川県、高 1、男）

- 復こうが遅いと思う。（石川県、高 1、女）
- 1 日でも早く、全ての復旧が完了してほしいと思っている。（石川県、高 2、男）
- みすてられた。（石川県、高 2、男）
- 地元の学生が復興計画について知る、話し合う、意見する場がないのは問題だと思います。（石川県、高 2、女）
- 地震の被害が当たり前になってきている。（石川県、高 2、男）
- 地震を通して怖い事ばかりではなく、地域の人や親せきの方が食べ物や水をくれたり、逆にあげたりしての助け合いが出来て良かったです。（石川県、高 2、男）
- 能登半島地震でだんすいが長く続いて、水がないのはふべんだと感じた。（石川県、高 2、女）
- 能登半島地震を経験して、たったの数分・数秒で、多くの人や家屋にたくさんの被害がでると感じました。（石川県、高 2、女）
- 復興にとても時間がかかると思う。（石川県、高 2、女）
- トイレ流れて感動した。（石川県、高 3、女）
- また、いつ地震が起きるか分からない その際は、さらにひどくなってしまうのではないのでしょうか また元の平和な時に戻れるのでしょうか。（石川県、高 3、男）
- 次大きな地震がまたきたらかくじつにつぶれる家がたくさんある。（石川県、高 3、男）
- 自分たちの地域で起こってしまった災害だからこそ自分たちの手で復興させていきたい。（石川県、高 3、男）
- 自分の地区はそこまで被害がなくてよかったと思った。（石川県、高 3、女）
- 大変だった。（石川県、高 3、女）
- 復興があまり速んでいない。（石川県、高 3、女）
- 復興が遅い。（石川県、高 3、女）
- 地震の影響で変測的になった生活だが知人でもないのに関わらずたくさんの支援をしてくださったり、サポートの声援をいただいたりしてとても感謝しています。（石川県外、高 3、男）

●今後の防災について

- 自然のことだから仕方ないけれど、初めて大きな地震にあって、大変だなと感じました。防災について備えたり、もっと知っておく必要があると思った。（七尾市、小 5、男）
- とてもこわかった。もう起こらないでほしい。もしまた起きたらすぐに逃げられるように持っていくものを袋に備えておく。（七尾市、小 6、男）
- すぐ逃げられるようにしとけばよかったと思う。（七尾市、中 3、女）
- たまにまだ地震が起こるので、気をつけたいです。（七尾市、高 1、男）
- 地震がおきても冷静に動く。（七尾市、高 1、男）
- 大きい地震がいつくるか分からないので、しっかりと対策していきたい。（七尾市、高 2、男）
- 同じような地震がまた起きたら、どのような行動をしたらよいかちゃんと正しい行動ができるかわからないので、知識をしっかりつけたい。（七尾市、高 2、女）
- 自分達のあたり前だった生活が、突然奪われる、地震は急にくるから、きた時、被害をできるだけ小さくする事が大切。（七尾市、高 3、男）
- 人生で経験したことのない地震だったので 地震のこわさが再度確認することができた。備畜することの大切さがわかった。（七尾市、高 3、女）
- 地震はいつ起こるか分からないため、どんな時も地震を考慮して行動する。（七尾市、高 3、男）
- 東日本大震など話を聞いたり、実際の映像を見たりして、地震や津波の怖さを知った気でいました。でも命の危険、本当の怖さは、体験しないとわかりません。どれだけ自分の考えがあさはかで甘かったのか。いつどこで地震が起こるかわからないこの日本ですぐに避難できる準備や、避難する場所を把握しておくことはとても大切なことだと感じました。（七尾市、高 3、女）
- じしんにあってとてもこわかったです。なのでしっかりとじしんにそなえようとおもいました。（穴水町、小 4、男）
- きけんな所があり、そこにひなんしている人が居たら、声をかけて助けてほしい。（穴水町、小 6、女）
- じしんにそなえて、にげる準備をしないといけないと思いました。（穴水町、小 6、女）
- また大きい地しんがおきたらどうするんですか？（穴水町、小 6、男）
- 大きい被害があって、仲良しの友達とのお別れも悲しかったです。災害はおきてほしくないけど、避難場所や防

災グッズのこととか話し合っておくことが大切だと思います。（穴水町、小 6、男）
- 地震は、いつおこるかわからないので、地震にそなえていきたいと思いました。（穴水町、小 6、女）
- これからもなるかもしれないから、なってもいいように準備をする。（穴水町、中 1、男）
- 防災グッズをそなえておくこと。（穴水町、中 2、女）
- 次に起こるかもしれない南海トラフ地震の備えとしてこの地震を役立ててほしいです。地震が起こらなくても備えあれば憂いなしなので、備えるための機会にしてほしいです。（穴水町、中 3、女）
- 能登半島地しんで、とてもこわかったです。じしんのためのたいさくをしたいです。（能登町、小 5、女）
- もう二度とあのこうけいをみたくないから、もう一度家のてんけんをする。（能登町、小 6、男）
- この地震は、しかたのないこと。もうかえられないし、さけられない。この地震であった、悲しい気持ちやむねんさを、次の大地震にむけて、そなえてほしい。ナンカイトラフ地震、首都ちょっかがた地震、かんとう大しんさい、北海道地震にむけて。（能登町、中 1、男）
- じしんがきても、たいさくをちゃんとしとく。（能登町、中 1、男）
- 死者が身近にでて本当に地震はこわいと改めて思ったのでひなん訓練などはいっぱい真剣にしていこうと思いました。（能登町、中 1、女）
- また大きな地震がおこるかもしれないので、地震対策を町からも住民にいってほしい。（能登町、中 3、女）
- 次、起こる予想。（能登町、中 3、男）
- これからの対策のためにも、今回のことを覚えておきたい。（能登町、高 2、男）
- はじめてこのような地震を体験したのでこれからはいつきてもいいように対策していけるようにしたいです。（能登町、高 2、男）
- また大きな地震がくるかもしれないので油断しないようにしたい。（能登町、高 2、女）
- 能登は復興するのか、また地震が来たときのために何か対策をしているのか。（能登町、高 3、女）
- 地震を経験して、地震への備へや自分にできることをしたいと考えるようになった。（珠洲市、中 2、女）
- 今回経験したことを今後に活かしていきたいということと、震災で失ったものも沢山あるけど、得られたものも沢山あると思った。（珠洲市、高 3、女）
- 地しんはいつおこるかわからないからぼう災道具を準備しておかないとだめだなと思いました。（輪島市、小 6、女）
- この地震で 300 人以上の人が亡くなってしまったという事実。語って終わりではなく今後、大きな地震があるかもしれない地域の人達に自分の命が守れるように教えることも大事だと思う。もう少し家屋の解体を速くしてほしい。（輪島市、中 2、女）
- 特に防災グッズを用意したりしていなかったので防災を日ごろから意識して生活したいです。（輪島市、中 2、女）
- しっかり対策することが大切。（輪島市、高 3、女）
- 地震はいつくるか分からないから、いつきてもいいように、災害準備をしておく。（石川県、高 1、女）
- 地震はいつ起こるか分からないので、能登半島地震で防災への意識が高まりました。（石川県、高 1、女）
- この地震を体験して、また同じようなことが起きたときにそなえて準備しておきたい。（石川県、高 2、男）
- 今回の地震をうけて地震が起きた後の対策をしっかり出来るようにしなければいけないと思いました。（石川県、高 2、男）
- 能登半島地震を経験してみて、避難をスムーズにするために防災バックなどを用意しておくことが大切だと思った。避難をするときは決して焦らず落ちついて行動することが大事。（石川県、高 2、女）
- 今回の地震でとても怖く、不安な気持ちになったので、2度とこのようなことは起こってほしくないし、万が一また地震が起きてしまったときにどのような行動をとるべきか知っておくべきだと強く思いました。（石川県、高 3、女）
- 次の地震では冷静に行動したい。（石川県、高 3、男）

●生活や環境の変化
- 大人がこまって、おくりむかえや食べものにこまっている。おとおさんのしごとばがこわれて、こまっています。（七尾市、小 5、男）
- 地震からこんなにたってもまだ、普通の生活をできていない人がいるから、その人たちも早く今までの生活にもどれるようになってほしいと、感じている。（七尾市、小 6、男）
- みなさんが一刻も早く自分の居場所に戻るかできますように。（七尾市、中 2、女）

- 早く元通りの生活に戻りたい。（七尾市、中 2、女）
- いろいろな所が壊れていること。（七尾市、高 1、男）
- いろんなところがこわれている。（七尾市、高 1、男）
- たくさんの人が辛い思いをして、今も大変な生活を送られている人がいる中で自分はやりたいバスケをできていて、本当にこれは当たり前じゃないんだなと実感することができました。常に周りに支えられている、辛い思いをしながら生活をしているっていうのを頭の中に入れておいて、1 分 1 秒無駄なくがんばりたいです。（七尾市、高 1、女）
- 家とかがこわれているため、大変だなと思っている。（七尾市、高 1、男）
- 中学等が直りきっていないのに、そのまま学校をさいかいしているのが危ないと思った。（七尾市、高 1、男）
- 能登半島地震のえいきょうで町の人が減ったなと思いました。（七尾市、高 1、男）
- もっと上の方の、能登町など、今はどのような生活をしているのか気になる。（七尾市、高 2、女）
- 過疎化が進んでいるなと感じる。（七尾市、高 2、女）
- 今までの日常が急に激変し、水が出なくなり、色々困まることも多かったけど、友達と連絡し合ったり、家族で協力したりすることで乗り越えました。（七尾市、高 2、男）
- 今まで学校に行きたくない日もあったけれど地震で学校に行けない日が続いていて初めて学校に行ってみんなと会いたいと思った。今回の地震で学校に行けることがあたりまえではないと中にはずっと行けてない人もいるってことを思いました。（七尾市、高 2、女）
- 自分の住む場所も 2 階が使えず下でくらしているけど生活しにくい。（七尾市、高 2、女）
- 水道の工事は早かったけど、市の中心部以外の場所の道路の工事が全く進んでいなくて、いつも通っていた道が今も通れない。（七尾市、高 2、女）
- 地震の影響で、部活のグランドが使えないから早く治したいと考えている。（七尾市、高 2、男）
- 日常生活が戻ってきているが、被災する前ですら忙しかったのに、被災後の家の片付けなどが追いつかない。（七尾市、高 3、女）
- 能登半島地震で昔からの思い出の場所もすべて失ってしまったのでくやしいし、悲しい。（七尾市、高 3、女）
- バスケットの練習できる場がない。（穴水町、小 4、男）
- ひどくなったことが感じていること。（穴水町、小 4、男）
- 地しんでわれたりしているのが悲しいと感じている。（穴水町、小 4、男）
- じしんのせいでサッカーが出来なかった。（穴水町、小 5、男）
- すごく環境が変わったと感じています。（穴水町、小 6、男）
- 早く自分の、家に帰りたい。（穴水町、小 6、男）
- 「地震はおきたあとの方が大変だなあ」と思った。あと、仲いい友達が地震でひっこしたからそれは少し悲しい。（穴水町、中 1、女）
- いつものような生活にもどれてはいる。（穴水町、中 1、男）
- 地震でいろいろな場所に行けなくなったことや時間がかかること。（穴水町、中 3、男）
- 地震の影響で約 2 ヵ月分の学校生活がなくなったということ。（穴水町、中 3、男）
- 輪島の被害がとてもひどくて、水がくるのも、半年くらいかかっていて、輪島市民の生活が大変だと思った。（穴水町、中 3、女）
- みんな大変な中で助け合って生活していきたいです。（穴水町、高 3、男）
- あそびばがなくなってしまった。またもどってほしい。（能登町、小 4、女）
- まだ水のない生活をしている人、まだおうちでくらせない人、みんなが幸せになってほしいです。（能登町、小 4、女）
- 体育館がつかえなくて悲しい。（能登町、小 4、男）
- じしんで町の人たちとなかなかあわなくなっている。かたむいたりくずれたりしている家があってこわい。（能登町、小 6、女）
- 道がガタガタしていて、うっとうしい。（能登町、小 6、女）
- 道路が不安定だと感じる。（能登町、小 6、男）
- やっぱり柳田がいいな。（能登町、中 1、男）
- 家族全員も楽しく暮らしているんで、感じることは特にないです。（能登町、中 1、女）
- 私この能登半島地震で海水がすごくどうろにあがってきてふべんになりました。（能登町、中 1、女）
- もっと早くいつもの生活にもどりたい。（道など全然なおしてない）（能登町、中 2、男）
- 人が少なくなってかなしい。（能登町、中 2、男）
- できることが制限されたり、勉強もできなかったから、大変だった。（能登町、中 3、女）
- 人がへったようにかんじる。自分の思いどうりにうごいている人が多ようにかんじる。（能登町、中 3、男）

- 勉強がおくれて、受験もあるから大変だった。（能登町、中 3、女）
- どうろぼこぼこ。（能登町、高 1、男）
- まだ道路が全てなおっていないので、登下校のときに危ないなと思っています。自分たちで小さなきれつなどはじゃりをひいてもいいのかなと考えています。（能登町、高 1、女）
- 地震での影響で道路のじょうたいが悪い。←いつ治る?（能登町、高 1、無回答）
- 地震は人々にトラウマを植え付けたと思う。せめて見た目や生活の仕方だけでも元通りになってほしい。（能登町、高 1、女）
- 崩れた家がたくさんあって悲しい。（能登町、高 1、女）
- あたり前の生活ができていることに感謝して生活することがすごい大事。（能登町、高 2、男）
- 元の暮らしに全員が、もどれるようになってほしい。（能登町、高 2、男）
- 祭りなど今までしていたことを今までのようにできるのかな。（能登町、高 2、男）
- 地震のせいで今までやっていたお店がなくなってしまってかなしい ・地震が起きての政府の対応がおそいと大人がよく言っていた。（能登町、高 2、無回答）
- 地震は自分の日常を全て破壊したんだなと感じた。（能登町、高 2、女）
- 地震前の生活に戻るのに何年かかるか不安を感じている。（能登町、高 2、女）
- 路面がまだよくない所がある。（能登町、高 2、男）
- 住む所がなくなった人がいるのが悲いと思った。（能登町、高 3、男）
- 住む人が減らないでほしい。（能登町、高 3、男）
- 前みたいに生活できている。（能登町、高 3、男）
- 町の復興をはやくして、もとどおりの生活がしたい！！（能登町、高 3、女）
- 普通の生活がいつからもどるのかわからない。（能登町、高 3、男）
- あそべるはんいがかぎられている。（珠洲市、小 4、女）
- こわかったしばくがしぬとおもったしすごくこわかった。あとふるさとをはなれるのかと思った。でもぱぱがいたよかった。（珠洲市、小 4、男）
- しりあいや友だちがとおくにいってしまったのでもどってきてほしい。（珠洲市、小 4、女）
- みちがぼこぼこ。（珠洲市、小 4、女）
- 人が少ないので、友達が帰ってきてほしい。（珠洲市、小 4、女）
- いろいろな家がこわれてていて通れる道がすくない。（珠洲市、小 5、男）
- 珠洲市の人口がへる。行事がへったり、なくなる。つぶれた家、がれきがあぶない 道がでこぼこ 遊ぶ場所がない自転車があまりできない。（珠洲市、小 5、女）
- 前みたいに町があかるくなるのか心配です。（珠洲市、小 5、女）
- 地震でグランドがつかえない。（珠洲市、小 5、男）
- 転校した人はどこへ行ったのかを考えています。（珠洲市、小 5、男）
- もともと珠洲市は、震災前からも本州で一番人口が少なかったけど、震災があってさらに人口が減ったのでとても心配です。（珠洲市、小 6、男）
- 簡単に遊べる、遊ぶ場所もなく困っている。（珠洲市、小 6、男）
- 人口げん少が加そくしてあまり人がいない。（珠洲市、小 6、女）
- 能登半島地震で、働く場所がなくなったから、しょうらい、すずしから出ていく可能性があるかもしれない。（出ていきたくないけど住みやすさなどでみると）（珠洲市、小 6、女）
- 生活がいっきに不便になり、学校に行くときも、だるく感じる。（珠洲市、中 1、男）
- 若い人が減ってしまい高齢者が多くなった。（珠洲市、中 2、女）
- 地震で珠洲（能登）の人がでていく人が多いことが悲しい。（珠洲市、中 2、女）
- 地震のせいで祭りができなくて残念です。（珠洲市、中 2、女）
- 能登半島地震でたくさんのひがいを受け、珠洲ではほとんどの家がくずれ、道路もでこぼこになっている。（珠洲市、中 2、女）
- 能登半島地震で新しい人達とも親しくなった。（珠洲市、中 2、男）
- こんな地震がおきても野球ができる事に感謝したいです！！（珠洲市、中 3、男）
- 仮設にいる人たちは集会などでコミュニケーションの場をもうけることができるが、家にいる人たちのコミュニケーションをとる方法が少ないと感じる。 ・最近はニュースで能登

のことをあまり伝えている実感がない。 ・うれしい能登のニュースを伝えていってほしい。（珠洲市、中 3、女）

- 家がくずれて道が通れなくなるのがこわい。（珠洲市、中 3、女）
- 地面が盛り上がっている（通学路など）（珠洲市、中 3、その他）
- 考えている事は、地震のえいきょうで、学校がコロコロとかわるから新しいかんきょうにどんどんかわっていく。（輪島市、小 4、女）
- 子どもの遊び場は、これからどうなっていくか。（輪島市、小 4、女）
- 友達とはなればなれになっていること。（輪島市、小 4、女）
- くらしがきつくなった。（輪島市、小 5、男）
- 早くいつものかんじになってほしい。（輪島市、小 5、男）
- 道がわるい。（輪島市、小 5、男）
- じしんでポケカを売っている場所がないからかなしい。（輪島市、小 6、男）
- じしんのせいで人がすくなくなったとかんじた。（輪島市、小 6、男）
- もとの生活にもどるかがふあん。（輪島市、小 6、女）
- 親の仕事がいそがしそう。（輪島市、小 6、男）
- 道路がガタガタだから、いつ万全になるか分からなくてこわいです。（輪島市、小 6、女）
- 道路がたくさん「かんぼつ」していてあぶないです。（諸岡地区、鹿いそ地区など）（輪島市、小 6、女）
- かせつじゅうたくが多くなって公園がないからこれからのあそび場はあるのか。（輪島市、中 1、女）
- このじしんがおこってから、金沢等にいく人がふえたと思います。でも、私はここで、生まれそだったので、人がいなくなってしまうと、かなしいなと、感じます。（輪島市、中 1、女）
- ストレスなどがたまったり、親やおとながつかれている気がする。 ・不安でいっぱいでした。（輪島市、中 1、女）
- とても不便になったし、道や環境が他とちがってやだなと思いました。あと、相手が善意だと思っていることが自分たちには、不便だと思いました。（輪島市、中 1、女）
- ひなんしている友達が帰って来てほしい！！（輪島市、中 1、男）
- 今は最初よりも快適になったけど、まだ不便なことがたくさんあります。もっと楽しい学校生活にしたいです。そして、地震のこわさを全国に伝えたいと思います。（輪島市、中 1、男）
- 人がいなくなってかなしいし、輪島もなにもなくなったし、なんかやばいなと思っています。（輪島市、中 1、女）
- 正月というめでたい日に大きな地震がくるとは思いませんでした。自分の地域では、火事になった家はありませんでしたが、崩れる家がたくさんありました。友達で会えていない人はたくさんいます。ですが亡くなった友達がいなかったのは、何よりもうれしいことです。地震でひなんをし、別の小学校に転入していた時にそこでできた、友達が話をきいてくれてとてもうれしかったです。（輪島市、中 1、男）
- 地震がおきたから遊ぶところがなくなって僕たちがいた小学校がなくなってかなしいです。（輪島市、中 1、男）
- 地震から半年たったけれど、こわれた家もそのままで道ががたがたなので生活しにくい。（輪島市、中 1、女）
- 能登半島地震が起きて、自分が通っている学校の半分ほどが減ってしまって学校で行事や部活動をしても人数が少ないから出来なかったり、やりづらかったりするから、町の人が減ってしまって悲しいなと思いました。（輪島市、中 1、女）
- 能登半島地震で他の小学校のこと仲良くなれたのでよかったです。同じ小学校のころ同じ仲間とはなれてしまったのは悲しいです。（輪島市、中 1、女）
- 輪島は、ボランティアの人が少ない、道路に出ている家を第 1 にこわすべきでは？子どもだけの移動が不便、仮設住宅多すぎ、老人が多すぎると思う。輪島の人口が減っていて、子どもが特に減っていそう。子どもの優先順位が低く感じる。（輪島市、中 1、女）
- 金がない。（輪島市、中 2、男）
- 「普通の生活」のありがたさ。（輪島市、中 3、女）
- お金がない。（輪島市、中 3、男）
- かもうらのプールに入りたいけど入れなくなった。（輪島市、中 3、女）
- じめんがわれている。（輪島市、中 3、男）
- すむ家がなくなっている人たちを見ていると、かわいそうだと思ってしまう。（輪島市、中 3、女）
- たおれている家が多くて、通れない道が多い。（輪島市、中 3、女）
- どうろがくずれすぎですごしずらいです。（輪島市、中 3、男）

- 能登半島地震で遊び場がなくなって、あまり体を動かすことができないのがちょっとふべんだと思っています。（サッカー場）（輪島市、中 3、男）
- 普段とまったく変っていない。（輪島市、中 3、男）
- 勉強が追いつかない。（輪島市、中 3、男）
- 勉強に集中できない。（輪島市、中 3、男）
- 本屋なくなったの厳しい　参考書買えない。（輪島市、高 2、男）
- 未だにもともと住んでいた家に住むことができない。（輪島市、高 2、男）
- 道路がひどい。（輪島市、高 3、男）
- 多くの人がいつもの生活、普段の生活に戻れたらいいなと思う。（石川県、高 2、女）
- 地震からけっこう経っているけど、家とかくずれたままのが多い。（石川県、高 2、男）
- 自分は大丈夫だけどまだ避難生活をしている人たちが普段の生活に戻ってほしいと思う。（石川県、高 3、男）
- 地震によって学校行事がなくなったり制限がかかったりして悲しい。（石川県、高 3、女）
- 当たり前だったことができなくて不便だった。（石川県、高 3、女）
- 特にないけど、能登半島の皆さんの生活が早く元どおりに戻ってほしいと思います。（石川県、高 3、男）

●地震に対する怖さや不安

- こわくてしぬかと思いました。（七尾市、小 4、男）
- またじしんがおきないかな。こわいな。など。（七尾市、小 4、女）
- また地震が来るのか、心配　これから無事に大人になれるのか？と思うときがある。（七尾市、小 4、女）
- またこのような地しんがおきたらこわいなと思いました。（七尾市、小 5、女）
- 他の地域の人には忘れられているような気がする。自分は大地震で本当にこわい思いをし、街が壊されて、3 か月の断水という不安な日々を送った。とてもつらい、今でも思い出すと涙が出てくる。（七尾市、小 5、女）
- これからの余震が怖い。（七尾市、小 6、女）
- また地震があるとこわい。（七尾市、小 6、その他）
- もうこんな大きな地震は体験したくないです。（七尾市、小 6、女）
- 恐怖だった。（七尾市、小 6、男）
- 大きな地震が起きないように願います。（七尾市、小 6、女）
- 大きな地震が怖い。（七尾市、小 6、男）
- 地震がもう起こって欲しくない。（七尾市、小 6、男）
- 怖い。（七尾市、小 6、女）
- 1 日の着く日が怖い。（七尾市、中 1、女）
- 能登半島地震が起きたあと、日本のほかの場所でたくさん地震が起きていて、また自分のいる場所にくるのか不安。（七尾市、中 1、女）
- すごく怖かったです。（七尾市、高 1、男）
- まだ地震が来たらでかいのきそうでこわいです。（七尾市、高 1、女）
- 地震はこわいと感じた。（七尾市、高 1、男）
- 二度とけいけんしたくない。（七尾市、高 1、男）
- 被災したからこそ分かる地震の怖さ、また日常はあたり前ではないことを言いたい。（七尾市、高 1、女）
- 怖かった。つぎいつでかい地震が来るかわからないから怖い。（七尾市、高 1、女）
- こういった地震はもう起きて欲しくない。（七尾市、高 2、男）
- こんな大きな地震は、もうおきてほしくないなぁと思った。（七尾市、高 2、男）
- もう絶対地震はこないでほしい。（七尾市、高 2、男）
- もう地震がきてほしくないと思った。（七尾市、高 2、女）
- 次また同じような地震が起きるのではという不安さ。（七尾市、高 2、男）
- 初めての大きい地震でこわかった。（七尾市、高 2、男）
- 初めて大きな地震を体験したのでとてもこわかった。（七尾市、高 2、女）
- 地震は怖いとあらためて思いました。（七尾市、高 2、男）
- 地震は怖いなと思いました。（七尾市、高 2、男）
- 地震は普段の生活を一瞬にしてうばえる怖さを知った。普段の生活にもっと感謝していきたい。（七尾市、高 2、男）
- 同じような地震が起きてほしくない。（七尾市、高 2、女）
- 能登半島地震で被害を受けた建物などを見て、地震はすごく恐しいものだと感じた。（七尾市、高 2、男）

- 普段は、市外に住んでいるから地震がめっちゃこわい。（七尾市、高 2、女）
- このような地震はもうおきてほしくないと感じました。（七尾市、高 3、男）
- スマホのアラームがなったら少しこわい。（七尾市、高 3、男）
- とてもこわかったです。（七尾市、高 3、男）
- また同じような地震が来たら怖いなって思います。（七尾市、高 3、女）
- もうこのような地震は起きてほしくないと思いました。（七尾市、高 3、女）
- 今回の地震でトラウマになりました。少しの揺れでも夜「また、もう一回大地震が起こったら」と考えてしまい寝られなくなる。（七尾市、高 3、男）
- 初めてめっちゃ大きい地震を経験したのでこわかったです。（七尾市、高 3、女）
- 地震がこわかった。（七尾市、高 3、女）
- 地震が起きた時はとても怖かった。（七尾市、高 3、女）
- 地震のアラーム音や少しの揺れだけでも怖いと感じるようになった。（七尾市、高 3、女）
- 余震がまたあるか不安に感じています。いつ来るか分からないので。（七尾市、高 3、男）
- たて物などがいっぱいたおれてこわい。（穴水町、小 4、男）
- ぼくが能登半島地震についてこわかったとかんじた。（穴水町、小 4、男）
- また、じしんがおきたらこわい。（穴水町、小 4、女）
- 地震がこわくなった。（穴水町、小 4、女）
- おもいだしたくない。（穴水町、小 5、男）
- こわいからおもいだしたくない。（穴水町、小 5、女）
- じしんがこわい、おとを聞くのがこわい。（穴水町、小 5、男）
- じしんがこわい。（穴水町、小 5、男）
- とくにないです。りゆうは、思いだしたくもないからです。（穴水町、小 5、女）
- また、同じようなことが起きたらこわいから。他にも、思い出したくない。（穴水町、小 5、女）
- 考えていることはわたしたしが社会や大人になったときにはふつうの生活にもどるのかがしんぱいです。あとわたしは地しんのときにすごく泣いてもうしぬのかなとおもっていました。でもかぞくがささえてくれたのでちょとふあんはなくなりました。（穴水町、小 5、女）
- 思いだしたくないから。（穴水町、小 5、女）
- 思い出したくない。（穴水町、小 5、男）
- 少しだけ、地しんがあるとこわい。（穴水町、小 5、女）
- 特にない　理由　こわくて覚えてない。（穴水町、小 5、男）
- 6 強で強よくて、こわかった。（穴水町、小 6、女）
- こわい。（穴水町、小 6、女）
- こわかった。（穴水町、小 6、男）
- じしんってこわいなと思った。（穴水町、小 6、女）
- 家が古いからこたつの中にかくれてるとき家がつぶれると思った。（穴水町、小 6、女）
- 家こわれてないかしんぱいだった。（穴水町、小 6、男）
- 想像よりも、こわく不安になる。（穴水町、小 6、女）
- 地しんがいつ起こるかわからないから、こわいです。（穴水町、小 6、女）
- 地しんなんてないほうが良かった。（穴水町、小 6、男）
- 地震は、あらためて、こわいと思った。（穴水町、小 6、女）
- 能登半島地震おきてほしくはなかった。（穴水町、小 6、男）
- 地震なければいいのにと思いました。（穴水町、中 1、女）
- もう大きな地震はこないでほしい。（穴水町、中 2、女）
- ちいさな地震でもこわくなる。（穴水町、中 3、女）
- また大きい地震が起こってほしくはない。（穴水町、中 3、男）
- もう、起こらないようになってほしい。（穴水町、中 3、男）
- もう二度とこんな地震は経験したくない。（穴水町、中 3、女）
- 地震があってから寝れてません。怖いです。生きてても安心できない。（穴水町、中 3、女）
- こわいからもう大きな地しんはきてほしくない。（能登町、小 4、女）
- こわかった！（能登町、小 4、女）
- こわかった。（能登町、小 4、女）
- すこしのゆれでもあのときの地震を思い出して怖い。1 人でるすばんできない。1 人でいたくない。（能登町、小 4、女）
- どしゃくずれのところを見るとこわい。大きなトラックが家の前をとおったらこわい。（能登町、小 4、女）
- また地しんがないか心配。（能登町、小 4、女）
- 怖かった。小さい地震でも怖い。（能登町、小 5、男）

- 毎日がこわくなった。（能登町、小 5、男）
- こわかった。（能登町、小 6、男）
- ほかのちいきにいえ、かぞくをなくしたかたがいるのに、自分がこんなにびくびくしてていいのかなということ。（能登町、小 6、男）
- またくるんじゃないかとしんぱいです。（能登町、小 6、女）
- またじしんが、おきたときに、家ぞくは、だいじょうぶか気になる。（能登町、小 6、女）
- もう 2 どとこのじしんはきてほしくない。（能登町、小 6、女）
- 地しんがあってから、少しの音でこわくなってしまう。（能登町、小 6、女）
- また、大きな地震がくるのか考えている。（能登町、中 1、男）
- まだこわさがある。（能登町、中 1、女）
- また起きるか心配。（能登町、中 1、女）
- また大きな地震がくるかもしれないから怖い。（能登町、中 1、男）
- また地震がくるのか。（能登町、中 1、女）
- また同じような地震が起こるのかを考えている。（能登町、中 1、男）
- 地震は、とても怖い ・当たり前のことは当たり前のことではない。（水や電気・食量など）（能登町、中 1、女）
- 怖かった。もうちょっとうしろにいたら、たなのしたじきだったから、感じたことがないような恐怖を感じた。他校の子と話して、友達が死んだりした子がいたと知って、何ともいえない気持ちになった。（能登町、中 1、女）
- こわかった。親せきが心配だった。（能登町、中 2、男）
- そのことを忘れたい。1 番こわい思いをしたから、思い出したくないです。この地震について話しても、人は「へぇ～」でおわると思います。→そうなるのだったら話す必要なんてない。（能登町、中 2、女）
- とてもこわかった。（能登町、中 2、男）
- とても怖かったです。（能登町、中 2、男）
- また地震が起きた事を考えると、不安な気持ちになります。（能登町、中 2、女）
- よしんが怖い 早く復興してほしい 復興のボランティアなどに参加したい。（能登町、中 2、女）
- 元日に大きな地震があって、またいつ来るかはまだ分からないが、もう来てほしくないです。（能登町、中 2、男）
- 不安になったり、こわいと感じた。（能登町、中 2、女）
- 余しんがこわい。（能登町、中 2、男）
- 余震が怖いです。大地震でびっくりしました。（能登町、中 2、女）
- こわいと思った。（能登町、中 3、男）
- こわかった ・ねれない ・不安 ・思い出す ・大きな音が声い。（能登町、中 3、女）
- 今でも小さなじしんがあると家がこわれるんじゃないかってこわいです。（能登町、中 3、女）
- 大きい地しんがきたらこわい。（能登町、中 3、男）
- 地震はこわい。（能登町、中 3、女）
- 能登にすむのがこわい。（能登町、中 3、男）
- 1 月 1 日の地震から少しの家のゆれだけでも怖くなるようになりました。（能登町、高 1、女）
- こわかったです。（能登町、高 1、女）
- もうおきてほしくない。（能登町、高 1、男）
- 地震は怖い。（能登町、高 1、男）
- 怖かった。（能登町、高 1、女）
- まだたまに揺れることがあって、思い出すことがある。（能登町、高 2、女）
- もうおきませんように。（能登町、高 2、女）
- もうないといい。（能登町、高 2、男）
- 次はこないでほしい。（能登町、高 2、男）
- あの時は隣の空き家が目の前で潰れたので、このままだと私もつぶれて死んでしまうって思ってとても怖かった。でも、私の家族がみんな生きていてくれて、それを幸せだと感じて最初に避難した高台で一緒に泣いた。あの時のことは本当に一生忘れないし、もう起こって欲しくないとても思った。（能登町、高 3、女）
- とても怖かった。 ・慣れの怖さがある。（能登町、高 3、女）
- なし こわかった。（能登町、高 3、男）
- また、大きな地震が来たらと考えると、こわい。（能登町、高 3、男）
- もう地震が起きないでほしい。（能登町、高 3、男）
- 今までの地震と比較にならないほどひどかった。もう二度と味わいたくないと感じた。（能登町、高 3、男）
- またじしんがあったらこわい。 ・地いきの人とこう流できてうれしい。（珠洲市、小 4、女）
- また大きなじしんがきそう。（珠洲市、小 4、女）
- もうこんな大きな地しんがこないといいです。（珠洲市、小 4、女）
- もうじしんがおきてほしくない。（珠洲市、小 4、女）

- 感じることは、また地しんが起きたらどうしよう。（珠洲市、小 4、女）
- 地しんがこわいことです。（珠洲市、小 4、女）
- 地震でお兄ちゃんがかなざわにいてふあんです。（珠洲市、小 4、男）
- さいきんは、じしんがなくなったけど、いつくるか、ふあん　まだどしゃくずれやこわれそうなもの、を直していないから、じしんがこなくても、こわい。（珠洲市、小 5、男）
- さいしょのおおきなじしんがこわかったです。家がくずれてきそうでとてもこわかったです。（珠洲市、小 5、女）
- すごく地震がこわくなった。　・これからどうすればいいのか。　・本当にのとに残っていていいのか。（珠洲市、小 5、女）
- また、地震がきて、家がつぶれないかな、しんぱいです。（珠洲市、小 5、男）
- またじしんがきたらといつもかんがえてしまいいつもこわいです。ねてるときにじしんがきたらおきれなかったらしんでしまったら、とかんがえます。そしてすこしふあんです。（珠洲市、小 5、男）
- またじしんがくるかしんぱいでこわいです。（珠洲市、小 5、女）
- まだちょっとだけふあんだけどみんなといればだいじょうぶ。（珠洲市、小 5、女）
- まだまだ大きいじんんがくるかもしれないからこわいです。（珠洲市、小 5、男）
- もう一回このような地しんがおきたら家がこわれると思ったら、家にいることがこわい。（珠洲市、小 5、女）
- 地しんの数やつよさがどんどん大きくなっていっていること。（珠洲市、小 5、男）
- 地しんはこわかった。（珠洲市、小 5、女）
- ぜったいにきてほしくないなと思いました。（珠洲市、小 6、女）
- また、大きな地しんがこないか能登半島地震を通して心ぱい。（珠洲市、小 6、女）
- また地しんがくると思ってしまう。（珠洲市、小 6、男）
- もうこのような地震がおきないようになってほしい。（珠洲市、小 6、男）
- もうこんな地震は二度と体験したくないと思いました。（珠洲市、小 6、男）
- 地震がこれからもなくなってほしい。（珠洲市、小 6、男）
- 地震を止める事はむずかしいけど、これ以上もう大きな地震はこないでほしい。（珠洲市、小 6、女）
- また、震度の 7 がきた場合は、家がこわれないか心配です。（珠洲市、中 1、女）
- また起きないか。・家にばあちゃん 1 人のときに地しんが起きないかを考えている。（心配している）（珠洲市、中 1、男）
- また大きな地震がきたらこわい。（珠洲市、中 1、男）
- もう二度とこんな大きな地震は、おきてほしくない。（珠洲市、中 1、女）
- 次もまた、大きい地しんが来たらどうしよう、という不安。（珠洲市、中 1、男）
- いつまた地震がおきるか分からないから不安　次来るかもしれないから怖い。（珠洲市、中 2、男）
- また震度 7 が来ないか不安。（珠洲市、中 2、男）
- また大地震がおきてほしくないと思いました。（珠洲市、中 2、男）
- また地震が来るのかわからない。（珠洲市、中 2、男）
- もう地震がおこってほしくない。こわい。（珠洲市、中 2、女）
- 次いつくるのかなぁ。（珠洲市、中 2、男）
- 怖かったです。（珠洲市、中 2、女）
- こわい。（珠洲市、中 3、男）
- また大きな地震がくるかもしれないと考えるとこわくなる。（珠洲市、中 3、男）
- 身近な人の死について考えるのが怖い。（珠洲市、中 3、女）
- 大きい地震がまた来ないかと不安になる。1 人でいるときのもしものときを考えるとこわい。1 人がこわくなった。（珠洲市、中 3、女）
- 地震が起きたとき体がうごかない。（珠洲市、中 3、男）
- 怖かった。（珠洲市、中 3、女）
- いがいとこわかったからもうきてほしくないです。（珠洲市、高 4、女）
- いえがいつぐづれるか分からない。ギシギシゆってこわい・・・・。（輪島市、小 4、女）
- じしんがおきてからもっとこわくなりました。（輪島市、小 4、女）
- またじしんがないかしんぱい。（輪島市、小 4、女）
- もう、あんな大きい地しんが、おきてほしくないです。（輪島市、小 4、男）
- もう一回地震がくるかもしれないからすこしこわい。（輪島市、小 4、男）

- 考えていることは、また大きな地しんがおきたらどうしょう。（輪島市、小 4、女）
- 能登半島地震で夜もそのことでねむられないことがある。（輪島市、小 4、女）
- これからも大きい地しんがあるのか心配だし、今まで通りの生活にはやくもどりたい。（輪島市、小 5、女）
- じしんいらない。（輪島市、小 5、女）
- じしんがこわい。（輪島市、小 5、女）
- じしんがこわい。（輪島市、小 5、男）
- もう予震がきてほしくない。（輪島市、小 5、男）
- 大じしんがトラウマになった。（輪島市、小 5、女）
- しんせきの家にいて、くずれてきたのでそのことを思いだすといつもそわそわしてしまう。（輪島市、小 6、女）
- たおれそうなたてものがあってこわい。（輪島市、小 6、女）
- ちょっとよしんがこわい。（輪島市、小 6、男）
- また、じしんがくると思ってこわいです。（輪島市、小 6、女）
- また、大きいじしんがきそう。（輪島市、小 6、女）
- またこんな大地震は、きてほしくない。（輪島市、小 6、男）
- また大きいじしんが来るかこわい。（輪島市、小 6、女）
- 私は今、家がかたむいているじょうきょうなので、仮設住宅の方に住まわせていただいているのですが、やはり、まだ、予震が続いているので、こわいと思います。（輪島市、小 6、女）
- 人口がへって、輪島のでんとうがなくならないのか不安。またじしんがこないか不安。（輪島市、小 6、男）
- 地震はこわいと思いました。（輪島市、小 6、男）
- 南海トラフがいつくるか分からないのでこわいです。（輪島市、小 6、女）
- 能登半島地震で道路やくずれかけている家があるのでいつたおれるかくずれるか分からないので不安です。（輪島市、小 6、女）
- こわかったです。（輪島市、中 1、女）
- じしんこわかった。（輪島市、中 1、男）
- トラウマがあってこわかったけどいいけいけんになった。（輪島市、中 1、その他）
- また、じしんがおきたら、いやだし、かぞくが、亡くなたりするのはいやだなと考えている。（輪島市、中 1、女）
- もうおきないでほしい（地震）（輪島市、中 1、男）
- もう一回 1 月 1 日みたいな地震がおきたらどうしようと思う。（輪島市、中 1、女）
- 今でもたまに予震が起きるのが怖いです。（輪島市、中 1、男）
- 今後こういう地震がおきないでほしいと思います。（輪島市、中 1、女）
- 1 回の地震でこんなにもひどいことがおきて本当にじしんは怖いと思った。（輪島市、中 2、女）
- こわい。（輪島市、中 2、男）
- また、大きな地震があるのか。（輪島市、中 2、女）
- また、大きな地震がくるのではないかと、考えている。（輪島市、中 2、男）
- まだまだ危ないところがあってこわいと思った。（輪島市、中 2、女）
- また大きな地震が来るんじゃないかなとなって怖い。（輪島市、中 2、女）
- また地震がきたら家がつぶれてもおかしくないな、とは毎回思っている。（輪島市、中 2、女）
- また地震来るかこわい。（輪島市、中 2、男）
- こわい。（輪島市、中 3、女）
- こんなにながびくなんて思っていなかった。地震がこんなにこわいものなんだと思う。（輪島市、中 3、女）
- とくにないですが、余震が心ぱいです、、、。（輪島市、中 3、男）
- また、地震が来たら怖いです。（輪島市、中 3、女）
- まだ怖い。 ・小さな音でも、おどろいてしまう。（輪島市、中 3、女）
- また来るのか不安。（輪島市、中 3、男）
- もう起こってほしくない ・他の人たちにこの思いを体験してほしくない。（輪島市、中 3、女）
- 初めて大きな地震を体験してとてもこわかったし、地震の影響で友達が引っこしして、さみしいです。（輪島市、中 3、男）
- 地震こわい ・なんで正月に震度 7 きたんですか。（輪島市、中 3、女）
- 怖わかったな～。（輪島市、中 3、男）
- 怖いね。（輪島市、高 1、男）
- とてもこわかったし、今でも怖い。（輪島市、高 3、女）
- よる寝る前にフラッシュバックが起こり少し怖い。（輪島市、高 3、男）
- 恐ろしいと感じた。（輪島市、高 3、男）

- 怖かったし不安で仕方なかったけど、警察や自衛隊や工事しに県外から来てくださってる方々のおかげで安心したし少しずつ良くなってきているから感謝したい。（輪島市、高 3、女）
- 感じていることは、ゆれがおさまったら、きもちわるくなることも多いです。小さいゆれだとだいじょうぶだけど大きなゆれだときもちわるくなってしまいます。（輪島市、無回答、無回答）
- こわかったです。（石川県、高 1、女）
- またあんな大地震がおきたら どうしようかとふあんになった。（石川県、高 1、女）
- 以前は、大きな地震は経験しないだろうと心の何処かで思っていたが、今回の地震で自然の怖さを知った。今は少しの揺れでも恐怖を感じるようになった。（石川県、高 1、女）
- こわかった。（石川県、高 2、女）
- もうこんな地震がおきてほしくない。（石川県、高 2、男）
- 私は地震がおきた 1 月 1 日は石川県にいなくて、地震のゆれをけいけんはしていないけれど、他県でもゆれは伝わってきていて、しんど 4 だったため、そうとうゆれていたんだと思いました。さいがいボランティアに参加してみて同じ町内でも、ひがいが全然ちがってあらためて地震はこわいなと思いました。（石川県、高 2、女）
- 自分は能登にいなくて、大きなゆれにあわなかったが、自分に関わりの深い人が能登半島地震で震度 7 のところにいて、地震が起きた直後に電話がかかってきて、話したりして、金沢におったけど、自分もこわくなったりした。（石川県、高 2、男）
- 怖かったなと改めて思う。（石川県、高 2、女）
- じしんが来るたびに大じしんを思い出したりふあんになる。（石川県、高 3、女）
- とても命の危険を感じた。（石川県、高 3、男）
- もうあの揺れは体験したくない。（石川県、高 3、女）
- もう二度起きてほしくないと思います。（石川県、高 3、男）
- 震度 6 強はどのアトラクションよりも強かった・・・・・・。（石川県、高 3、その他）
- 地震はすごくこわい。（石川県、高 3、男）
- 能登半島地震を経験してから、振動に敏感になった気がします。（石川県、高 3、女）
- 能登半島地島ではお家がゆれました。能登半島地震では 5 強かんじてすごく心がおれました。（石川県、高 3、男）
- 怖かった。もう二度体験したくない。（石川県、高 3、女）
- 新潟市も大きな揺れだったので、いつ多いな地震が来るのか心配。（石川県外、高 3、女）

●政府や社会への要望

- 被災者の思いをたくさん聞いてほしい。（七尾市、小 4、男）
- 公園を増やして欲しい はやく橋をなおして欲しい。（七尾市、小 5、男）
- 地震によって、じ面がこわれて走りにくいし、いけない道もあるからできるだけはやく直してほしいです。（七尾市、小 5、女）
- 特にないけど、被災者に楽しい思いをしてもらいたい。（七尾市、小 5、女）
- 外国ばっかお金を使わないで、壊れてる家を直して欲しい。（七尾市、小 6、女）
- 義援金などの使い道を知りたい。被害の少ない家や家庭にもお金をくれたらいいと思う。（七尾市、中 2、女）
- 地震が起きて 1 カ月くらいからニュースにあまりならなくて、石川県の人々の気持ちを知って欲しいと思う。（七尾市、中 2、女）
- いろんなことで地震の影響がでて、それを復行させるために頑張っているけど、まだ元の状態には戻ってないからまだいろんな支援をつづけてほしい。（七尾市、高 1、男）
- まだ輪島が復興できていないのが悲しい 国や県が動くのがおそい。（七尾市、高 1、男）
- できるだけはやく復興支援をして、能登地方の人を自由にしてほしい。（七尾市、高 2、男）
- まだ困っている人がたくさんいると思うので、復興をもっと進めてほしい。（七尾市、高 2、女）
- もっと政府は動くべきだと感じた。（七尾市、高 2、女）
- 自然災害によってたくさんの人やものが失われました。地震の怖さをできるだけ多くの人に知ってほしいです。（七尾市、高 2、女）
- 石川県は具体的なプランを出してくれたけど、国って金出して若干の法整備しただけ？もっとひどいのは浄化槽。全額公費負担とは何？いまだに直ってないんだけど。（七尾市、高 2、男）

- ネットニュースなどを見ると「政府の対応が遅い」という声をよく目にするのですが、実際に復興があまり進んでないと感じています。国の予算なども、もちろん分かるのですが、もう少し何かできることはないのでしょうか。一人暮らしをしている祖母がいるのですが、いつもいつも心配です。（七尾市、高 3、女）
- みんな大変だけど頑張ってほしいです。（七尾市、高 3、男）
- 家を建てるときに、下に活断層が通っているかなどをチェックできるようにしてほしいです。（七尾市、高 3、女）
- 後世まで伝えてほしい。（七尾市、高 3、男）
- 国は動かない。（七尾市、高 3、女）
- 震災の被害にあっていない人達にもっと地震の重大さを知ってもらうことが必要。（七尾市、高 3、男）
- 水使えなかったから水道管を強化（耐震化）して欲しい。（七尾市、高 3、その他）
- 道路整備（歩通）（七尾市、高 3、女）
- 半年経っても、一番被害がある珠州のほうは手つかずの状態でまだ自分の家に帰れない人もいるから、もっと復興に力を入れるべきだと思う。（七尾市、高 3、女）
- やっぱり命は大切だなと思いました。あと大人にはなかなか言えなかったりするので話し合うときは子供同士だけで話せるといいと思いました。（穴水町、小 6、女）
- ぎえん金をふやしてほしい。（穴水町、中 1、男）
- みんなが元気になってほしい。（穴水町、中 1、女）
- 人がたくさん亡くなったこの地震がまだこれからもたくさんおきると思います。日本を安全は絶対には保障されてないと考えていただくとうれしいです。（穴水町、中 1、男）
- 表面でかいた通りです。私の近くの人で男性 1 人と高齢者の方 1 人の 2 人が仮設住宅に住めていないとのことです。特に思うのは復興がおそいということです。いろいろな方が能登に来てくれていて、この災害の恐ろしさを知ってもらいました。もっと他の人にも地震について知ってほしいから。（穴水町、中 1、女）
- 復興をもっとはやく。 ・支えん金がほしい。（たくさん） ・学校のたて直し（いろいろな所） ・カードショップをたててカード・ボックスを売ってくれるところをつくってほしい。（穴水町、中 1、男）
- 能登半島地震についていろんな人に知ってほしい。（穴水町、中 2、男）
- 他の県の人たちが何もなかったように過ごしとることは、少しモヤモヤ もっと知ってほしい。（穴水町、中 3、男）
- 地震の影響で飼い主と離れてしまった犬や猫がどんな生活を送っているのか気になります。保護活動をしてくれている方々もいますがひにん手術をしない限り数は増えてきます。1 匹でも多く動物たちの命を救ってあげたいです。（穴水町、中 3、女）
- 今年の地震からより不安を被災した人たちにより早い安心や助けを必要として、心がけてほしい。より協力できることや関われることを心がけてほしい。（穴水町、無回答、無回答）
- 道をもっとよくしてほしい。（能登町、小 5、女）
- 体育館を直してほしい。（能登町、中 1、女）
- 土砂崩れも多く、道路が十分に修理されていないので、一日でも早く色々な所へ行きやすくなるようにしてほしいです。（能登町、中 1、女）
- 道路のせいびとか危険な家の周りにコーンをおくなどして、住んでいる人達が危ない目にあわないようにぜびしてほしいです。（能登町、中 1、女）
- 道路を直してほしい。（能登町、中 1、男）
- 道路整備を早めにしてほしい。（能登町、中 1、女）
- もっと能登町を大切にしてほしい。（能登町、中 2、男）
- 国が無のう。（能登町、中 2、男）
- 復興のためには、大人の意見だけでなく、子どもの意見を取りいれるべきだ。 ・子どもからも復興についての考えがあるのに、ふれあう機会がない。 →もっと子どもの意見を自由に口にできる機会を増やしてほしい。（能登町、中 2、女）
- うその情報が伝えられないようにしてほしい。・じしんの時にとろぼうが多かったことがこわかった。（能登町、中 3、女）
- はやく歩道なおしてほしい。（能登町、中 3、女）
- もっとボランティアをふやしてほしい。（能登町、中 3、男）
- 遠くに行くのが難しくなった。はやく道なおして。（能登町、中 3、女）
- 仮説住宅住めたのは良いが、2 年と期間が少ないせめて 5 年ほど伸ばしてほしい。（能登町、中 3、男）
- 活気をどんどん取り戻していきたい。地震を乗りこえる地域の強さを見ててほしい。（能登町、中 3、女）
- 津波タワーをつくって！（能登町、中 3、女）
- 道の設備がなおっていない部分を直してほしい。・被災者への対応をしてほしい。（能登町、中 3、男）
- 道路も直っていないので、なおしてほしい。（能登町、中 3、女）

- 特にないです。だだ、道路をが整備されていないところが多いので、そこは直してほしいです。（能登町、中 3、男）
- 能登から金沢までの行来きできるようにしてほしい。（能登町、中 3、女）
- いまだに道路や住まいなどの問題がある中で国がもっと支援に力をいれてほしい。（能登町、高 1、男）
- もう少し早く対応することはできなかったのか。（能登町、高 1、女）
- 祭りがしたいから、はやく道をきれいになおしてほしい。（能登町、高 1、女）
- 地震が起きてからも何日もたちますが家の近くの道は通れますが完全にはなおっていません。お金を道をなおすのにつかってほしいです。（能登町、高 1、女）
- 能登半島地震では政府の動きがとても遅かった。僕の地区では仮設に移るまでに 3 ヵ月程かかった。それまで体育館での生活を強制させられて不便な生活をしていた。それを分かったうえで政府の対応が遅かったことについてとても遺憾であり、本当に腹立たしいことだと僕は思った。（能登町、高 1、男）
- 被災した町の復興のためにお金を使ってほしい。（能登町、高 1、女）
- もっと支援が欲しい　今でも日常の生活に戻ってない人もいる。（能登町、高 2、男）
- バスの本数を早くもとに戻してほしいです。（能登町、高 3、女）
- 早く道の整備や建物の復興をお願いしたい。（能登町、高 3、女）
- 半年経って忘れかけている地震について忘れないでほしい。（能登町、高 3、男）
- 自分の家をなおしてほしい。（珠洲市、小 4、男）
- 遊び場が少ないのでもっとふやしてほしいです。（珠洲市、小 4、男）
- ぎえん金が少なすぎる。（珠洲市、小 5、男）
- はやくふっこをしてほしい。（珠洲市、小 5、男）
- もっとふるいこわれたいえがなくなってまた、にぎやかになってほしい。（珠洲市、小 5、女）
- 自分のまわりにあるがれ木や、かたむいている電住を見たら、地震のことを思い出すので早くもどしたり、かたづけたりしてほしいです。（珠洲市、小 5、女）
- 道をきれいにしてほしい。（珠洲市、小 5、男）
- まだうまっている人がいるのでその人たちをたすけてあげたい。（珠洲市、小 6、女）
- クソぞうぜいメガネがぜいきんをたいりょうにこくみんからとっていざとなったらすこししかふっこうきんをていきょうしなくてせめてぜんかいとはんかいだけじゃなくてひがいうけてるじてんでぜいんに家をなをすためのぜいきんかえせ。（珠洲市、中 2、男）
- 家や家族、大切なものを失い辛い思いをしている人に私は声をかけてあげられないけど、辛いことをはき出せるようになったらいいと思った。 ・建物が弱くなったから、歩くだけでもゆれてこわい ・ゆれたら、楽しくなってくるから、もっと大きいのが来ても危機感がなくなってしまう。（珠洲市、中 2、女）
- 親が仕事からかえってくるのが前よりおそくなった。→人手不足を助けてほしい。（珠洲市、中 2、女）
- いまだ水がきてないところがある。なぜ？仮設住宅ではなく、自分のかよってるちゅうがくにいるひなんしゃが多い。→はやく仮設をたててほしい　体育館つかえんからつらい。（珠洲市、中 3、女）
- 義援金の使い方についていまいちど考えてほしいなと常々思います。裏のことなど分かる年齢ではないです。でもアイデアを少し生みだすことができます。文章で伝わらない、伝えたくないこともある中で、未来をどう歩むか、疑問に思っています。（珠洲市、中 3、男）
- いろいろなところから、復興の手伝いをしてくれるのは、ありがたいですが、こわれた建物などの写真や動画をとるのは、少しいやな気ぶんになります。できれば、やめてほしいです。（輪島市、小 5、女）
- 角海家がつぶれたから、また造りなおしてほしい。（輪島市、小 5、女）
- 大人だけで話をすすめるのはちがうと思う。（輪島市、小 5、女）
- 地しんがなければよかったと思います。この話しにはかんけいないんですけどふっこうでほしいものとかたてものがほとんどおとなだけできめていてちょっとそれはちがうんじゃないかなと思いました。子どもの意見もいれてほしいです。（輪島市、小 5、男）
- どうろをなおしてほしい。（輪島市、小 6、男）
- もうじしんがおきてほしくない。こわいことがおきないしあわせな日本にしてほしい。（輪島市、小 6、女）
- 国のたいおう。（輪島市、小 6、男）
- 今の能登のじょうきょうを知ってほしい。かせつをふえたけど遊ぶ場所へった。けど、じえいたいとか、他県からおうえ

んにきてくれたひとにめっちゃかんしゃしてます。（輪島市、小 6、女）
- 人口が減り続けている中でこの地震が起きたから人口がもっと減ると思うけど、復興して人口を増やし、活気がもどるように、みんなの夢をきいて、実現してほしい。（輪島市、小 6、男）
- あそぶばしょがほしい。（輪島市、中 1、男）
- あまりかいたいとかのとりかかりがおそいと思っている。半年立っているのに全然変わっていないのでまた地震がどこかで起きたらかいたいはいそいでほしいです。（輪島市、中 1、女）
- おばあちゃんとかおとしよりの人とかを元気にしてほしいです。（輪島市、中 1、女）
- これからあつくなっていって虫もふえてきそうだからはやくつぶれている家をかいたいしてほしい。（輪島市、中 1、女）
- まだひなんしている人もいると思うし、かせつを早く作ってほしい。（輪島市、中 1、男）
- もう少し、県の人たちがこっちのじょうきょうをもっともっともっとかんじてほしいです。苦しいことがあるのも、もっと分かってほしいです。（輪島市、中 1、女）
- ゆうせんする事を考えてほしい。（輪島市、中 1、女）
- 町をはやくふっこうさせてほしい。（輪島市、中 1、男）
- 土砂くずれをなんとかしてください。（輪島市、中 1、女）
- 支援金が欲しい。（輪島市、中 2、女）
- 町がはやくなおってほしい。（輪島市、中 2、男）
- 町をはやくなおしてほしい ・あそぶ場所をとらないでほしい。（輪島市、中 2、男）
- 道をなおしてほしい。（輪島市、中 2、男）
- 能登半島地震で輪島へ行く道や、輪島から出る道がガタガタで通院に困るのではやくなおってほしいです。（輪島市、中 2、女）
- 復旧・復興がおそい。道路にのっている家などをはやくこわしてほしいです。（輪島市、中 2、女）
- 輪島の、マリンタウンみないな、陸上競技場がほしい。練習する場所がなくなったから。（輪島市、中 2、女）
- 輪島中のテニスコートを早くなおしてほしい。（輪島市、中 2、男）
- こわれそうな建物を早くこわしてほしい。（輪島市、中 3、女）
- こんごどうなるのか 輪島や被災した町を忘れてほしくない 世界にもっと広めたい。（輪島市、中 3、男）
- もっとななめってる家を早くこわしてほしい ・本屋 ・文房具屋来てほしい。（輪島市、中 3、女）
- もっと他の地域の人も能登に関心を持ってほしい。（輪島市、中 3、男）
- 解体作業をしてほしい。（輪島市、中 3、女）
- 国や県がなにもうごいてくれない。（輪島市、中 3、女）
- 今回の地震は、多くの家、道路がぐちゃぐちゃになっています。漁師さんも、いつ漁に出れるか分からない状況なので、一刻も早い復興をお願いしたいです。（輪島市、中 3、男）
- 能登半島地震により南海トラフが起こりやすくなったと聞きました。確地域の建物の強化などしてほしいです。（輪島市、中 3、女）
- 復興へ、もっと計画をしっかり立てて、対策をねって、実行してください。（輪島市、中 3、男）
- 僕の家、あんまり人がいないとこだからばりばりあぶないとこあるの！どうにかなりませんか？（輪島市、中 3、女）
- 有名人をつれてくるのではなく復興活動をしてほしい。（輪島市、中 3、男）
- 今回の地震で改善点を見つけて次に活かしてほしい。（輪島市、高 1、女）
- 能登半島地震で、すごい被害にあって、自分もふくめて、色々な人が大変な経験をしたので、能登半島の復興のために、募金や、ボランティアなど、できることをしてほしいと思う。（輪島市、高 1、男）
- 仮設住宅が少ない ・仮設に住む小さい子の遊ぶ場所がない ・お金をもう少し出してほしい。（輪島市、高 2、男）
- 自分たちのグラウンドが使えるようにしてほしい。（輪島市、高 2、男）
- 何も変わっていない。家は潰れていく。岸田・馳は何をしているんだ。外国にばらまく金があるならこっちを助けてくれ。マスコミもマスコミだ。いい所ばかり映して復興したかのように世間を騙している。現場のリアルを伝えるのがマスコミじゃないのか。いい所ばかり映すな。需要が無くても絶望に打ちひしがれ、ひねくれた高校生を映せ。リアルを伝えろ。（輪島市、高 3、その他）
- たくさんの命や資源が失われて苦しい中だけど、周りの人たちと励ましあいながら、協力して 1 歩ずつ復興に向けて進んでいく必要があると思う。それを実現していくためには、国の助けが必要だと思う。（石川県、高 1、男）

- ボランティアの募集を増やしてほしい（できることはしたいから）（石川県、高 1、女）
- もう少し国が支援をした方がいいと思った。（石川県、高 1、男）
- もっと全国の人に知ってほしい。（石川県、高 1、男）
- 地震の被害を受けた方たち全員がはやくもとの生活に戻ることを祈ります。また、輪島塗りやのとじま水族館などの石川県にとって大切なものが失くならずに復活してほしいと思いました。被災地ではない人たちは少しずつ忘れてきていると思うので、これ以上そんなことがないように忘れてほしくないと思いました。（石川県、高 1、女）
- もっと広い地域でお金を配布してほしい。（石川県、高 2、女）
- もっと支援がほしい。（石川県、高 2、男）
- 水が使えないことがとても不便だった。もっと復興を早めるために政府とかがもうちょい動いてほしい。（石川県、高 2、男）
- 応援割りといった取り組みがされているが、実際に大きな被害を受けたのは能登なのに、金沢などの宿泊施設ばかり、お客さんが来ていて、もっと能登のお店にも見を向けてほしい。（石川県、高 3、女）
- 石川県の中でも能登は辛い思いをしているのに金沢の方はいつも通りの日常を送っていて地震の規模に違いがあったのはわかるけどどんどん金沢の方に拠点を移す人が増えてそういう特集をみていて辛くなる。もっと能登の復興のためにできることを考えて安心して暮らせるようにしてあげてほしいです。（石川県、高 3、女）
- 能登半島地震の被害状況に関すること、復興に向けての願いなどを知って頂きたい。（石川県、高 3、女）
- 復興作業になるべく早くしてほしい。（石川県、高 3、女）

●自分がしたいこと

- 今も余震が有る為家族か安全に過ごしたい。（七尾市、小 4、女）
- 落ち込んでいないで前向きに進んでいくようにしている。（七尾市、小 4、女）
- 能登半島地震で能登はいっぱい笑顔があったのに、地震のせいで笑顔がなくなったので、笑顔を増やしていきたいです。（七尾市、小 5、女）
- また大きな地震があるかと思うと怖いけど、たくさんの人から優しさを感じた。次は自分もボランティアや恩返しをしていきたい。（七尾市、小 6、女）
- ボランティアや全国から来てくれる自衛隊、警察官の皆さんに本当に感謝したいです。自分も、もしものときには恩返ししたいと思います。（七尾市、中 2、女）
- これから地域の人で力を合わせれば、復活できると思うので、少しでも貢献したい。（七尾市、高 1、男）
- 自分ができることをしたいと思います。（七尾市、高 1、女）
- 自分にできることはないかということ。（七尾市、高 1、男）
- 多くの人々が被害にあって今まで大変な思いをしていると思うので少しでも力になれるように。（七尾市、高 1、男）
- 自分が大変な時に地域の大人の人達が助けてくれたので自分が大人になったら困まっている人を助けたいと思った。（七尾市、高 2、男）
- 能登の雰囲気が下がってるから、自分ができることで、雰囲気をよくしたい。（七尾市、高 2、男）
- 能登地方に勇気と笑顔を届けられるようにこれから頑張りたいです。（七尾市、高 2、男）
- 能登半島を元気づけたい。（七尾市、高 2、男）
- 被害にあった人をはげます。（七尾市、高 2、男）
- だいぶ道路とかもなおってきたけど、まだ、ひなんじょに人とかもいるので、できる事をさがしたい。（七尾市、高 3、男）
- 自分の周囲の事も気になるが町外や市、市外とひどく破災し心が痛みます。自分に出来ることは何も出来ないのでまずは身辺話を聞いたり、出来ることを協力し、まずは少しでもお手つ伝いが出来ればと思います。（七尾市、その他、女）
- ひなん所とかにいる人とかをボランティアの人だけじゃなくてぼくもひなん所のお手つだいとかをしてあげたい。（穴水町、小 4、男）
- 小学せいでもおてつだいをしてあげたい。（穴水町、小 4、女）

- もう地震はおきてほしくないです。少しでも町の人のためになるようになにかをしたいです。（穴水町、小 6、女）
- 私は、この大きな地震があったことを語りついでいきたいと考えています。なぜなら、この大きな地震によって亡くなった方がたくさんいるのに、無かった物としてかたづけられたくないからです。また忘られたくないからです。（穴水町、中 1、女）
- 人の役にたちたい。自分ができることを全力でしたい。（穴水町、中 1、女）
- 地震のえいきょうでまだ、もとの生活にもどれてない人を助けたい。（穴水町、中 1、男）
- 地震はもう二度と来てほしくないと思いました。だけどもし 2 回目がきたら震さい後の被災者を助けたいです。（穴水町、中 1、男）
- 自分も能登半島地震を体験して 1～2 ヶ月ほど避難所生活をしていたときに県外からたくさん物資を持って来てくれたり、家の水や電気もつけてもらったりしてたくさんの応援メッセージももらった分、部活や勉強で恩返しするし次は自分がしってもらったことをする側として助ける人になりたいと思いました。（穴水町、高 1、女）
- まだ、いつくるか分からなくてまだ安心できません。これは、みんないっしょだと思います。できれば私も手伝いたいと思っています。（能登町、小 6、女）
- 能登半島地震でこまっているけどぼくにやることがない。（能登町、小 6、男）
- 自分も困っているし、大変だったから、今も、困っている人が、いるだろうし、たすけたいが自分にできることはかぎられていると思った。だけど、わじまの方はより、ひがいが大きいし、まだ対処がされていないままだから、それを知るだけでも、こうけんになるなら、できる限りのことがしたい。（能登町、中 1、女）
- 他の県などでこのような地震があったら少しでもしえんしたいなと思った。（能登町、中 1、男）
- 能登半島地震がおこってさいしょのころは水やでんきなどがない生活をおくている人たちがすごくいっぱいでつらいだろうなとおもいました。ちいきの子だちと仮設住宅をほうもんしてちいきの人をはげましてあげたいです。（能登町、中 1、女）
- 石川のじばんがどうなっているか知りたい。（能登町、中 2、男）
- 何かをしたいと思っているけど子どもにできることが少ないと感じました。（能登町、高 1、女）
- 今自分にできることをする。（能登町、高 1、女）
- みんなを元気づけたい。（珠洲市、小 4、男）
- すず市ぜんたいのかんきょうを見ると、とても、ふしぎに思うことがあります。それは、自分たちは、できることは少しあります。なのに、なぜそのことをいえないのかできないのかです。そして、小さな行事でもいいのでみんなで協力してやりたいです。（珠洲市、小 5、女）
- みんなに何をすればいいのか。（珠洲市、小 5、女）
- もっと自分なりに町にふっこうイベントなどをしたい。（珠洲市、小 5、男）
- 子どもたちは、なにをすればいいんですか。（珠洲市、小 5、女）
- 地しんじたい、もうおきないでほしい　ふっこうに向けて、がんばりたい。（珠洲市、小 5、男）
- 町をふっこうしていきたい。（珠洲市、小 5、男）
- このような本当にこわい大地震があって、ぼくはすごく変われたと思います。そして、この珠洲市をもっと大切にして行きたいです。（珠洲市、小 6、男）
- ぼくはじしんがこないほうがいいと思うけどじしんがまたきたりほかのちいきにあったらそのきょうふをおぼえてば金をしたりやくにたてれるようになりたいです。（珠洲市、小 6、男）
- 自然災害は仕方ないことだけど大変なことということがあらためてわかった。みんなと協力して復興したい。（珠洲市、小 6、女）
- 地震によって転校した友達と会いたい。（珠洲市、小 6、男）
- 復興をはやくするには、ぼくたち子どもも、片付けをすればいいんですか。←考えていること。（珠洲市、小　6、男）
- 今までと全く同じ環境にもどすことはできないけど、自分にできる復興につながることをやっていきたいです。（珠洲市、中 1、女）
- 大切な人が居なくなる前に、今を大切にすごす。（珠洲市、中 1、女）
- もうこんな大きな地震きてほしくないなっ思います。早く復興できるように自分もできることやりたいです。（珠洲市、中 2、女）
- 大変なこともあったがこの反動を利用して更に力を延ばしていきたい。（珠洲市、中 2、男）
- どのようにまわりの人をはげませは良いですか。（珠洲市、中 3、男）
- 一日も早く復興して地域の行事に参加したい。（珠洲市、中 3、女）

- じしんはやさしいものじゃないしんど 7 だけでなにもできなくなるそんなことがわたしたち子どもでもなにかできないかとおもう。（輪島市、小 4、女）
- 自分の気持ちが分かってくれない人がいたから、きょうかんできる人と、合えたらいいなと思う。（輪島市、小 4、女）
- 能登半島じしんで人々が電気などが使えなくなってしまったのでわたしもしえんしようと考えています。（輪島市、小 5、女）
- 復興計画の順序（どういうことがゆうせんされているか）が、ちょっと知りたいです。（輪島市、小 5、女）
- 能登半島地震を通して、自えい隊さんにとても優しくしてもらってうれしかったです。バスケ用品とかのぶっしもたくさんきてありがたかったし、練習場所がないのにつくってくれたり、人の優しさもたく山くれました。私も他のちいきがじしんとかきたらたくさんしえんしてあげる側になれるようにしたいです。（輪島市、小 6、女）
- 輪島の人の笑顔をあまりみないので、輪島の人を笑顔にしていきたいです。（輪島市、小 6、女）
- また、あれみたいなじしんがきたら、家がつぶれるかもしれないから、金沢とか、安全なとこに行きたい。でも、転校はいやだから、高校くらいになったら、行きたい。（輪島市、中 1、男）
- 自分のところも大変だったけどまわりの人にできることがあったら手伝ったりしたい。（輪島市、中 1、男）
- 自分の物が地震で汚れてしまってすてなきゃだめなのがかなしいです。復興するために子供たちが何をすれば助けになるのか考えています。きれいなお家に住みたいです。（輪島市、中 1、女）
- 地震が起きて、自分たちのまちを見て、泣いてしまった。私だけではなく、他の方たちもつらいと感じる。クヨクヨしてる場合じゃない！自分のできることをしないといけない！（輪島市、中 1、女）
- 地震は本当にこわいなと思ったし、ほかの県とかが地震でこまっていたら私もできることをしてあげたいなと思いました。（輪島市、中 1、女）
- みんなに伝えたい。（輪島市、中 2、女）
- 今までにも東北地方太平洋沖地震や熊本地震が起きているので能登半島地震も語りつぎたい。（輪島市、中 2、男）
- 能登では復興がとても遅れているので大人たちと話して少しでも手伝いできたらいいと考えています。（輪島市、中 2、男）
- 色々な方に助けてもらっているから、自分達も助けてあげたい。（輪島市、中 3、女）
- やりたいことはあるが大人に規制されてできない。（輪島市、高 3、男）
- 地震の怖さを後世にも伝えていきたい。（石川県、高 1、男）
- お正月の日に起きた出来事だったので亡くなった方々はショックであり、生き延びた人も生き延びたで家族を誰かうしなっているかもしれない、そのような中で今、生きている人たちで何とかしないといけない、"復興"について何か考えなければならないという気持ちでいっぱいです。まず、自分たちができることをして少しでも能登の人に協力したいと思います。（石川県、高 2、女）
- 自分の住んでいる地区は被害が少なく、復興も早かったので、被害の大きかった地区は現状どうなっているのか、どのような支援が必要か知りたい。また、地震が再度起こる可能性があれば知りたい。（石川県、高 2、女）
- 地震からもう、半年も経ったなんて信じられません。地震があったことも忘れてしまうくらいいつも通りの生活が私には戻っています。しかし、少し、外に出た時などまだ、片付けられていない崩れた家、色な物が崩れている神社を見るとあの日の事を思い出します。私は実家に帰っていたのでそれ程の被害は受けませんでしたが、学校に行けない日々が続き心配になった時もありました。しかし、今はもうほとんどいつも通りのように学校に行けています。これは沢山の人の協力のおかげだと思っています。今もまだ普通の生活を出来ていない人残念ながらもう戻らない人のために何か出来る事はないか深したいと思いました。（石川県、高 2、その他）
- 地震後、自分は特に被害がなかったので、すぐにボランティアに参加したかった。でも、どうすれば参加できるのか分からなかった。（石川県、高 2、女）
- 被災のあるところがたくさんあるので、ボランティアとして、手伝ってあげたい。（石川県、高 2、女）
- ボランティアに参加したい。（石川県、高 3、女）
- まだ、仮設住宅で生活をしている人がいるのでその人達に少しでも元気づけれればと考えています。（石川県、高 3、男）

- 全国各地から支援してくださる人がいることに感動しました。ひさいちの人たちもみんな必死に協力して生きていることをニュースでみて、自分にできることを考えるきっかけにもなりました。練習もなかなかできなかったけど、インターハイに出ることができました。結果で恩返しできるようにがんばります。（石川県、高 3、女）
- 大阪府は地震がそんなに強くなくて、被害もそんなに出なかったからこそ、被害が出だ地域のみなさんに、できることをやってあげたい。（石川県外、小 6、女）
- たくさんの方が地震のせいで亡くなってしまったから、みんなに地震はどれだけ大変かを伝えることをしていきたい。（石川県外、中 1、女）

●その他

- とくにありません。理由は、とくに被害がなかったからです。（七尾市、小 4、女）
- 分からないからです。（七尾市、小 4、男）
- 分からないです。（七尾市、小 4、男）
- 全国の皆さんが思っている事。（七尾市、中 1、女）
- 特にない。（話す必要がない）（七尾市、高 1、女）
- 家族や友人などの存在が大きかった。（七尾市、高 3、女）
- 気づかせてもらうことができた。（七尾市、高 3、女）
- みんなが楽しく元気に遊ためにはどんなことをしているか。（穴水町、小 4、男）
- ない　わけ　なれたから。（穴水町、小 5、男）
- わからない。（穴水町、小 5、男）
- SNS などで、こんな地域にお金を使わないほうがいいといったコメントがあったという親の話を聞いて傷ついた。（穴水町、中 3、男）
- ない　特にはなすことがないから。（穴水町、中 3、女）
- いややなあー。（能登町、小 6、男）
- すこし話したから(友達やおやの人)（能登町、小 6、女）
- わからない。（能登町、小 6、無回答）
- 特に話したくない。（能登町、小 6、男）
- あまりない。（能登町、中 1、男）
- すごいな、、、。（能登町、中 1、女）
- 特にないです。頑張って下さい。（能登町、中 1、女）
- 別にあんまり感じないから特になし。（能登町、中　1、女）
- もう大丈夫。（能登町、中 2、男）
- 生きていただけで良かったのに、ひがいをもっと大きくしようと（一部損かいなのに半かいにしようとする）したり自分がいちばんひがいがあると思い込んでいるじじばばがめっちゃウザイ。（能登町、中 3、女）
- 特にありません。能登半島地震でとてもつらいたいけんをしました。だけどいまはみんな手をとりあって協力しあっています。だから私は特に感じていることはありません。（能登町、中 3、女）
- 特にないです。みんな協力しているから特にありません。（能登町、中 3、男）
- ニュースなどはもう地震について触れていなくて、忘れられている気がする。毎月 1 日にのみ話題にあがって、いつも同じことを言っている。もうすでに頑張っている人たちの方がたくさんいるのに頑張ればかりいわれるのは嫌。（能登町、高 1、女）
- わからない。（能登町、高 1、男）
- 被害額。（能登町、高 1、男）
- 考えていること感じていることはないです。（珠洲市、小 5、女）
- しぜんがいっぱいあることはいいことだけれど、しぜんをいかすことができてない。（珠洲市、小 6、女）
- 将来の不安。（珠洲市、高 2、女）
- 分からない。（珠洲市、高 2、女）
- 特にない　わからない。（輪島市、小 5、男）
- 特にない。分からないから。（輪島市、小 6、女）
- 悲しい。（輪島市、小 6、女）
- 自分がこれを乗りこえた先には何があるのか。（輪島市、中 1、男）
- 自分がこんなにも無力だということがわかった。（輪島市、中 1、男）
- 特にない　表に○つけた。（輪島市、中 2、男）
- 特に話したくない。（輪島市、中 2、男）
- つかれた。（輪島市、中 3、男）
- つかれたから。（輪島市、中 3、男）
- ないです。特に感じていることや考えていることあまり思いおもいつかないから。（輪島市、中 3、男）
- 自分一人で感じていても何かが変わるわけでもないし変えようと思っても能登半島地震に対してあまりにも無力だから。（輪島市、中 3、男）
- 地震は人の運命かえる。（輪島市、中 3、男）

- 地震を経て衰退しただけでなく人としてどこか成長した気がする。（輪島市、高 2、男）
- 特にない　慣れてしまったことや話すことに飽きてしまったから。（輪島市、高 2、男）

※その他、「特にない」などの回答が 458 件あった。

- 今は特にないです。（石川県、高 1、女）
- わからない。（石川県、高 2、男）
- あまりない。（石川県、高 3、男）

5. このアンケートの感想や、セーブ・ザ・チルドレンに伝えたいことがあれば教えてください。

自由記述は 932 件。アンケートについて、子どもの意見が聴かれたこと、思いを伝えられたこと、考えを整理できたことなどに対して好意的な感想が多くあった。また、自分たちの考えを政府や社会に広く届けてほしいという期待と願い、自分も何か行動したいといった声も複数あった。一方、一部の子どもたちは内容が難しかったことや、地震の記憶を思い出すことのつらさを述べており、子どもによって声を聴くタイミングや方法は考慮しなければならないことが分かる[6]。他に、復興や支援に対する要望なども寄せられた。

●アンケートの感想

- とても相だんしやすかったです！（七尾市、小 4、女）
- ふり反ってみればこんなことがあったなと思ったので思いださせてくれてありがとうございました。（七尾市、小 4、男）
- このアンケートは私には伝えやすく書きやすかったです。（七尾市、小 5、女）
- 地震がおきたとき、みんなはどうするか、どのようにこうどうするのかが、すごくわかるあんけーとでした。（七尾市、小 5、男）
- 伝えることはないです。アンケートありがとうございます。（七尾市、小 5、女）
- 普段なかなかきいてくれない子供のことを聞いてくれて、ありがとうございます。（七尾市、小 5、女）
- 考えを整理させてくれる、言いたいことを書かせてくれる機会を作ってくださりありがとうございます。嬉しいです。（七尾市、小 6、女）
- 地震の恐怖が少し消えてよかったです。（七尾市、小 6、女）
- 自分の思いを整理できた。（七尾市、中 1、女）
- 素直に答えられて良かった。（七尾市、中 1、女）
- このような場を提供してくださり、ありがとうございます！自分のいつも思っていたことが言えて、本当にうれしいです。本当にありがとうございます。（七尾市、中 2、女）
- 子供でも意見を言えるのが嬉しかった。（七尾市、中 2、女）
- いろいろなことを考えれてよかった。（七尾市、高 1、男）
- 色んな人に意見を聞くのは、いいことだと思った。（七尾市、高 1、男）
- 震災して大変だったときを考えれたのでよかったです。（七尾市、高 2、男）
- 政府に声を届けることができるアンケートはなかなかないと思うからこういうアンケートはすごくいいと思った。（七尾市、高 2、男）
- 地震について伝えられるいい機会だと思います。（七尾市、高 2、女）
- 改めて地震のことを思い返した。（七尾市、高 3、女）
- 現実的。（七尾市、高 3、女）
- 伝えられるところを設けてくださりありがとうございます。（七尾市、高 3、女）
- アンケートがあってよりよい生活ができようです。（穴水町、小 4、男）
- このアンケートは大切たと思った。（穴水町、小 4、男）
- 分かりやすいしつもんでした。（穴水町、小 4、女）
- 自分が思っていることを伝えれてよかった。（穴水町、小 5、男）
- アンケートのおかげで少し元気が出ました。ありがとうございます。（穴水町、小 6、女）
- アンケートをとらせてくれてありがとうございます。（穴水町、小 6、女）
- アンケートを作ってくれてありがとうございます。（穴水町、小 6、女）
- いがいと、言いたいこととかなかった。（穴水町、小 6、女）

6 本アンケートは答えたくない子どもが回答しなくても済むよう、すべて任意とし、協力先にもその旨を周知した。

- いろんなところに考えていることなどが届いてすごい紙だなと思いました。（穴水町、小 6、女）
- こころのはげみになった。（穴水町、小 6、男）
- このアンケートをとってくださりありがとうございました。（穴水町、小 6、女）
- このようなアンケートを送ってくださりありがとうございます。思いが書けてよかったです。（穴水町、小 6、女）
- 気持ちを書くことができました。これからもがんばってください。（穴水町、小 6、男）
- 自分の素直な気持ちを書けました。（穴水町、小 6、女）
- あまり地震のことで伝えたりしたいことはないことが多い気がします。（穴水町、中 1、女）
- このアンケートで、普段言いにくいことを、伝えられてスッキリした。（穴水町、中 1、男）
- このようなアンケートをしてくれて、ありがたいなと思います。（穴水町、中 1、女）
- アンケートをとったのははじめてだったので、よくわからないです。（穴水町、中 2、男）
- このアンケートで少しでも日本がいい方向に向かうことを心より願っています。（穴水町、中 3、女）
- このようなアンケートがあるんだなーと思った。（穴水町、中 3、男）
- このようなアンケートはすばらしいと思った。（穴水町、中 3、男）
- この声が届いてほしいです。（穴水町、中 3、女）
- 選択が多くて自分にあっているものがえらびやすかった。（穴水町、中 3、女）
- 地震は過ぎたこと思い出すようなアンケートや質問はやりたくなかった。（穴水町、中 3、男）
- 伝えたいことを書けた。（穴水町、中 3、男）
- 声などを伝えて後世に残すことはいいことだと思った。（穴水町、高 1、男）
- 地震について少しだけど見直す時間ができたと思う。（穴水町、高 2、女）
- このアンケートのおかげで、ちょっと地しんから心がはれた。（能登町、小 4、女）
- こたえるのがむずかしかった。（能登町、小 5、女）
- むずかしかった。（能登町、小 5、女）
- 自分の今の気持ちを正直に伝えられてよかったです。（能登町、小 5、女）
- アンケートを取ってくれてありがとう。（能登町、小 6、無回答）
- このアンケートをして、だいぶ前のことになっていたから、本音を書けてよかったです。（能登町、小 6、女）
- 細かく選たくしがあったので答えやすかったです。（能登町、小 6、女）
- アンケートありがとうございました。（能登町、中 1、女）
- アンケートという形で、取り組んでくれてありがとうございます。（能登町、中 1、女）
- こういったアンケートをじっししてくれてありがたい。（能登町、中 1、女）
- このアンケートで、少しでも、変わるといいなと思いました。（能登町、中 1、女）
- ちゃんと頭を整利できたのでよかったです。アンケートを提きょうしてくれてありがとうございました。（能登町、中 1、女）
- とても良いアンケートでした！（能登町、中 1、男）
- 思っていることをきくことはたいせつだと思。（能登町、中 1、男）
- 色々と難しいことがあったけど、伝えたいことは、特にないです。心配していただきありがとうございました。（能登町、中 1、女）
- 選択使がいくつもあり、選びやすかったです。（能登町、中 1、男）
- 大人などに直接言えないことを紙に書けて、良いと思います。（能登町、中 1、女）
- 能登半島地震について思っていることなどを書けて、気持ちが少し楽になったのでよかったです。（能登町、中 1、男）
- あまり震災についてかんがえていなかったけれどかんがえるようになった。（能登町、中 2、女）
- アンケートありがとうございます。（能登町、中 2、男）
- アンケートが分かりやすかった。（能登町、中 2、男）
- じしんのことをおもいかえした。（能登町、中 2、男）
- 子どもたちの意見をきこうとしていて、とてもよいと思った。（能登町、中 2、男）
- 特にしたいことはなかったが、気持ちの整理ができた。（能登町、中 2、女）
- しっかり震災のことについての思いをかけたのでよかったです。これからも、復興がんばりたいです。（能登町、中 3、男）

- 自分の本心を書きやすいアンケートだと思いました。（能登町、中 3、女）
- いいと思う。（能登町、高 1、男）
- 改めて能登半島地震について考えれた。（能登町、高 1、女）
- 震災から時間がたって細かいことなどは、忘れてしまった。（能登町、高 1、男）
- 地震についての自分の思いを書くことができたから良かった。（能登町、高 1、女）
- 地震についてまた考えることができてよかった。もっといろんな人に届いてほしい。（能登町、高 1、女）
- 地震のことを忘れてきている人もいるからこれでおもいだしてほしい。（能登町、高 2、男）
- 様々なこと（地震のこと）を知ろうとしてくれる方々が多くいて嬉しいです。（能登町、高 2、女）
- あの時のことを思い出すと涙が出てしまうけど、あまり他の人に言えなかったことを吐き出せてよかったです。（能登町、高 3、女）
- このような機会をくださりありがとうございます。（能登町、高 3、男）
- アンケートをかいてしえんしてくれた人や親、ちいきの人には、かききれないくらいかんしゃのきもちがありました。（珠洲市、小 4、女）
- このアンケートで、きもちがつたわったと思いました。（珠洲市、小 4、男）
- 感想は、自分が思っている事をいえたので（書けた）のでよかった。（珠洲市、小 4、女）
- 地しんのことについてあまり答えたくなかった。（珠洲市、小 4、男）
- 内ようが、少しむずかしかった。（珠洲市、小 4、女）
- 1 人 1 人のいしがそんちょうされるいいアンケートだなと思いました。（珠洲市、小 5、男）
- あらためて、見て、いろんなことが分かった。（珠洲市、小 5、男）
- アンケートをとってくださりありがとうございます。（珠洲市、小 5、女）
- 自分が思っていることを、かんたんに言えないので、書いて伝えるしかなかったのでいいきかいでは、ありがとうございます。（珠洲市、小 5、女）
- 自分の気持ちや目標見つめ直すいい機会となってよかった。（珠洲市、小 5、女）
- 自分の話したいことを書けました。（珠洲市、小 5、女）
- 心がスッキリした。珠洲市にきてください。（珠洲市、小 5、女）
- 地しんでこまっていたことをはなせたのでよかったです。（珠洲市、小 5、男）
- アンケートをしてすこし心が明くなったのでしてよかったと思いました。（珠洲市、小 6、女）
- いいたいことや、考えをいえたのでとてもよかったです。（珠洲市、小 6、男）
- こわかったことを今このアンケートにかけたのでちょっとすっきりしました。（珠洲市、小 6、男）
- 感想　わかりやすくアンケートをとれるように書いていたのでとても書きやすかったです。（珠洲市、小 6、男）
- 困っていたことを書くことができて良かった。（珠洲市、小 6、男）
- 私がいままでだれかにつたえたいのにつたえられなかったのでアンケートありがとうございます。（珠洲市、小 6、女）
- 自分たちによりそってくれるアンケートやとりくみがあって、うれしいと思いました。（珠洲市、小 6、男）
- 自分の気持ちをいえたと思います。（珠洲市、小 6、男）
- 自分の中でも、何を考えているか、そして、自分の思っていることが、頭の中で、整理できたので良かったです。（珠洲市、小 6、男）
- 地震のことをあまり話せなかったけど、このアンケートで話せてよかったです。（珠洲市、小 6、女）
- こういうアンケートがあるおかげで自分達の思いがいろんな大人へ伝わるんだとうれしく思っています。（珠洲市、中 1、女）
- このようなアンケートをしてくださりありがとうございます。（珠洲市、中 1、女）
- みんな思いが聞けて良いと思う。（珠洲市、中 1、女）
- 自分が思っていることをかけてよかった。（珠洲市、中 1、女）
- あらためて自分が思っていることを知ることができた。（珠洲市、中 2、女）
- アンケートで自分の思っていることを他の人に伝えることができるので良かったと思います。（珠洲市、中 2、女）
- こんなアンケートをあまりしたことがあんまりなかったので、自分の感じていることをみなおすきっかけになりました。（珠洲市、中 2、女）
- 自分の思いが伝えられたので良かったです。（珠洲市、中 2、男）
- 復興について考えることができた。（珠洲市、中 2、女）

- このような機会をもうけてくださりありがとうございます！！（珠洲市、中 3、男）
- アンケートで自分の思っている事を聞いてくれてありがとう。（輪島市、小 4、男）
- アンケートをとってくれて本当にありがとうございます。（輪島市、小 4、女）
- このアンケートに答えられないところがありましたが、すみません。（輪島市、小 4、女）
- 自分の気もちをすなおにかけてよかったです。（輪島市、小 4、女）
- 日本政府、社会にとどけてくれるのがすごく助かります。（輪島市、小 4、女）
- いろいろわからなくてごめんなさい・・・。（輪島市、小 5、女）
- しっかり伝えられることができたのでありがとうございました。（輪島市、小 5、女）
- 自分の気もちをかけてよかった。（輪島市、小 5、女）
- 知りたいことを書くと、すっきりした気分になりました。このアンケートに書くことができてうれしかったです。（輪島市、小 5、女）
- かんそうは、いろんな人につたわるんや！と思って少し安心しました！！みなさん本当にありがとうございます。（輪島市、小 6、女）
- こういうアンケートをとってくれることに感謝します。こういうのがあるので、心がやわらぎます。本当にありがとう。（輪島市、小 6、男）
- こうゆうアンケートは大事だと思います。（輪島市、小 6、男）
- このアンケートをしてくれてありがとうございました。（輪島市、小 6、男）
- このアンケートをつくっていただき、ありがとうございます。このアンケートのおかげで、少し、心がいやされました。（輪島市、小 6、女）
- このアンケートを作っていただきありがとうございます。おかげていいたいことをすべて話せました。（輪島市、小 6、女）
- このようなアンケートをしてくれて本当にうれしいです。ぜひみんなにこのことを伝えてほしいです。（輪島市、小 6、男）
- とてもわかりやすかったです。（輪島市、小 6、男）
- 意見をきいてくださり、ありがとうございました。（輪島市、小 6、女）
- 意見を聞いてくださりありがとうございます。（輪島市、小 6、男）
- 意見を聞いてくれて、ありがとうございました。（輪島市、小 6、女）
- 意見を聞いてくれてありがとうございました。（輪島市、小 6、男）
- 思っていることを伝えられたのでいいと思いました。（輪島市、小 6、女）
- 私の意見を聞いてくださりありがとうございました。これからもがんばってください。（輪島市、小 6、女）
- 私達のためにこのようなアンケートをとっていただきありがとうございます。（輪島市、小 6、女）
- 大人に相談できないことも伝えられてよかったです。（輪島市、小 6、女）
- 伝えてほしいことなどがたくさんあったから、うれしかったです。（輪島市、小 6、女）
- 本当の気もちがここにかけたのでとても感しゃしています。ありがとう。（輪島市、小 6、女）
- アンケートをとってくれてありがとうございます。ぜひ、支援おねがいします。（輪島市、中 1、男）
- いいたいことが言えてよかった。（輪島市、中 1、男）
- こうゆう感じのアンケートはあまりしないのでこうゆう感じのアンケートができてよかったなと思いました。（輪島市、中 1、女）
- このアンケートのおかげで、伝えたい人などに伝えれるし、こんなきかいはめったにないので、ありがたいと思いました。（輪島市、中 1、女）
- このアンケートのおかげで書きたいことも書けたので感謝です。（輪島市、中 1、女）
- このアンケートは今の僕たちにはとてもうれしいアンケートでした。（輪島市、中 1、男）
- このきかいを作っていただきありがとうございます。本当にありがとうございます。（輪島市、中 1、女）
- このような子供が意見の言えるアンケートはすばらしいと感じました。（輪島市、中 1、男）
- このような紙にかいてみんなに少しでもじしんについて知ってくれたらいいなと思った。（輪島市、中 1、男）
- ちょっとでも話す機会があって良いなと思いました！（輪島市、中 1、女）
- とても助かります。（輪島市、中 1、男）
- まじで声をとどけてくれてありがとうございます。（輪島市、中 1、女）

- 意見を伝える機会をつくってくれてありがとうございました。（輪島市、中 1、男）
- 意見を聞いてくれてありがとうございます。（輪島市、中 1、女）
- 子どもたちのためにアンケート作ってくれてありがとうございます。（輪島市、中 1、男）
- 自分たちの声をきいていただきありがとうございます。（輪島市、中 1、男）
- 自分のいけんが、すなおにかけたりできたからよかったです。（輪島市、中 1、女）
- 自分のこととしっかり向きあえてよかったです。（輪島市、中 1、女）
- 伝えたい気持ちが書けた気がする。（輪島市、中 1、男）
- 話をきいてくれてありがとう。（輪島市、中 1、男）
- アンケートありがとうございます。（輪島市、中 2、男）
- アンケートは、ちょっと文がながくてむずかしかった、けど答えれた。（輪島市、中 2、女）
- アンケートを通して、私達のことを聞いてくれてありがとう。（輪島市、中 2、女）
- えらい人に言う機会はあまりないから言えてよかった。（輪島市、中 2、女）
- こいう伝える機会があるのは、ありがたい。（輪島市、中 2、男）
- とどきにくい子供の声を聞いてくださりありがとうございます。（輪島市、中 2、女）
- 困っている人の助けになっていると思います。（輪島市、中 2、女）
- 選択しが多くて選びやすかった。（輪島市、中 2、男）
- 素直に気持ちがつたえられるのでいいと思う。（輪島市、中 2、女）
- 地震についてあんまり考えたことがなかった。（輪島市、中 2、女）
- アンケートを答えるたびにそのことを思い出してしまうので少しやめてほしい。せっかく忘れてきているところだから。（輪島市、中 3、女）
- いい活動だと思った。（輪島市、中 3、男）
- よかった。（輪島市、中 3、男）
- 意見を聞いてくれてありがとうございました。（輪島市、中 3、女）
- 一人の意見を聞いてくれるか不安です。（輪島市、中 3、男）
- 子供の意見が聞かれることはなかなか無いので、ありがたいです。（輪島市、中 3、女）
- 思っていることを伝える機会が中々なかったので、ありがたい。（輪島市、中 3、男）
- 地震をきっかけに考えることができてよかった。（輪島市、中 3、女）
- 良いと思う。（輪島市、中 3、女）
- 良いと思った。（輪島市、中 3、無回答）
- このアンケートがなるべく今後の小中学生のためになってくれるならとても嬉しくいいアンケートだなと思います。（輪島市、高 1、男）
- 最後に思っていたことが言えてよかった。（輪島市、高 1、女）
- このアンケートでまたもう一度地震について考えられた気がする。（輪島市、高 3、女）
- 自分の意見を伝える機会を与えてくれて感謝しています。本当にありがとうございます。（輪島市、高 3、女）
- このアンケートで、本当に何か変わるんですか？（石川県、高 1、女）
- このアンケートはいいと思います。（石川県、高 1、男）
- このようなアンケートを作っていただきありがとうございます。このアンケートが役に立つかわかりませんが自分の考えを伝えられて嬉しいです。（石川県、高 1、女）
- とても良いアンケートだと思った。（石川県、高 1、男）
- 改めて地震について考えることができてよかったです。（石川県、高 1、女）
- 能登半島地震についてもう一度よく考えることができたのでよかったです。（石川県、高 1、女）
- 聞いてくれてありがとうございました!よろしくお願いします！（石川県、高 1、女）
- いい取組だと思う。（石川県、高 2、男）
- 震災について振り返えることができて良かったです。（石川県、高 2、男）
- 地震について考える時間ができて、今後も気をつけていきたいと思った。（石川県、高 2、女）
- このアンケートを通して自分の意見を言える人もいると思うので、とても良い取り組みだと思いました。（石川県、高 3、女）
- 子どもたちの為にこのようなアンケートを行って被災した時の思いを県や政府に届けることはとてもいい活動だと思います。（石川県、高 3、女）

- 自分たちの考えを日本の政府や社会に伝えられる機会がもらえて良かったと思う。（石川県、高 3、男）

●セーブ・ザ・チルドレンに伝えたいこと

- いろいろな人をたすけてくれてありがとうございます。（七尾市、小 4、女）
- たすけたり、遊ぶことを考えてくれてありがとうございました。（七尾市、小 4、女）
- ありがとうございました。（七尾市、小 5、女）
- ありがとうございます。（七尾市、小 5、女）
- ありがとうございます。（七尾市、小 5、男）
- このアンケートの回答期間が短いと思う。兄や妹の高校、小学校では配られておらず、私の中学校で配られていなかったら、このアンケートを知ることもなかったと思う。形だけやって、実績を作ろうとしていることが見え見え。本当に被災地の子供の声を届けたいのなら、もっと広範に案内を配るべきだと思う。（七尾市、中 3、女）
- セーブ・ザ・チルドレンとはなんですか?（七尾市、高 1、男）
- 頑張ってほしいです。（七尾市、高 1、男）
- 地震で遊ぶ場がないときにおもちゃやみさんがをつくってくれてありがとうございました！！！（七尾市、高 1、女）
- これからもがんばってください。（七尾市、高 2、男）
- どうせなら高校にも依頼してよ。書いてる時点では高校から連絡されてません。（七尾市、高 2、男）
- お互い頑張りましょう。（七尾市、高 3、男）
- がんばってください。（穴水町、小 4、女）
- セーブ・ザ・チルドレンのかたもがんばってください。（穴水町、小 4、男）
- ふっこうの手伝いをしてくれて本当にありがとうございます。（穴水町、小 4、男）
- 自分ができないことをしてくれてありがとうございます。（穴水町、小 4、男）
- 他の県で地震とかがおこったらすぐにそこに行ってね。（穴水町、小 4、男）
- いろんな食べ物をくれてありがとうございました。（穴水町、小 6、男）
- お仕事がんばってください。（穴水町、小 6、男）
- ご飯おいしかったです。（穴水町、小 6、女）
- ご飯をくれてうれしかったです。（穴水町、小 6、男）
- ご飯を食べさせてくれてありがとうございます。（穴水町、小 6、男）
- たくさんのことが分かりました。（石川県外、中 1、女）
- とてもいい。（石川県外、高 1、男）
- とくにないけれど、がんばってください。（穴水町、小 6、女）
- ぼくたちのために、ありがとうございます。（穴水町、小 6、男）
- 子どもに権利をくれてありがとう。（穴水町、小 6、男）
- 僕たちのために、色んな支援をありがとうございました。（穴水町、小 6、男）
- ありがとうございます。（穴水町、中 1、女）
- 支援をしてくれてありがとうございます。（穴水町、中 1、男）
- 私は、あまりあなたがたのことを存じあげないのですが、愛のある行いはつらい時もあると思いますが、救われた方々はあなたがたのことを愛していると思います。（穴水町、中 3、女）
- 早く元の能登に戻るようがんばってください。（穴水町、高 2、男）
- たくさんの支援ありがとうございました。（能登町、小 4、女）
- ぶっしをたくさんもらえて、うれしかったです。ありがとうございます。（能登町、小 4、女）
- いっぱい支援をしてくれてありがとうございます。（能登町、小 5、男）
- もし 4、のがかなうことがあったら、セーブ・ザ・チルドレンをした意みは、あったのではないかと思いました。（能登町、小 5、女）
- 前に、いぬのぬいぐるみや、おもちゃや、ひさいした時にやくだつものをくれてありがとうございました。（能登町、小 6、女）
- 能登半島地震でたいへんだけとしんぱいしてくれてありがとうございます。（能登町、小 6、男）
- いろいろな支えんをしていただきありがとうございました。（能登町、中 1、男）
- セーブ・ザ・チルドレンさんしえんしてくださり本当にありがとうございました。（能登町、中 1、女）
- たくさんしえんしていただき本当にありがとうございます！（能登町、中 1、女）
- ありがとうございました。（能登町、中 2、男）
- ありがとうございます。（能登町、中 2、男）

- いろいろありがとうございました。（能登町、中 2、男）
- がんばってください。だれなんですか。何をしている団体ですか。（能登町、中 2、女）
- たくさんの支援ありがとうございました。（能登町、中 2、男）
- 支えんをしてくれてありがとうございます。（能登町、中 2、女）
- 能登半島を気にかけてくれてありがとうございます。（能登町、中 2、男）
- ありがとうございます。（能登町、中 3、男）
- お前ら、誰だよ。（能登町、中 3、男）
- 本当に総理にメッセージが届きますか？（能登町、中 3、女）
- ありがとう！（能登町、高 1、男）
- ありがとうございました。（能登町、高 1、男）
- ありがとうございます。（能登町、高 1、男）
- がんばってください。（能登町、高 2、男）
- 思ったよりやりたいことできてるので心配しなくて大丈夫です。（能登町、高 2、女）
- こんごどのようなかつどうをするのですか。（珠洲市、小 5、男）
- 復こうのためにがんばってください。（珠洲市、小 5、女）
- いろいろと支援してくださり、ありがとうございます！（珠洲市、小 6、女）
- また、学校に遊びに来てほしいです。（珠洲市、小 6、女）
- 珠洲市の復興のためによろしくお願いします。（珠洲市、小 6、男）
- 大丈夫です。（珠洲市、中 1、男）
- ありがとうございます。（珠洲市、中 2、女）
- この場をもうけて下さり、ありがとうございました。（珠洲市、中 3、女）
- 私達のことをきづかってくださりありがとうございます。（珠洲市、中 3、その他）
- いろいろ学校でつかえるものをくれてありがとうございます。（輪島市、小 4、男）
- いろんな、ぶっしを、くれてありがとうございます。（輪島市、小 4、男）
- このようなきかいをくれてありがとうございます。（輪島市、小 4、男）
- ごはんや水をもってきてくれてありがとうございます。（輪島市、小 4、女）
- ぶっしをたくさんくださってありがとう。（輪島市、小 4、女）
- 学校に必要な物をとどけてくれてありがとうございます。（輪島市、小 4、男）
- 学校や家でつかえる物をくださり、ありがとうございます。！（輪島市、小 4、女）
- いろいろなものをくれてうれしかった。（輪島市、小 5、女）
- がんばってください。（輪島市、小 5、男）
- しえんしていただきありがとうございます。気持ちがかるくなりました！（輪島市、小 5、女）
- ありがとうございました。（輪島市、小 6、女）
- ありがとうございます！（輪島市、小 6、女）
- ありがとう。（輪島市、中 1、無回答）
- ありがとうございました。頑張ってください。（輪島市、中 1、男）
- ありがとうございます。（輪島市、中 1、男）
- ありがとうございます。これからもがんばってください。（輪島市、中 1、女）
- アンケートや支援してくださいありがとうございます。（輪島市、中 1、男）
- がんばっていろいろな場所に支援してあげてくださいね。（輪島市、中 1、女）
- こういう取り組みをしてくれてありがたいなと思いました。（輪島市、中 1、男）
- してくればかんしゃします。（輪島市、中 1、男）
- ドーナツほしいです。セーブ・ザ・チルドレンの方がんばってください。（輪島市、中 1、女）
- 子どもの権利や、能登の復興のために支援してくださりありがとうございます。（輪島市、中 1、女）
- 多くのしえんをありがとうございました。すこし気持ちがらくになりました。（輪島市、中 1、その他）
- 地震がおきても元気だから、大丈夫です。（輪島市、中 1、女）
- 僕たちに全国に伝える機会を作ってくれてありがとうございます。これからも頑張ってください。（輪島市、中 1、男）
- 本当にありがとうございます。（輪島市、中 1、男）
- ありがとう。（輪島市、中 2、男）
- ありがとう。（輪島市、中 2、男）
- ありがとうございます。（輪島市、中 2、女）
- いつもご苦労様です。（輪島市、中 2、男）
- いろいろとありがとうございます。（輪島市、中 2、女）
- ありがとうございました。（輪島市、中 3、女）

- ありがとうございます。（輪島市、中 3、女）
- ありがとうございまた。（輪島市、中 3、男）
- これからもがんばってください！！（輪島市、中 3、女）
- これからもがんばってください。（輪島市、中 3、女）
- セーブ・ザ・チルドレンはとても良い団体ですね、これからも世界中の子どもたちのために、がんばってください！（輪島市、中 3、男）
- 頑張ってほしい。（輪島市、中 3、男）
- 感謝。（輪島市、高 2、男）
- お疲れ様です。助けになっていると思います。（輪島市、高 3、男）
- がんばってください！（石川県、高 2、男）
- セーブザ・チルドレンって何ですか?（石川県外、高 1、男）

●地震/復興/支援について

- もう二度とおきないでほしい。（七尾市、小 6、男）
- 地震が怖かった。（七尾市、高 1、女）
- 地震は怖い。（七尾市、高 3、男）
- 地震大変でした。（七尾市、高 3、男）
- 復興するために、何をしたらいいのか分からなくて困ってます。（七尾市、高 3、女）
- じしんがおきてからどんなすごしかたをしていたか。（穴水町、小 4、男）
- はやく町がもとどうりになってほしい。（穴水町、小 6、男）
- 水と電気の大切さ。（穴水町、小 6、男）
- 1 人 1 人が助け合っている気持ちがすばらしいと思いました。（穴水町、中 1、男）
- 地震がいつ起こるかどこでおこるか分からないままにこわいです。でも地震のふっこうで早く治ってほしいです。（穴水町、中 1、男）
- まだ安心できていない人が多いと思います。（能登町、小 6、女）
- じしんでこまっていることは、とくにありません。（能登町、中 1、女）
- 地震について苦んだりしてるのは子供だけじゃないということ。（能登町、中 2、女）
- 能登半島地震が来て、苦しい生活になっていますが、無理をしないで、がんばってください。（能登町、中 2、女）
- 能登の復興を祈ります。（能登町、高 3、男）
- 能登半島地震から半年たったけど、皆の笑顔が戻ってきているので少しほっとしました。（珠洲市、中 1、女）
- 能登半島地震はこわかったけど、支援のおかげや、このアンケートのおかげで、すごく町が復興していっていてよかったです。（珠洲市、中 1、女）
- 令和 6 年能登半島地震がおきて、それは、しんこくなもんだいになっているとさいど思いました。（輪島市、小 4、男）
- 地震は大変だと思いました。（輪島市、中 1、女）
- がんばって復興しましょ。（輪島市、中 3、男）
- 家もえちゃった～！（石川県、高 1、女）
- 能登半島地震はひどかったので、みんなで支い合いが大事だと分かりました。（石川県、高 1、男）
- セーブザチルドレンどうすうことですか。能登半島地震ではじはんは少しぬるみました。少しじんはこわかったです。（石川県、高 3、男）
- 地震の不安は消えない。（石川県、高 3、男）
- 地震はすごくたいへんだとおもいました。（石川県、高 3、男）

●今後に向けて/要望

- いろんなアンケートを集めて国に訴え続けて下さい！（七尾市、小 4、男）
- 学校の行事も色々なくなって寂しかった。いろんな支援は嬉しかった。まだ大変な状況のところもあるので、早くなんとかしてあげて欲しいです。（七尾市、小 5、男）
- 2 の(1)-2 の問題をしんけんに取り組んでほしい。（七尾市、小 6、女）
- 児童館が再開された時に、児童館に行こうとしたら、児童館のある建物の中に避難している人なのか、建物の玄関に煙草を吸っているおじさんがいて、こちらをすごく睨んでいた。避難者じゃない人間は入るな、と睨んでいる気がして、避難所じゃなくなるまでは、怖くて近寄れなかった。地震のあと、避難者が多い間は、子どもが邪魔者扱いされたり、大切にされていない気がした。地震でも、大変な時でも、子どもが「いていい」と思える場所にいたい。（七尾市、小 6、女）
- しっかり偉い人が見てくれたらいいなぁと思う。（七尾市、中 2、女）

- 自分が募金したいことが分かった。（七尾市、高 1、女）
- 道をなおしてほしいです。（七尾市、高 1、女）
- グラウンドファンティングにもっと奇付してほしいです。（七尾市、高 2、男）
- このような活動がもっとみんなに伝わると良いと思います。（七尾市、高 2、男）
- たくさんの人につたえてください。（七尾市、高 2、女）
- 地震の怖さと生活の不便さを知らせたい。（七尾市、高 2、女）
- 能登半島地震が忘れられないようにこういう活動を続けてほしい。（七尾市、高 2、女）
- 能登半島地震のような地震がおきるかもしれないため、避難場所などを確認したいと思った。（七尾市、高 2、男）
- 被災した人たちに勇気を与えたい。（七尾市、高 2、男）
- これからも能登の復こうのために元気がほしい。（七尾市、高 3、女）
- つらいことやくるしこと一緒に乗り越えましょう。（七尾市、高 3、女）
- もし、他の地域が被災したら、助けてあげてほしい。（七尾市、高 3、男）
- 今回の地震について他の人につたえてほしいです。（七尾市、高 3、男）
- 自然災害は僕達の力で止める事ができないので普段から備えが大事ですねと伝えたいです。（七尾市、高 3、男）
- 政治家に伝えてほしいです。（七尾市、高 3、男）
- 石川県のためにできることを考えてほしいです。（七尾市、高 3、男）
- 地震の影響で困っている人が 1 人でも多く救われますように。（七尾市、高 3、女）
- こまっている人とかをぼくもたすけたいです。（穴水町、小 4、男）
- ちょっとだけちがう家の人の手伝だいをしようと思ました。（穴水町、小 4、男）
- 地震の大変さを知らない人たちに知ってほしい。（穴水町、小 4、女）
- ゆっくり休む時間がほしい～～。（穴水町、小 5、男）
- このじしんでのひがいや、しんこくさをしっかり分かって、このことをしらない人にも伝えたいです。（穴水町、小 6、女）
- 町が復興できるように支えてほしい。（穴水町、小 6、女）
- ゲーセンを追加してください。（穴水町、中 1、男）
- 私は、穴水町を直すためにできるかぎり手伝いと思いました。（穴水町、中 1、女）
- 図書カードをいっぱいほしいです。（穴水町、中 1、女）
- 日本の安全をねがってがんばりましょう！！（穴水町、中 1、男）
- 町の人の声だけでなくボランティアなどの人たちの声もしっかり聞いてほしい。（穴水町、中 2、男）
- これを機会に町のことをもっと知っていきたい。（穴水町、中 3、男）
- 今の情きょうを知らない人にもっと伝えてください！！（穴水町、中 3、女）
- 自分でもなにかできる事があるか考えようと思った。（穴水町、中 3、男）
- 地震はしっかり対策しないといけない。（穴水町、中 3、男）
- この国の、多くの子どもたちや大人により速い安心をとどけてほしい。（穴水町、無回答、無回答）
- 能登半島地震についてわすれないでほしい。（能登町、小 5、女）
- 町がよりはやく復興されるといいです。（能登町、小 6、女）
- あまりない ・助けてあげてください。（能登町、中 1、男）
- じしんのあとで、国せきのことでさべつがあり、やくしょくでも不平等な事が多くありました。（能登町、その他、その他）
- がんばります！！（能登町、中 2、男）
- このアンケートでいろいろかわったりするのがいい。 このアンケートで子どものいけんもとりいれられればいい。（能登町、中 2、男）
- これからも頑張ります。（能登町、中 2、男）
- もっと子どもの意けんを聞いてほしい。（能登町、中 2、男）
- 建物に住めない人たちは今苦しい思いをさせている人が多くいますが、倒壊した建物は撤去作業をして、新しい建物はいつ作りますか？（能登町、中 2、男）
- 今年の地震で大変だったけど、負けないようにがんばります。（能登町、中 2、女）
- 祭がしたい！！！（能登町、中 2、女）
- 私たちはまだまだ子供ですが少しでも復興に向けできることに協力していきます。（能登町、中 2、女）

- 大人や社会に伝えたいことについて、改めて考えてみたいと思った。（能登町、中 2、女）
- こわから震災のことを語りつぎたいと思った。（能登町、中 3、男）
- 地震などで町が半かいしたりしたがめげづに頑張ろう。（能登町、高 1、男）
- 被災者の声を聞いて動いてくれることを願います。（能登町、高 1、男）
- もっといろんな人に知ってほしい。（能登町、高 2、男）
- 人は過ちをくり返す→このことだけは伝えてほしい。（能登町、高 3、男）
- あらためて、ふっこうのために何かをしたいと思いました。（珠洲市、小 4、女）
- ふっこうに向けて、自分が何をすればいいのか、このアンケートをして、改めて分かった。（珠洲市、小 5、男）
- ボランティアをして、地いきを守っていきたいです。また、今までどおりの生活にもどることについて考えていこうと思います。（珠洲市、小 5、女）
- もっと店とかどうろなおしてください。（珠洲市、小 5、女）
- 1 日でも早く、復旧、復興をしたいです。（珠洲市、小 6、男）
- アンケートを答えてあらためて復興について考えたいです。（珠洲市、小 6、女）
- 大人と話し合うきかいをつくってみたい。（珠洲市、小 6、男）
- 自信を持って心が安らぐ能登にしていきたいです。（珠洲市、中 1、男）
- 被災した子ども全員で遊びたい。（珠洲市、中 1、男）
- あそび場がほしい。（珠洲市、中 2、女）
- クソきしだぜいきんメガネをそうりからおいだせ。（珠洲市、中 2、男）
- もっと何かを伝だいたい。（珠洲市、中 2、女）
- 私は、比較的明るいので地震が来ても明るく生きていられるけど、そうじゃない子もいるからそういう子のサポートをしてあげてほしい。（珠洲市、中 2、女）
- 自分の地域の復興のために何かできることはないかなとあらためて考えさせられました。はやくまた安心して暮らせるようにしていきたいです。（珠洲市、中 2、女）
- いろいろな行事をしてげんきになりたいです。（輪島市、小 4、女）
- これから大変なことがあっても、色んな人と、かかわっていきたいと思いました。（輪島市、小 4、女）
- 早くふっこうしてほしい。（輪島市、小 4、女）
- あそぶところが欲しい。（輪島市、中 1、男）
- あそぶ場所がほしい！！！！（輪島市、中 1、女）
- お金。（輪島市、中 1、男）
- かいたことを伝えてほしいです。（輪島市、中 1、女）
- この思いがとどいてほしいと思った。（輪島市、中 1、女）
- どうかあそぶばしょをつくってください。（輪島市、中 1、男）
- なかであそべるとこがほしいです（カラオケとか）（輪島市、中 1、女）
- 殺虫スプレーがほしいです。（輪島市、中 1、男）
- 子どもの意見をこのような機会で伝えられたらとてもすてきだと思いこのアンケートはすごく良いと感じました。※絶対に叶えてください。（輪島市、中 1、女）
- 出来るかぎり私たちのねがいをかなえてほしいです。（輪島市、中 1、女）
- 絶対にこの願いをかなえてください。（輪島市、中 1、女）
- 絶対にこの願いを実現して下さい！（輪島市、中 1、女）
- 伝えてください。（輪島市、中 1、男）
- 伝えてほしいです。（輪島市、中 1、女）
- 能登地区は今たいへんなことになっているので、はやめに復興をおねがいします。（輪島市、中 1、女）
- 本当にかいけつしてくれたら、うれしいです。おねがいします。（輪島市、中 1、女）
- お金がほしい。（輪島市、中 2、男）
- お金ほしい くつほしい。（輪島市、中 2、男）
- この地震をただ事、人事のように処理してほしくはない。（輪島市、中 2、女）
- スマホがほしい。（輪島市、中 2、男）
- 何かください。（輪島市、中 2、男）
- 岸田に絶対伝えて！！（輪島市、中 2、男）
- 震災のことを何年たっても伝えれるようにしたい。（輪島市、中 2、男）
- 道をなおしてほしい。（輪島市、中 2、男）
- 10 万円をきふしてください。（輪島市、中 3、男）
- このことをしっかりと伝えてほしい。（輪島市、中 3、男）
- これを機に、たくさんの人に能登半島地震について知ってほしい。（輪島市、中 3、女）
- できる限り多くの人に届けてほしいです。（輪島市、中 3、男）
- なにもいってもしてくれない。（輪島市、中 3、女）
- 意見を実っこうして下さい。（輪島市、中 3、女）

- 金銭面や半壊にするまでのきりつ？点数？が厳しいということを総理大臣に伝えてほしい。（輪島市、中 3、女）
- 今の状況を色んな人に伝えてほしい。（輪島市、中 3、女）
- 書いたことを実現してほしいです！！（輪島市、中 3、女）
- 僕達の意見を色々な人にとどけて、できれば実現してほしいです。（輪島市、中 3、男）
- 門前は強いです。（たぶん）（輪島市、中 3、男）
- グラウンドを直したらいろんなことで使えるのでどうか頼みます。（輪島市、高 2、男）
- 教育の質の低下はすぐに止めるべし。（輪島市、高 2、男）
- 自分たちの想いが全国に届いてほしい。（輪島市、高 2、男）
- 小さい子たちの遊び場所がなくなってきているから作って上げればいいと思う。（輪島市、高 2、男）
- 早くしっかりした練習をしたいです。（輪島市、高 2、男）
- 本当に届くのですか。私の意見を必ず国会で議題にあげてください。それが無理なら、必ず国会議員に伝えてください。（輪島市、高 3、その他）
- 日々感謝していきていきたいとおもいます。（石川県、高 1、女）
- 自分が簡単にできる募金から行動していきたい。（石川県、高 2、女）
- 新めて、地震の事を思い出し、思いを書く事ができました。また、色々な人に伝える事をしてほしい。（石川県、高 2、その他）
- 地震が起きて半年たったけど、昨日のことのように思えるほどの地震だったから県外の人たちにも伝えてほしい。（石川県、高 2、男）
- 力強く生きましょう。（石川県、高 2、男）
- がんばれっ！今を生きぬけっ！（石川県、高 3、その他）
- ぜひ多くの人に集まった言葉を伝えてください、よろしくお願いします。（石川県、高 3、女）
- 被害が出た地域の中でも優先で治療とかをしてあげて下さい。（石川県外、小 6、女）
- このアンケート結果を世の中に広めてみんなに知っていただきたい。（石川県外、高 3、男）

※その他、「わからない」という回答が 8 件、「特にない」などの回答が 470 件あった。

【アンケートに寄せられた質問や意見について】

アンケートに書かれた子どもたちの思いや意見は、セーブ・ザ・チルドレンがすべて目を通しました。そして、国や石川県、各市町にも、子どもたちの声を伝えました。自由記述の中には、セーブ・ザ・チルドレンへの質問やコメント、復興について多かった質問があったので、セーブ・ザ・チルドレンが答えられるものをいくつか紹介します。

●「セーブ・ザ・チルドレンは、何をしている団体ですか」という質問がありました。

世界中の子どもたちの権利が守られるように活動している団体です。日本でも、2003 年から日本の子どもたちのための活動をしています。自然災害の緊急・復興支援や、経済的に困っている子どもたちへの支援、地域で子どもたちのために活動している団体を応援する活動などに取り組んでいます。

●「もっとアンケートを広く配るべきだと思う」など、アンケートの周知方法についての意見もありました。

アンケートを行うために、セーブ・ザ・チルドレンが活動している七尾市、穴水町、能登町、珠洲市、輪島市の全部の小中学校へ、アンケート用紙や案内を子どもたちの人数分送りました。高校などは、各学校に連絡して、配布しても大丈夫だと言われた学校で配布しました。ほかにも、web サイトや SNS で宣伝しましたが、アンケートが届かなかった子どもたちもいたと思います。大切なことを教えてくれてありがとうございました。意見を参考にして、どうしたらもっと多くの子どもたちに答えてもらうことができるのか、考えてみたいと思います。

●「アンケートがむずかしい」という、アンケートの内容についての意見もいくつかありました。

アンケートに協力してくれたのに、内容がむずかしくてごめんなさい。できるだけ子どもたちが分かりやすいようにアンケートを作ったつもりでしたが、質問や言葉がむずかしかったところがあったかもしれません。子どもたちの意見をきいて、もっと分かりやすいアンケートを作るようにします。教えてくれてありがとうございました。

●「本当に総理にメッセージが届きますか？」と確認の質問もありました。

2024 年 9 月に、アンケートの速報版を総理大臣官邸にオンラインで届けました。この完全版報告書も、総理大臣に届けられるようにしたいと思います。総理大臣の他には、たくさんの国会議員にも速報版を届け、熱心にアンケートを読んでくれる議員が何人もいました。12 月には国の会議（参議院の文教科学委員会）でも取り上げられました。もっとみなさんの声を政策に関わる人たちに届けていきます。

●「復興が遅い」「復興にはどれくらいかかるの？」という意見や質問も多くありました。

セーブ・ザ・チルドレンも、復興の進み具合や、今後の復興計画について子どもたちに分かりやすく伝えることも大切だと改めて気づきました。今、石川県や各市町でも、復興のための話し合いをしていますが、そうしたことを子どもたちに分かりやすく伝えるように、セーブ・ザ・チルドレンから行政に提案していきたいと思います。

●「子どもにもできることはありますか？」という質問も多くありました。

もちろん、子どもたちも復興の一員です。できることはたくさんあります。たとえば、p.61「自分がしたいこと」にある同世代の子どもたちの回答が参考になるかもしれません。地域の行事に参加する、今を大切に過ごす、自分にできることを考える、などいろいろな意見がありました。

これ以外にも、本当にたくさんの意見が寄せられたので、今後のセーブ・ザ・チルドレンの能登半島での活動や、子どもたちへのアンケートを行うときに参考にします。

3. まとめ[7]

2022 年のこども基本法成立、2023 年のこども家庭庁設置以降、子どもに関わるあらゆる政策の中で、子どもの意見表明権（子ども参加）の確保が重要視されている。子どもの意見表明権は、子どもの権利条約の原則の一つと位置付けられており、国連子どもの権利委員会は、子どもの意見表明権は「危機状況またはその直後の時期においても停止しないことを強調する」とし、災害後でも子どもの意見を聴き、正当に尊重すべきとしている[8]。

今回のアンケート結果をみると、能登半島地震後に子どもたちが意見を伝えられる機会は十分に作られていなかったように思われる。実際、今回のアンケートを通して「意見を言えてよかった」といった感想と同時に、「どこに伝えていいのか分からない」、「伝えても仕方がない」という子どもたちの思いも浮き彫りになった。災害後であっても子どもが意見を伝える機会・環境を保障していくことは大人側の責任であり、そのためには平時からの環境づくりが必要だろう。「今、ぼくにできることはありませんか？」「もっと子どもの意けんを聞いてほしい」という声もあるように、震災を経験した子どもたちは、単に支援を受けるだけではなく、復興の主体者でもあることを忘れてはならない。

自由記述には学習環境への不安、遊びやスポーツなど子どもの居場所が減少していること、震災の影響で体やこころへの影響を心配する声や支援を望む声が多数寄せられた。子どもたちの声に寄り添った多様な政策・施策の実行が必要だ。

アンケートに回答した高校 3 年生は、「私の意見を必ず国会で議題にあげてください。それが無理なら、必ず国会議員に伝えてください」と強く求めていた。この高校生だけでなく、自分の声を政策決定者に届けてほしいという回答は非常に多かった。

セーブ・ザ・チルドレンは、国や石川県、主な対象地域である 5 自治体にアンケート結果を報告し、各地の復興や防災計画に子どもが参画する機会を設けること、子どもの意見を尊重し計画に反映することなどを求めた。どの関係者も子どもの声を真摯に受け止め、復興や防災、教育現場で参照することについて言及があった。

しかし、災害時の子どもの意見表明の取り組みを強化するには国の枠組みにおける課題もある。大規模災害からの復興に関する法律[9]では、被災した市町村が復興計画を作成する際に、住民の意見を反映させるために必要な措置を講ずることを定めている（第 10 条の 5）。しかし、「住民」に子どもは想定されているだろうか。また、内閣府の「避難所運営ガイドライン[10]」では、女性・子どもへの配慮が明記されているが、ハード面での配慮にとどまり、積極的に子どもの意見を避難所運営に反映しようとする内容ではない。

こども家庭庁は令和 7 年度予算概算要求[11]で、自然災害など非常時のこども・若者の意見聴取・意見反映に関する国内外の取組状況などの調査事業を盛り込んだ。日本は地震や水害が多く、南海トラフ巨大地震や首都圏直下型地震における甚大な被害も想定されている。国は、こども基本法の理念を十分に尊重し、非常時においても子ども・若者の意見を反映するための措置を講ずることを関連する法律に定め、枠組みづくりについて指針やガイドラインなどに盛り込むべきである。[12]

今回のアンケート結果はその必要性を強く実感させるものであり、国の早急な取り組みが求められている。

---

7 「まとめ」は、速報版で掲載したものを加筆・修正した。

8 平野裕二訳『子どもの権利委員会 一般的意見 12 号（2009 年）』
https://img.atwiki.jp/childrights/attach/22/2/GC%EF%BC%91%EF%BC%92%E3%80%80%E6%84%8F%E8%A6%8B%E3%82%92%E8%81%B4%E3%81%8B%E3%82%8C%E3%82%8B%E5%AD%90%E3%81%A9%E3%82%82%E3%81%AE%E6%A8%A9%E5%88%A9.pdf

9『大規模災害からの復興に関する法律』（2013 年 6 月公布） https://laws.e-gov.go.jp/law/425AC0000000055/

10 『避難所運営ガイドライン』（内閣府（防災担当）、2016 年）
https://www.bousai.go.jp/taisaku/hinanjo/pdf/1604hinanjo_guideline.pdf

11『令和 7 年度予算概算要求』（こども家庭庁、2024 年 8 月）
https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/88749a20-e454-4a5b-9da8-3a32e1788a23/81f68f9d/20240830_policies_budget_26.pdf

12 こども家庭庁が作成した意見反映に関するガイドラインは『こども・若者の意見の政策反映に向けたガイドライン』（こども家庭庁、2024 年 3 月）https://www.cfa.go.jp/policies/iken/ikenhanei-guideline

4. 講評[13]

工学院大学 教育推進機構 教授 安部芳絵

災害後の子ども支援を考える国際的枠組みとしては国連子どもの権利条約がある。2023 年 4 月に施行されたこども基本法は、子どもの権利条約をその基本理念として位置づけた。なかでも、こども基本法第 11 条では、「こども施策を策定し、実施し、及び評価する」にあたって子どもの意見を聴くことを国と自治体に義務づけている。「こども施策」には、子どもの成長に対する支援等を主たる目的とする施策に加え、教育施策、雇用施策など幅広い施策、すなわち防災や災害復興に関する施策も含まれる。

ところが、能登半島地震やその後の生活について大人や社会に伝えたいことがあるかどうかたずねた設問に対し、「いいえ」と回答した子どもは 39.8%であり、「はい」と答えた子ども 36.8%を上回っていた（p.7 グラフ 4）。子どもの声を聴こうにも、大人や社会に伝えたいことがない子どもが多いというのだ。このことはどう捉えればよいだろうか。

「いいえ」「わからない」と回答した子どもになぜそう思ったのか理由をたずねた設問からは、何か伝えたいと思っていても、「何を話したらいいかわからない」「どこで話したらいいかわからない」など、話を聴く側の環境が整っていない状況が透けて見える（p.12 グラフ 8）。

さらに「いいえ」と回答した子どもの自由記述を見ていくと、「能登半島地震について感じていること・考えていること」を問うた設問の自由記述には、「こわかった」「こわい」という言葉が並んでいる。「じしんがこわい、おとを聞くのがこわい。」（穴水町、小 5、男）、「初めて大きな地震を体験してとてもこわかったし、地震の影響で友達が引っこしして、さみしいです。」（輪島市、中 3、男）、「よる寝る前にフラッシュバックが起こり少し怖い。」（輪島市、高 3、男）、「怖かった。もうちょっとうしろにいたら、たなのしたじきだったから、感じたことがないような恐怖を感じた。他校の子と話して、友達が死んだりした子がいたと知って、何ともいえない気持ちになった。」（能登町、中 1、女）といった記述である。

他方、「アンケートの感想やセーブ・ザ・チルドレンに伝えたいこと」に対しては、「自分の気もちをすなおにかけてよかったです。」（輪島市、小 4、女）、「こわかったことを今このアンケートにかけたのでちょっとすっきりしました。」（珠洲市、小 6、男）、「大人などに直接言えないことを紙に書けて、良いと思います。」（能登町、中 1、女）、「大人や社会に伝えたいことについて、改めて考えてみたいと思った。」（能登町、中 2、女）、「政府に声を届けることができるアンケートはなかなかないと思うからこういうアンケートはすごくいいと思った。」（七尾市、高 2、男）といった記述が見られた。

このように見ていくと、大人や社会に伝えたいことがあるかという問いに、「いいえ」と答えた子どもたちであっても、アンケートを通して自分の気持ちや考えを言葉にして伝えてくれていることに気づかされる。気がかりなのは地震で感じた「怖さ」が、発災から 7ヶ月たったアンケート時点で、周囲に十分に受け止められていないのではないかということだ。

子どもの権利条約第 12 条は、「子どもの意見の尊重（respect for the views of the child）」として知られる。ここでいう「意見」は opinion ではなく view(s)であり、子どもの「見方」「捉え方」「考え方」を指す。うまく言葉にならないけれど、能登半島地震に対して感じているさまざまな気持ちも、大切な view(s)である。

子どもの気持ちが言葉になるには、それを聴く存在や場所、時間の積み重ねといった環境が必要である。災害時は、平時よりも声をあげにくくなることを考えれば、39.8%が「いいえ」と答えたことをもって「子どもには意見がない」と捉えるのは性急だろう。言い換えれば、「いいえ」「わからない」の多さは、子どもに、思い・気持ち・考えがないのではなく、国や自治体に子どもの声を聴くしくみがないことを示しているのだ。「災害のような緊急時、子どもには伝えたいことはない」のではなく、どんなときでも子どもの声を聴くのは当たり前であるという視点の転換が必要である。

日常にないことは、非日常ではできない。「もっと子どもの意けんを聞いてほしい。」（能登町、中 2、男）という声を受けとめ、日常から子どもの声を聴くしくみづくりが待たれる。

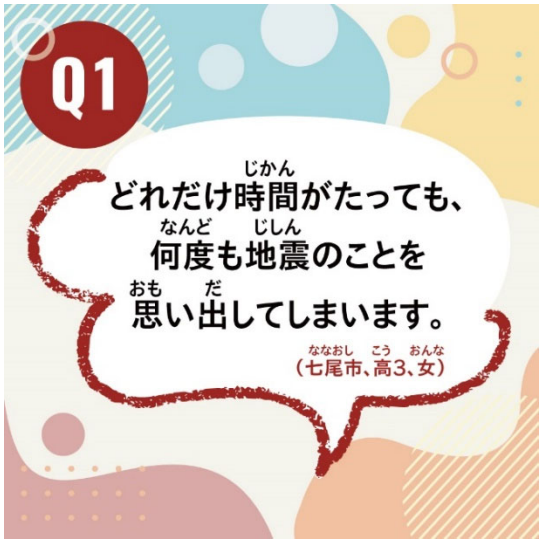
[13] 「講評」は、速報版で掲載したものに安部氏が加筆・修正した内容を掲載した。

5. 心理の専門家による一問一答

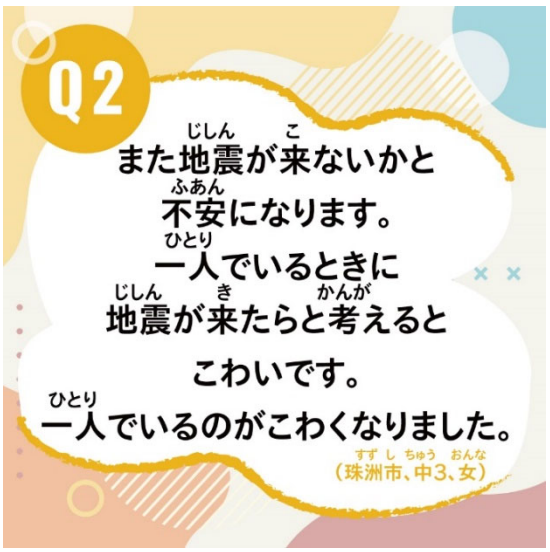
本アンケートに寄せられた 2,000 件を超える回答の中には、地震の怖さや不安な気持ちが書かれているものも多くあった。災害などの緊急事態に直面すると、不安や恐怖、悲しみを抱くのは自然なことだが、その気持ちにどう向き合い、受け止めていけばよいのか、あまり知られていないかもしれない。
そこで、心理の専門家の協力を得て、子どもたちの気持ちや疑問に一問一答で答える試みを行った。

質問は、アンケートから、複数の子どもたちが書いていた内容の自由記述を選び、組み合わせたりして 8 つ作成している。この一問一答は、2024 年 12 月に公開し、セーブ・ザ・チルドレンの web サイトや SNS で拡散した。

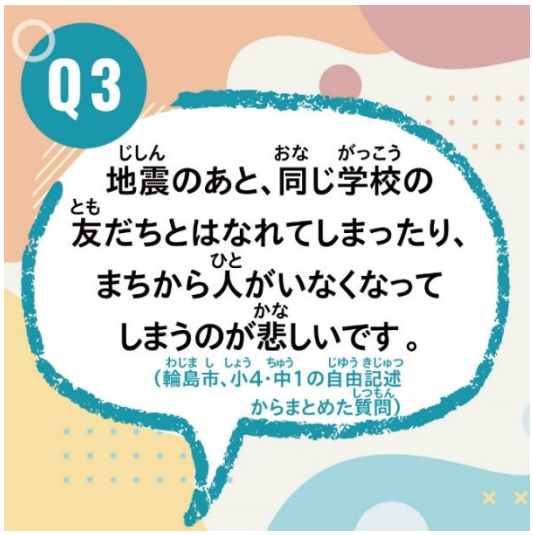
協力：（公社）日本公認心理師協会／（一社）日本臨床心理士会



＜回答＞
地震のことは、突然の衝撃的な出来事だったので、自分で思い出そうとしていなくても突然、思い出されてしまうこともあるかもしれませんね。思い出した時、どのような気持ちになるでしょうか。思い出した時に、強い不安、緊張、怖さがありますか。それとも、「今は、大丈夫」とホッとした気持ちになるでしょうか。思い出すこと自体（記憶）は、「危険」ではありません。自分が、「今、安全な場所にいること」を実感していけることで、出来事に対する捉え方も書き換え（アップデート）されていきます。それに伴って、少しずつ思い出した時の不安や恐怖が減っていくでしょう。

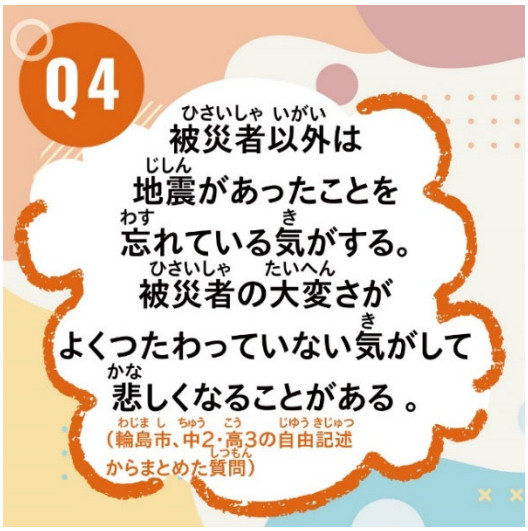


＜回答＞
また地震が来たら…その時、一人だったらどうしよう…そんなふうに考えると、不安で怖くて心細くなってしまいますよね。その気持ちを友だちに話してみたことはありますか。あなたの気持ちに共感してくれる人が多いことに気づき、まず心細さがやわらぐかもしれません。次に、安心できるだれかと一緒に、どうなることが怖いのか、それに対してできることは何かを考えてみてください。家族とはぐれてしまう恐怖であれば、そうなった時の連絡方法を前もって決めておくのです。また、深呼吸や自分だけのおまじないなど、不安感や恐怖心をやわらげる方法を身につけておくことも大切だと思います。みんなと一緒に今できる準備をしておけば、必ずうまく対処できるはずです。



<回答>

いつも一緒にいた大切な友だちがそばにいない、そんなさみしさを感じているのですね。まちから出て行く人もいて、まるで置いて行かれたような気分なのでしょうか。もしかしたらそれは、地震の後に経験したつらい気持ちを、だれにも分かってもらえないと感じているからなのかもしれません。もし、今ここにその友だちがいたなら、どんなことを伝えたいですか。それをこころの中で言葉にできそうですか。そして、今その言葉を受け取ってくれそうな身近な人はだれですか。全部でなくても、少しだけでも分かってくれる人です。それは、家族やクラスの友だちや先生かもしれません。そして、はなれてしまった友だちも分かってくれる一人かもしれません。

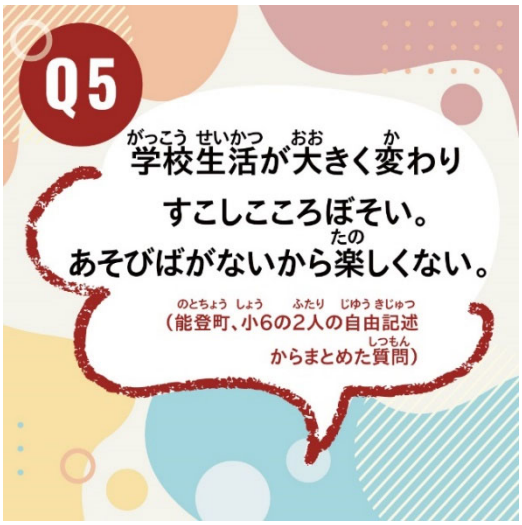


<回答>

被災地の多くの人が同じような気持ちを感じていることと思います。

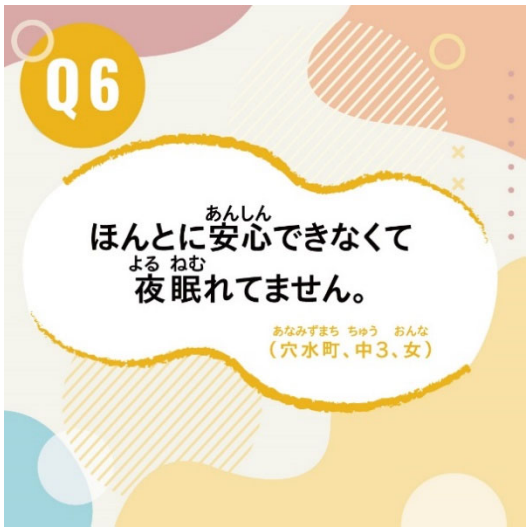
あなたが言う通り、どんなにニュースなどで被災地の様子を見ても、被災地以外の人には本当の大変さが伝わらないことがあります。それに、時間が経つにつれ被災地のことを考えることが減ってきたりします。それは被災地のみんなにとって、とても悲しくなることですね。それに対して、どうしたらよいか…なかなかよい解決策を見つけることはできないかもしれません。ただ、一人ひとりが忘れない努力をすることや、あなたのように、「忘れないで」という気持ちを発信することはとても大事なことだと思います。

日本は災害が多い国です。みんなが、他人事だと思わず、考えていけるといいですね。



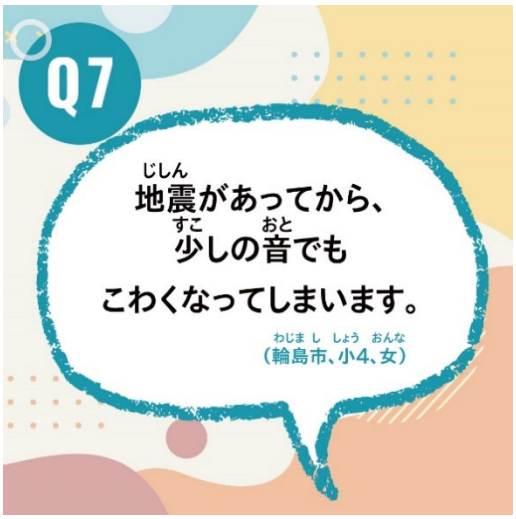
<回答>

学校の場所が変わったり、友だちが転校したり、不安で心細くなることがたくさんありましたね。あなたのそばにいるだれかに、あなたの気持ちを伝えてみることができたら、少し気持ちがおちつくかもしれません。学校の運動場や近くの遊び場が使えなくなって、これまでのように遊べないと、つまらないですね。でも本当は前みたいに遊び場で楽しく過ごしたい気持ちがあるのですね。「遊び場がほしい！」というのは、とても大事な願いなので、校長先生や周りの大人の人にも、あきらめずにあなたの願いを伝えてみてください。同じ気持ちをもっている仲間や応援してくれる人たちみんなの気持ちが、過ごしやすいまちづくりをすすめる力になるでしょう。



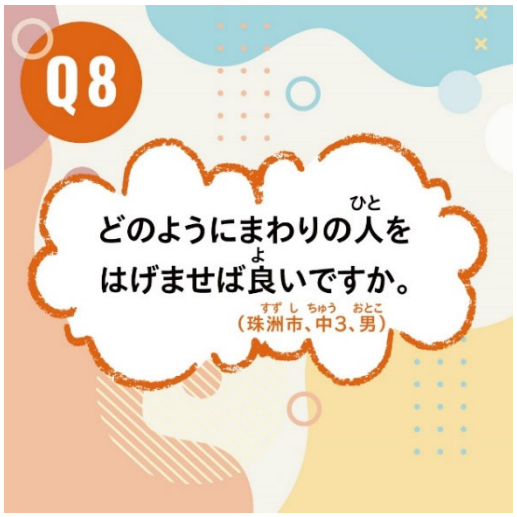
<回答>

今晩、ほんの一瞬だけでも、安心して眠れた瞬間が訪れたらどれだけ良いことでしょう。ここまで眠れない日が続くと相当につらいと思います。リラックスの方法や眠りやすくなる生活環境づくりを保健室の先生やスクールカウンセラーに尋ねることも役立ちますが、何よりも本当に安心できることが大事ですね。もしかすると「大丈夫」「安心しておやすみ」などの言葉を聞いても、どこか安心できないのかもしれません。それでも、支えてくれる人や仲間がいると、少しずつ安心に触れることができます。眠れないことが続くと、いろいろな不調が出てくることがあります。そんな時には信頼できる大人に眠れないことについてもお話ししてみてください。



<回答>

とても怖い思いをしたから、体もこころも緊張しているのだと思います。何かいつもと違うことが起きた時に、人は自分を守るためにいつもよりも警戒心が強くなります。だから、少しの音でも怖くなってしまうのかもしれません。それはとても自然な反応で、自分を守るために体とこころががんばっています。でも、ずっと続いてしまうと、疲れてしまうし、ゆっくり休めないこともあるかもしれません。まず、怖い思いをしてもがんばってきた自分をほめてあげてください。そして、少しでもほっとできる場所や時間を大切にしたり、安心できる人がいたら、怖かった気持ちを話してみるのもいいかもしれないですね。



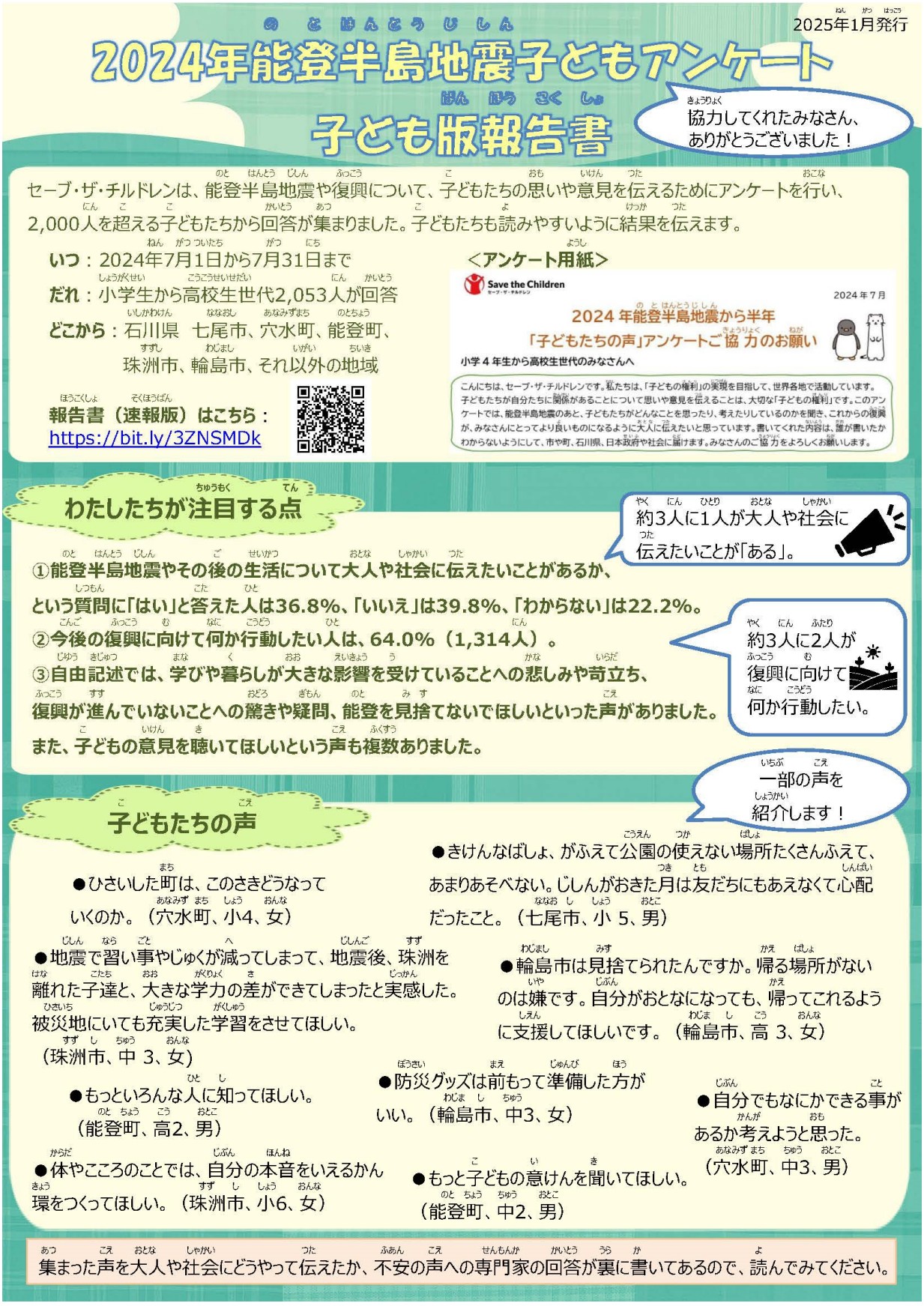
<回答>

落ち込んでいる人に、はげましの言葉をかけたくなるのは、やさしい気持ちがあるからですね。特別なことを言ったり、したりする必要はありません。「おはよう」といつも通りに挨拶することや「一緒にお昼を食べよう」と誘うこと、となりにいることだけでも、あなたが気にかけていることは伝わります。すぐには元気にならないかもしれませんが、焦らずに、次に会ったときも挨拶をしましょう。もし、つらかった時のことを話してくれたら、大変だったねといたわりましょう。食事が食べられない、夜眠れていないなどのようにとても具合が悪そうなら、先生やスクールカウンセラーなど、周りの大人に、心配な状態の人がいることを伝えて助けを求めましょう。

【参考（大人の方向け）】
セーブ・ザ・チルドレンは、緊急下の子どものこころのケア「子どものための心理的応急処置（子どものための PFA）」の普及啓発に取り組んでいます。子どものための PFA は、特別な心理的知識がなくても、災害などの危機的状況で子どものこころに配慮した支援ができるよう、支援者が取るべき行動や姿勢を示したものです。詳しくはこちらのページをご覧ください。https://www.savechildren.or.jp/lp/pfa/

6. 子ども版報告書

本アンケートに協力してくれた子どもたちへ結果を報告するために、子ども版報告書を作成した。回答の全件を掲載することは分量の関係上難しかったため、子どもたちが分かりやすいように内容をまとめている。子ども版報告書は、主に 5 自治体でアンケート回答に協力のあった学校などで子どもたちに配布した（2025 年 1 月）。



Save the Children
セーブ・ザ・チルドレン

アンケート結果を、大人や社会にこうやって届けました！

アンケートの速報版を、2024年8月29日と30日に、石川県知事や県教育委員会、七尾市、穴水町、能登町、珠洲市、輪島市に提出して、今後の復興計画や防災計画に子どもたちの声を反映してもらうようお願いしました。


＜↑石川県教育委員会教育次長＞


＜↑七尾市長・教育長＞

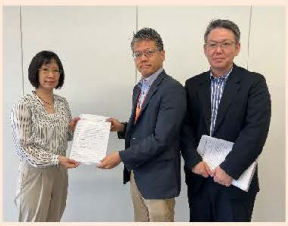

＜↑穴水町長＞


＜↑能登町長、教育長＞


＜↑珠洲市教育長＞


＜↑輪島市教育長・教育参事＞

9月には、文部科学省やこども家庭庁の大臣（当時）が記者会見で今回のアンケートの結果を「しっかり受け止める」とコメントしてくれました。また、9月25日にこども家庭庁にも結果を届けました。そのほか、国や県・市・町の議員へ速報版を手渡したり郵送したり、オンラインで総理大臣（当時）あてにも送りました。12月には国の会議（参議院の文教科学委員会）でこのアンケートが取り上げられて、災害時に子どもの意見を聴くことなどについて大臣や国会議員が話し合いをしました。テレビ番組や新聞でも紹介され、たくさんの人にみなさんの声を届けることができました。

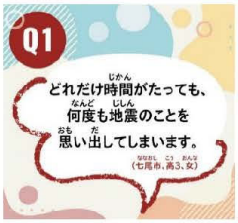

＜↑こども家庭庁＞

＼みなさんの声から作った／能登半島地震のあと、子どもたちが感じている気持ちや疑問への一問一答

アンケートには、地震の怖さ・不安な気持ちが書かれているものもありました。そこで、心理の専門家の力を借りて、みなさんの気持ちや疑問に一問一答の形で答えます。**質問は8つ！くわしくはこちら→**

https://bit.ly/4iINC49

＜質問＞



＜回答＞

地震のことは、突然の衝撃的な出来事だったので、自分で思い出そうとしていなくても突然、思い出されてしまうこともあるかもしれませんね。思い出した時、どのような気持ちになるでしょうか。思い出した時に、強い不安、緊張、怖さがありますか。それとも、「今は、大丈夫」とホッとした気持ちになるでしょうか。思い出すこと自体（記憶）は、「危険」ではありません。自分が、「今、安全な場所にいること」を実感していけることで、出来事に対する捉え方も書き換え（アップデート）されていきます。それに伴って、少しずつ思い出した時の不安や恐怖が減っていくでしょう。

協力：（公社）日本公認心理師協会、（一社）日本臨床心理士会

この報告書は、2024年7月にセーブ・ザ・チルドレンのアンケートに協力してくれた人に送っています。
報告書で気になったことや、セーブ・ザ・チルドレンの人に伝えたいことがあればどうぞ連絡してください。

Save the Children
セーブ・ザ・チルドレン

【お問い合わせ】 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 国内事業部 メール：japan.pfa@savethechildren.org
〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-8-4 山田ビル 4階 電話：03-6859-6869（平日 9:00-17:00）

PDF データはこちら
https://www.savechildren.or.jp/news/publications/download/report-notochildrenvoice2024-cf.pdf

7. アンケート用紙

回答は、アンケート用紙とオンラインフォームで受け付け、フォームも用紙と同じ内容を記載した。

Save the Children
セーブ・ザ・チルドレン

2024年7月

2024年能登半島地震から半年
「子どもたちの声」アンケートご協力のお願い



●●●に住んでいる小学4年生から高校生世代のみなさんへ

（※アンケート用紙は、「七尾市」「穴水町」「能登町」「珠洲市」「輪島市」それぞれ作成した。）

こんにちは、セーブ・ザ・チルドレンです。私たちは、「子どもの権利」の実現を目指して、世界各地で活動しています。子どもたちが自分たちに関係があることについて思いや意見を伝えることは、大切な「子どもの権利」です。このアンケートでは、能登半島地震のあと、子どもたちがどんなことを思ったり、考えたりしているのかを聞き、これからの復興が、みなさんにとってより良いものになるように大人に伝えたいと思っています。書いてくれた内容は、誰が書いたかわからないようにして、市や町、石川県、日本政府や社会に届けます。みなさんのご協力をよろしくお願いします。

※このアンケートは、書きたい人が書いてください。協力してくれる人も、「答えたくない」「むずかしい」と思う質問はとばして大丈夫です。途中でやめても大丈夫です。まちがえや、正しい答えはありません。自分が思ったことを書いてください。

1. あなたについて教えてください。※当てはまる番号に○をしたり、書いたりしてください。

(1)性別　1. 男　2. 女　3. その他

(2)学年・年齢

1. 小4　2. 小5　3. 小6　4. 中1　5. 中2　6. 中3　7. 高1　8. 高2　9. 高3　10. 高4
11. その他（　　）

(3)あなたの住んでいる地区を教えてください。（わからない人は、まわりの大人に聞いてみてください。）

（※アンケート用紙では、自治体ごとに具体的な地域名を選択肢として記載した。オンラインフォームでは、都道府県・石川県内の市町村名・地区名を選択式の設問でたずねた。）

2. あなたは、能登半島地震やその後の生活について、大人や社会に伝えたいことはありますか。

1. はい　2. いいえ（→裏面へ）　3. わからない（→裏面へ）

(1)「はい」と答えた人にお聞きします。

(1)-1. どんなことを伝えたいですか。※当てはまる番号ぜんぶに○をしたり、書いたりしてください。

1. 地震が起きたときのこと　2. 避難しているときのこと（地域の避難所・2次避難所など）
3. 被災した自分のまちのこと　4. 集団避難のこと　5. 学校生活のこと　6. 食べ物のこと
7. 衛生用品や生活用品など身の回りに必要なもののこと　8. 子どもが過ごす場所（遊び場、公園や居場所など）
9. 勉強・学習のこと　10. お金のこと　11. 体やこころのこと　12. 自分の住むまちの復興のこと
13. 自分が復興に向けてできること　14. 自分がまちのために何もできていないと感じること
15. 感謝の気持ち　16. その他（　　）

(1)-2. 上で選んだことをだれに伝えたいですか。※当てはまる番号ぜんぶに○をしたり、書いたりしてください。

1. 総理大臣　2. 国会議員　3. 県知事　4. 県の議員　5. 市長、町長　6. 市や町の議員　7. 保護者
8. 先生　9. 地域の人たち　10. その他（　　）

(1)-3. 具体的にどんなことを伝えたいか、あなたの思いや意見をくわしく教えてください。

（個人情報は書かないようにお願いします。）※次は、裏面の3から答えてください。

Save the Children
セーブ・ザ・チルドレン

(2)「いいえ」「わからない」と答えた人にお聞きします。
なぜそう思ったのか教えてください。※当てはまる番号ぜんぶに○をしたり、書いたりしてください。




1. 勉強でいそがしい　2. 部活や習いごとでいそがしい　3. バイトでいそがしい　4. 話す機会がない
5. 子どもの話を聞いてくれない　6. 話せる相手がいない　7. どこで話したらいいかわからない
8. 話す必要がない　9. 何を話したらいいかわからない　10. 話しても何も変わらない
11. 特に話したくない　12. すでに伝えている(まわりに聞いてくれる人がいる)
13. その他(　　)

3. あなたは、これからの復興に向けて自分の住むまちのために何かしたいことはありますか。今の気持ちに当てはまるものすべてに○をつけたり、書いたりしてください。

1. 自宅やまちの片付け　2. 仮設住宅での手伝い　3. 地域の行事への参加　4. まわりの人をはげます
5. 募金　6. 復興計画について知る　7. 復興について子ども同士で話し合う　8. 復興について大人と話し合う
9. 震災を語りつぐ　10. 勉強・部活・習いごと・バイトなどでいそがしいからできない　11. かかわる機会がない
12. 復興にかんする情報がない　13. 一緒にできる仲間がいない　14. 子どもにできることがない
15. 何をしたらいいかわからない　16. 特にない
17. その他(　　)

4. そのほか、能登半島地震について感じていること・考えていることなどがあれば教えてください。
(特にない場合もそのことを教えてください。個人情報は書かないようにお願いします。)

5. このアンケートの感想や、セーブ・ザ・チルドレンに伝えたいことがあれば教えてください。

ご協力ありがとうございました。みなさんの大切な声を、日本政府、社会などに届けます。アンケートの結果は、セーブ・ザ・チルドレンのウェブサイトで 9 月までに公開します。ぜひ、「セーブ・ザ・チルドレン」で検索してみてください。

今困っていることがある場合には、ひとりで悩まず身近な大人や学校などの先生、またはつぎの相談先などに話してみてください。
・児童相談所(都道府県や市区町村)　電話：189（24 時間受付）
・あなたはひとりじゃない(内閣府　孤独・孤立対策推進室) チャットボット　https://www.notalone-cao.go.jp/under18/
・24 時間子供SOS ダイヤル(文部科学省)　電話：0120-0-78310(24 時間受付)
・こどもの人権110 番(法務省)　電話：0120-007-110(月-金 8:30-17:15)



【問い合わせ先】
公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 国内事業部　担当:田代・山田
メール：japan.soap@savethechildren.org
電話：03-6859-6869(平日:9 時半～18 時)

8. おわりに

「このアンケートのおかげで、ちょっと地しんから心がはれた。」（能登町、小 4、女）

本アンケートを実施した 2024 年 7 月は、ちょうど震災から半年の節目でした。地域によってはまだ断水が続き、道路も補修されず、信号機や電柱が傾いたままの場所も多くあり、被災した家屋の公費解体もなかなか進まないような状況でした。緊急事態下であっても子どもの意見表明の機会を保障することが必要であるとはいえ、子どもたちが直面している現実を思うと、このようなアンケートを実施することに迷いがなかったわけではありません。しかし、過去の災害の経験などから、今この時に子どもたちが思っていることを聴かなければ、それらはどこにも記録されず、その後も子どもたちは声をあげられないままなのではないか。そのような危機感からアンケートを行いました。

そこで届いたのが、冒頭の声です。子どもたちは守るべき存在ではありますが、一人ひとりが自分なりの考えを持っています。その考えを表現してみることで、自分の気持ちが整理されて前向きになっていく、そう感じさせる感想がいくつも届きました。「自分でもなにかできる事があるか考えようと思った。」（穴水町、中 3、男）など、アンケートに回答することで、復興に関わろうと考えるきっかけとなった声もありました。子どもたちも間違いなく、地域の復興を進める一員なのです。

本アンケート速報版を公表した 8 月末以降、石川県内外から予想以上の反響がありました。報道各社で多数取り上げられるとともに、地域の行政や学校現場からは、震災後になかなか聴くことができなかった子どもの声がまとまっていることに対する評価もありました。なかには、感極まった様子で感想を伝える地域関係者もいました。子どもたちの言葉が、多くの人々のこころに響いたのです。声をあげづらい子どもたちの声を聴き、届ける。ここに、セーブ・ザ・チルドレンのような NGO の役割があると再確認しました。

しかし、私たちがすべての災害で子どもたちの声を聴くことができるわけではありません。アンケートの内容や方法など改善すべき点もあります。一度ではなく、復興のフェーズにそって、複数回にわたって聴いていくことも重要です。どんな災害にあっても、子どもたちの声をきちんと聴き反映し続けるためには、「まとめ」（p.77）に記したように国の枠組みを強化し、人材や予算を確保することも必要です。そのために、セーブ・ザ・チルドレンは国や自治体への働きかけを継続します。

子どもたちからは「目をそむけないでほしい。見捨てないでほしい。」（七尾市、高 2、その他）など、風化を懸念する声も多くあがっていました。「お金、、しょうらいのじぶん こうこうせいになっておかねがあるかわからない 不安。」（珠洲市、中 2、女）といった中長期的な支援の必要性も浮かび上がっています。2024 年 9 月には、奥能登豪雨の被害もあり、子どもたちを取り巻く状況は決して楽観視できるものではありません。子どもたちの声を聴いたものとして責任を果たすために、被災の影響を受けた子どもたちが安心して育ち学べるよう、セーブ・ザ・チルドレンは今後も支援活動を進めていきます。そして、一人でも多くの人が能登半島地震の被災地に関心を寄せ続けてくださるよう、子どもたちの状況を広く社会へ伝えていきます。

■本アンケートに関する問い合わせ先
〒101-0047　東京都千代田区内神田 2-8-4　山田ビル 4 階
公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン　国内事業部　田代光恵・山田心健
TEL：03-6859-6869　FAX：03-6859-0069　MAIL：japan.pfa@savethechildren.org